

43422

教科書文庫

4
291
42-1936
20000 80474

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

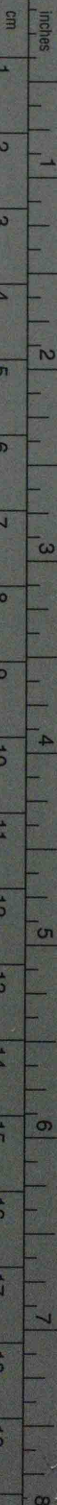


© Kodak, 2007 TM: Kodak

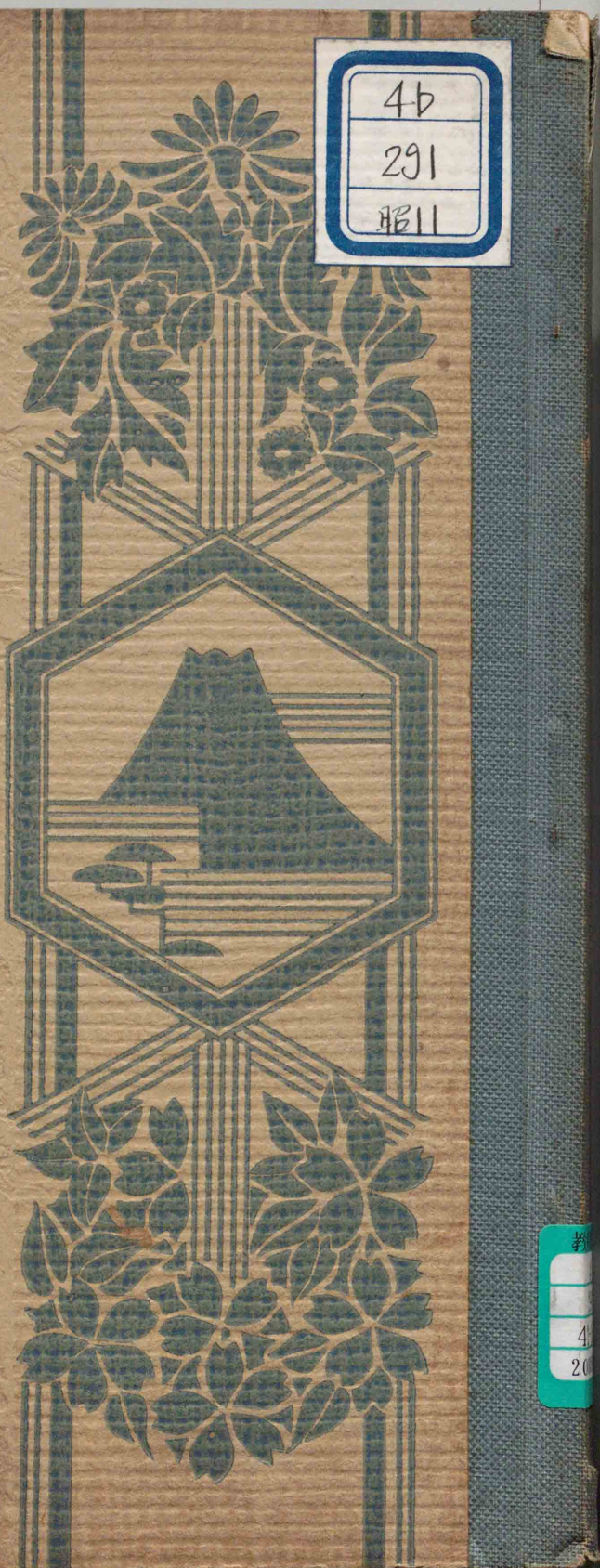
Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



4b
291
昭11



新制 女子日本地理

山崎直方著
飯本信之補訂



4
20



資料室
中央図書館

教科書文庫

4

291

42-1936

2000080474

新制 女子日本地理

東京女子高等師範學校教授 理學博士
山崎直方 著 飯本信之 訂補



広島大学図書

2000080474



東京開成館

46
291
BB11

改版について

故山崎博士の地理教科書は永年に互り斯界の權威として重きを成して來たものである。故に妄りに他人がその内容に立入つて手を加へる事は最も慎むべきである。

併し、この種の書は、時勢の趨くに随つて改訂を必要とする事情が生ずるものであり、本書も亦その例に洩れる譯に行かない。即ち曩に故博士遺族の委囑により、慎重事に當り、遂に去る昭和六年を以て最初の改版を出し、その後二回に互つて修正を施したのであるが、時運の推移は更に修補を加ふることを急務とするに至つた。よつて周到なる用意の下に、一層故博士の地理教育に關する精神を發揚するやうに努めた結果、こゝにこの改版を獲たのである。今、左にその改訂の要項を述べようと思ふ。

一、學年の程度に適應せしめるため原著の精神を損せざる範圍に於て文章をなるべく平易にし、且つ地理學上の術語にも多少親灸せしめるやう敘述の様式に手加減を加へ、なほなるべ

く一事項から他の類似の事項を推知せしめるやうにした。
 一、處誌の記述は最も穩健な説に随つて従前通り府縣別に據つたが、また地理教育最新の風潮に鑑み、地理區を基底として敘述の順序を整理した。
 一、人文地理を重んじ、殊に内外の産業の現勢を審かにするため産業に關する記述を新にし、單に羅列に失せず、努めて教材を有機的に統合して會得せしめるやうにした。
 一、人口の計數を昭和十年施行の國勢調査の結果に基づいて改め、なほその後に分合の行はれたものを訂正した。
 一、挿繪は故博士が生前に於て蒐集しておかれた豊富な材料を基礎とし、必要に應じて之を斬新なものに改め、殊に地圖類並に統計圖表等はすべて最近調製のものによつた。

昭和十一年九月

補訂者識す

新制 女子 日本地理 目次

緒論 帝國の位置	一頁
第一篇 地方誌	
第一章 日本列島	五
第一節 關東地方	五
第二節 奥羽地方	二五
第三節 中部地方	三〇
第四節 北陸地方	三三
第五節 近畿地方	三九
第六節 中國地方	七
第七節 四國地方	六六
第八節 九州地方	九四
第九節 臺灣地方	一二三
第十節 北海道地方	一三三
目次	
第十二節 樺太地方	一三六
第二章 朝鮮地方	一四一
第一節 地文	一四一
第二節 人文	一四四
第三節 處誌	一四七
第三章 關東州	一五二
第四章 南洋諸島	一五五
第二篇 括論	
第一章 地文	一五九
第一節 地形	一五九
第二節 海洋	一六三
第三節 氣候	一六四
第四節 生物	一六六

極東	東經百五十六度卅二分 (千島占守島東端)
極西	東經百十九度十八分 (臺灣澎湖諸島花嶼西端)
極南	北緯二十度二十五分 (小笠原諸島沖ノ島島南端)
極北	北緯五十度五十五分 (千島阿頼度島北端)

帝國領域の極點

新女子日本地理

緒論 帝國の位置

我が大日本帝國は、アジヤ洲の東縁にあつて、その領域は東西南北各約三千軒の間に擴がつてゐる。そして北は千島樺太から南は臺灣に至る所謂日本列島と、大陸の一部である朝鮮半島とをその主要部とし、外に關東州を租借し、太平洋中の南洋諸島を統治してゐる。

日本列島は東北から西南に斜に延びて、その長さ凡そ五千軒に及ぶ。列島の中央には北海道本島本州四國九州の四大島が弓なりに配列し、その東北に千島列島、西南に琉球

目次

第二章 人文……………一六

 第一節 住民……………一六

 第二節 政治……………一七

 第三節 教育・神社・宗教……………一七

總括

第四節 産業……………一七

第五節 交通……………一七

帝國國勢の發展と國運の進歩……………一八

帝國の領域

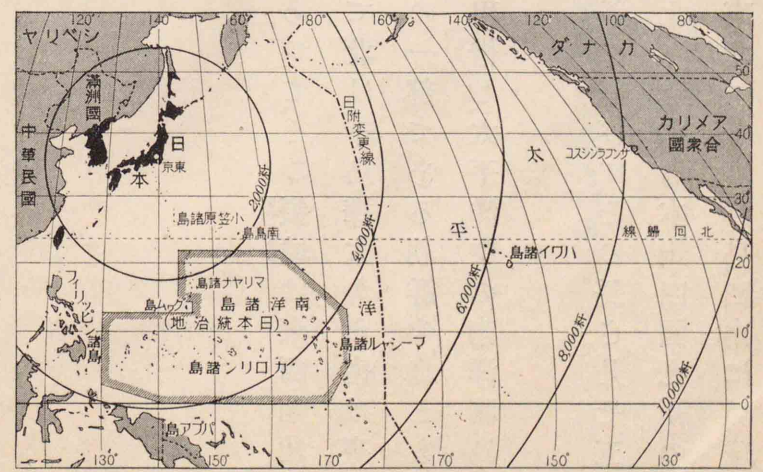
列島が同じく弓なりに連り、別に本州の南方に小笠原諸島が並んでゐる。これらを總稱して内地といふ。

また北海道本島の北にはその南半が我が領土になつてゐる樺太島があり、琉球列島の西南には臺灣島がある。

かくて日本列島はアジア大陸との間にオホーツク海・日本海及び東支那海を抱いてゐる。

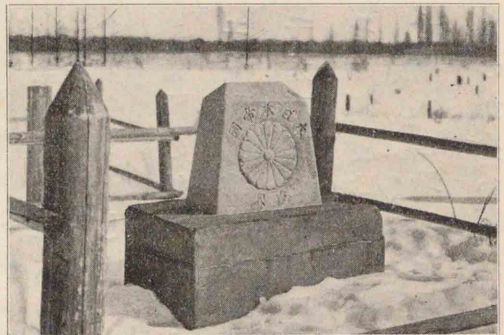
朝鮮半島はアジア大陸の一部で、北から南に延びて日本海と黄海との間に突出し、延長約一千軒、南は朝鮮海峽を隔てて九州に對し、恰も内地と大陸とを連ねる橋梁のやうである。

關東州は黄海を隔てて朝鮮半島の西方に位し、滿洲國南端の門戶



樺太島の北半はソ
ヴェト聯邦に屬
し、朝鮮も東北隅
でそのシベリヤと
接してゐる

樺太の日露國
境標



をなしてゐる。

南洋諸島は小笠原諸島の南方、太平洋の西部に散在するマリヤナ・カロリン及びマーシャルの三群島から成り、我が國はその文化開發の任に當つてゐる。

帝國の四周を見るに、北にはオホーツク海・日本海を挟んでソヴェト聯邦の領土があつて、樺太と朝鮮とがこれに接壤し、西方には滿洲國及び東支那海を隔ててアジア第一の大國である中華民國がある。

南方にはフィリッピン共和國、オランダ領の東インド諸島、その他イギリス領の大洋洲諸島等がある。東には遠く太平洋中にアメリカ合衆國領のハワイ諸島等があり、更に對岸の北アメリカ洲にはアメリカ合衆國・イギリス領カナダ及びメキシコ共和國等がある。

かくて我が帝國の領域は熱帶・溫帶に跨り、大陸の沿岸から遠く大洋の中央に及び、四周には數多の邦國を繞らし、東亞と太平洋上とに

諸島	南洋	關東州	四國	臺灣	樺太	九州	北海道	朝鮮	本州	面積概數	面積比較
10.0	0.3	0.3	1.9	3.6	3.6	4.4	8.9	3.1	3.0	32.4	34.0
人口概數										數字は各面積の百分比を示したものである	面積比較

道	海	北	州	樺	太	灣	臺	四	其	朝	本
13.0	6.5	5.3	5.3	5.3	2.7	32.4	34.0				

て、全領域の五六%に當り、イギリス及びイタリヤの各本國の面積よりもやゝ大きい。

帝國の總人口は九千八百九十萬で、イギリス全領土、中華民國、ソヴェト聯邦等に次ぎ、世界の第六位にある。その中内地の人口は約六千九百萬で、總人口の七〇%に當り、平均一方料につき百八十一人で、その密度はベルギー、オランダ、イギリス各本國に次ぎ、なほ年々約九十萬人の増加を見る。かくしてその率の高いことは列國中に並ぶものが少い。

於ける政治・經濟については國際上殊に重要な位置にある。

帝國全領域の面積は約六十八萬方料で、イギリス全領土の約五十分の一、アメリカ合衆國の約十四分の一に過ぎず、世界列國中第二十四位にある。そして内地の面積は約三十八萬方料

行政上、東京及び神奈川・千葉・茨城・埼玉・群馬・栃木の一府六縣に分ける

相模灣は大正十二年の關東大地震の震央に當り、その海底には數百メートルの昇降があり、またその海岸は多く隆起した

第一篇 地方誌

第一章 日本列島

日本列島を分けて關東・奥羽・中部・北陸・近畿・中國・四國・九州・臺灣・北海道・樺太の十一地方とする。

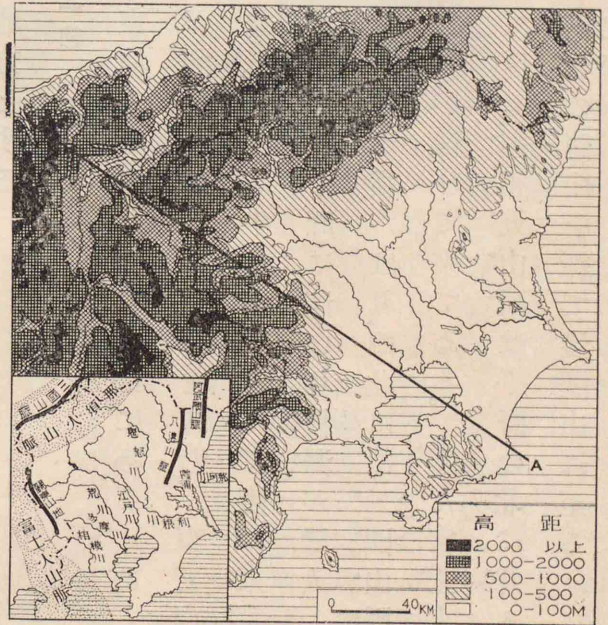
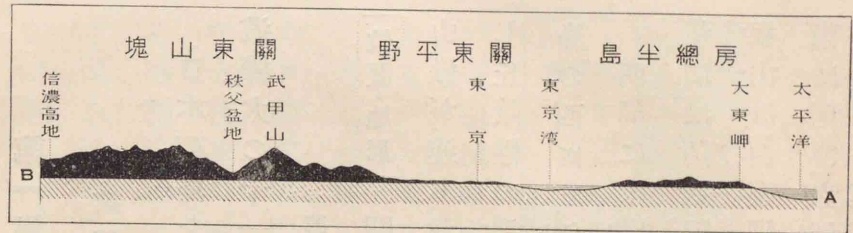
第一節 關東地方

位置・地形

關東地方は本州の東南部にある。西と北とは一帯の山嶽が連り、我が國第一の關東平野を包む。東と南とは太平洋に面し、丘陵性の房總三浦の二半島が突き出て浅い東京灣を抱き、三浦半島の西には伊豆半島との間に深い相模灣が彎入してゐる。

西部には關東山塊が横たはり、西北には三國山脈が連り、東北の海岸には阿武隈山脈が延びて來てゐる。また富士火山脈に屬する箱根山は西南隅に位し、那須火山脈は平野の北に聳える那須山から西南に延び、赤城・榛名の諸山を経て淺間山に至る。

關東地方の斷面圖と地形圖



野の間を過ぎて海に入る。いづれも水量に富み、灌漑の利が少くない。その中最も大なるものは利根川で、三國山脈から出て、多くの支流を合せ、關東平野の大動脈をなし、下流地方には霞浦、北浦等の湖沼があつて、共

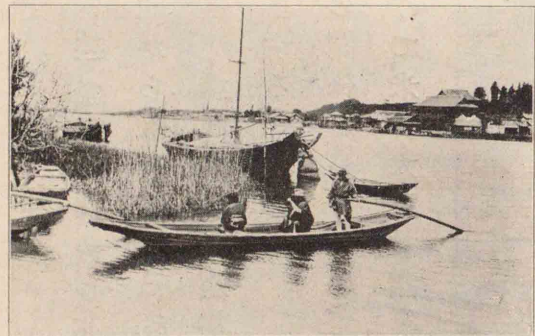
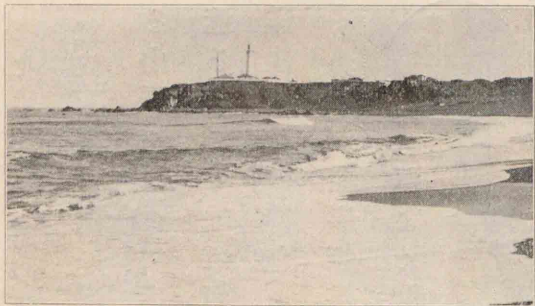
これらの山地は概して風景が麗しく、また處々に温泉が涌出して、都人士の行樂保養に適する處が少くない。

河流の主なるのは、西部及び北部の山中に發して、東南に流れ、平

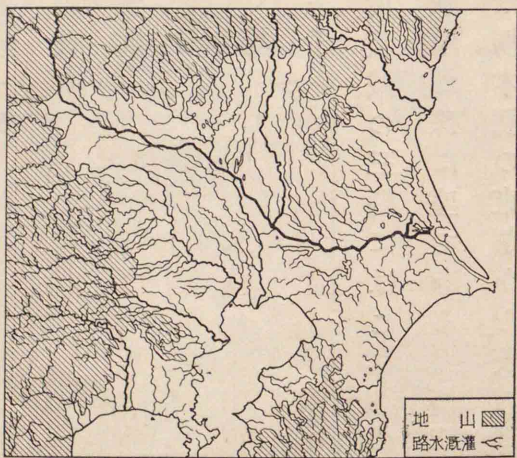
關東地方の水系圖

犬吠崎

利根川の下流地方



に灌漑舟運の便を與へてゐる。その他、北部に那珂川、南部に荒川、多摩川、西南部に相模川がある。これらの河川の上流は、水力發電に利用せられ、また都市に上水を供給するものがある。



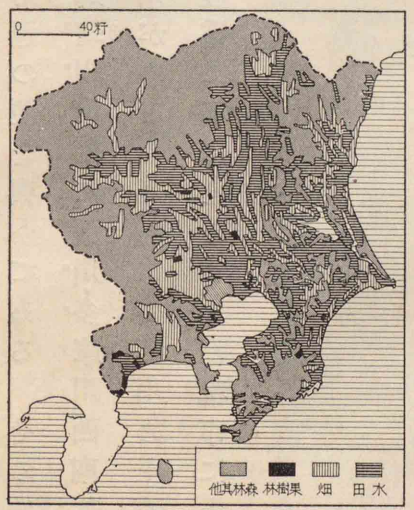
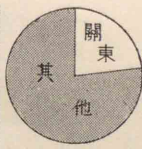
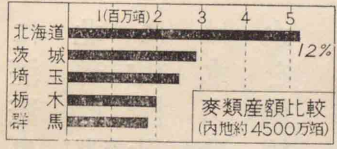
犬吠崎は關東地方の東端に突き出で、その南と北とは共に弓形の砂濱をなし、相模灣の沿岸もまた弓形の砂濱をなす。東京灣の西岸は出入に富み、横濱、横須賀等の良港があり、東

東京の気温・降水量
 高極 三六・六度
 低極 零下八・二度
 年平均 一四度
 年降水量 二二三三耗

湘南地方及び房總半島の南部は北に丘陵を負ひ南は海に面し氣候が極めて温暖である

關東地方の氣象圖

關東地方の土地分類圖

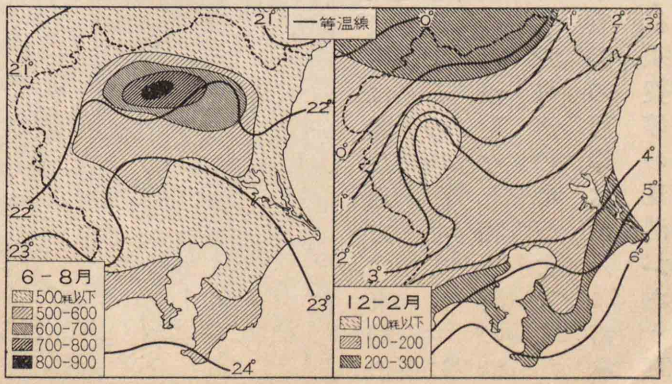


北岸には干潟の發達が著しい。

氣候 東と南に海を控へ、且つ西から北に連る山脈によつて西北から吹いて來る寒風を遮るので、平地は氣候が溫和、雨量も適當で、海洋性氣候の特色を呈する。

産業 [一] 地形・氣候の關係が良好なので、農業がよく開けて、米・麥・大豆・甘藷等の産

が甚だ多く、玉千、葉茨城の三縣にはこれらの栽培が殊に盛である。煙草は栃木縣の東部から茨城縣



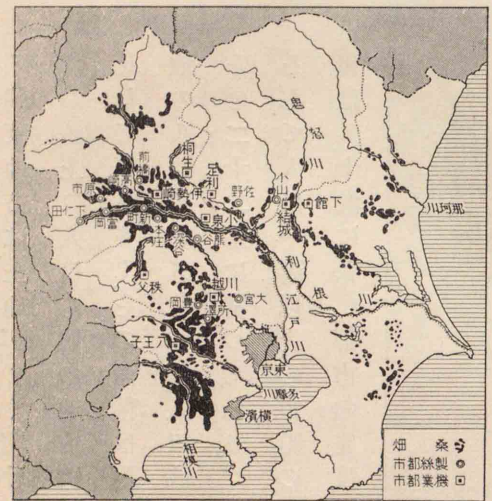
林業としては特に見るべきものがないが、茨城・千葉・栃木・群馬の杉・松材はやゝ名高く、また佐倉炭も世に知られてゐる

日立 鑛山

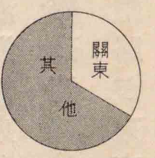
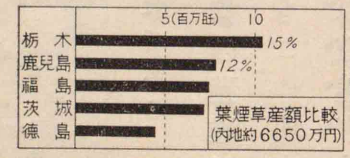
大雄院製鍊所の景で山谷に沿うて工場・住宅が並んでゐる、熔鑛爐から出る有毒な煙は圖に見える山腹の煙道を通つて山頂の煙突から排出される

關東地方の桑畑及び機業製絲都市の分布

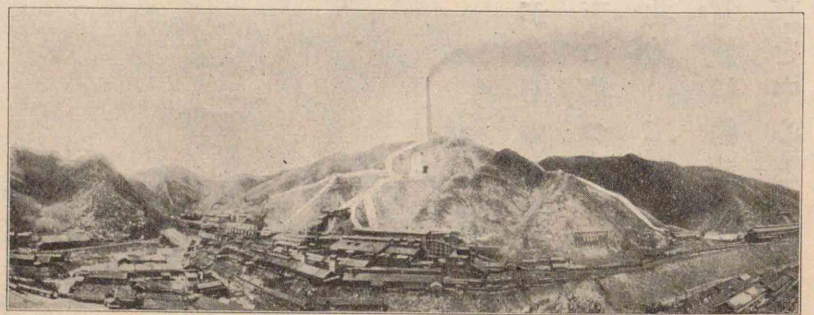
水産物の主なものは鱸・鮪・鯉・鯖・秋刀魚等である。東京灣には海苔の名産があり、乾海苔の産額は年六百萬圓に及ぶ



にかけて盛に栽培せられ、神奈川縣がこれに次ぐ。養蠶業は群馬・埼玉の二縣が特に著れ、機業もこの二縣に發達してゐる。[二] 北部には鑛業が行はれ、足尾・日立の二大銅山の外、常磐炭田等がある。[三] 近海は水産に富み、九十九里濱は有名な



漁場である。[四] 東京灣の西北岸には各種の工業が盛に行はれ、また横濱港は我が國の三大貿易港の一であり、東京は内國商業の大中心である。

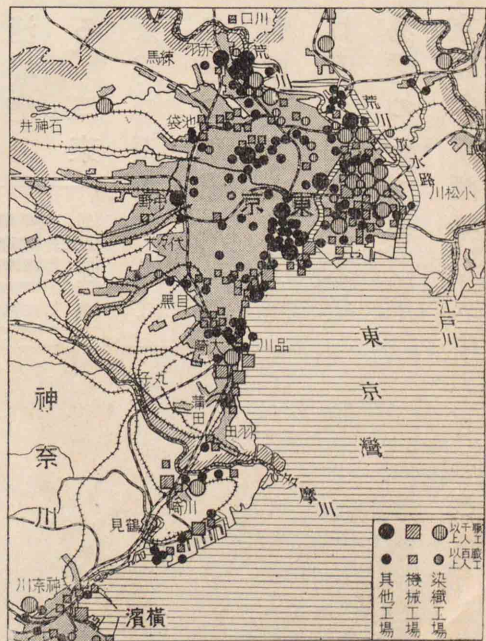
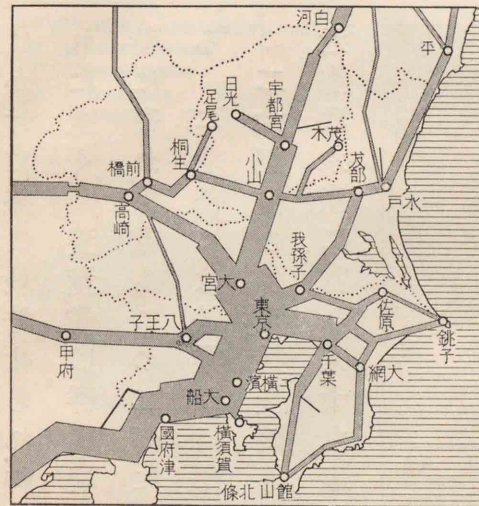


人口は約千五百三十萬ある
東京市の人口は六百萬に近く優に我が内地總人口の十分の一に當つてゐる

京濱工業地帯の工場分布圖

關東地方は土地がよく開けてゐる上に人口も他の地方に比して頗る多く、その面積は内地の八%に過ぎないが、人口はその二十二%に當つてゐる。そして人口一萬以上の市町の數は八十餘に及び、都市の密度

關東地方の鐵道圖
線の太さは旅客の通過量に比例してゐる以下皆同じ



が甚だ大である。

交通 文化の發達が著しいから、海陸の交通線もこの地方に集つてゐる。鐵道は東海道線・東北線の二大幹線を始め、中央線・高崎線・常磐線・總武線。その他多くの線路が東京を中心として四

東京市に築港計畫があり、また京濱間には運河計畫がある

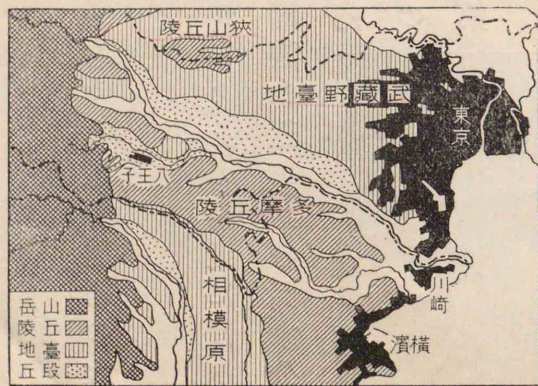
關東西南部の地形分類圖

東京市は行政上、麹町・本郷・小石川・牛込・四谷・赤坂・麻布・芝・京橋・日本橋・神田・下谷・浅草・本所・深川の十五區に分たれてゐたが、近年更に品川・目黒・在原・大森・蒲田・世田谷・澁谷・洗橋・中野・杉並・豊島・瀧野川・王子・荒川・板橋・足立・向島・城東・葛飾・江戸川の二十區を加へて三十五區となり、總面積に五百五十万平方尺の大都市となつた

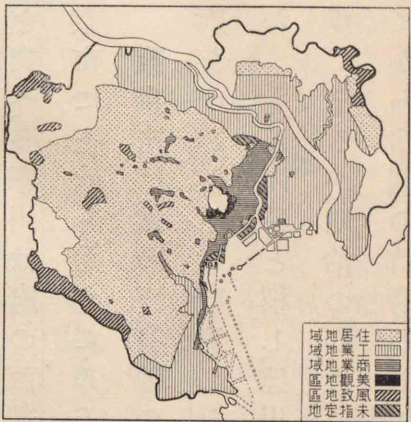
處誌

東京府 關東山塊が西部に横たはり、その麓から武藏野臺地が東に延びて低平な平野に連つてゐる。荒川の下流である隅田川は東京市を貫いて舟運の便を與へ、多摩川は府の西部から南部を流れ、東京市に上水を送つてゐる。

東京市は武藏野臺地の東端に築かれた城廓を中心として發達した都市で、東京灣に臨む。もと江戸と稱し、徳川氏の幕府のあつた處であるが、明治の初めこゝに都を奠められ、から、帝國の首府として、政治、經濟、交通、學藝



東京市の都市
計画圖



及び軍事等の大中心となり、商工業は愈々榮え、今や人口六百萬を有する世界屈指の大都市となつた。

市の中央に宮城があり、その附近には内閣その他の官衙、帝國議會、議事堂、各國大使館等が連り、丸の内の一廓は近年高層の

大建築が多く造られ、主要な會社、銀行等は次第にこゝに集り、商業の中樞地となつた。

市の東南部は所謂下町で商業區をなし、また江東から北部にかけて地域と西南部とは工業區をなし、種々の工場が多い。製造工業の主なものは紡績、製紙、機械製造、出版印刷等で、その他の工業も盛に行はれて、雜貨の産出が夥しい。

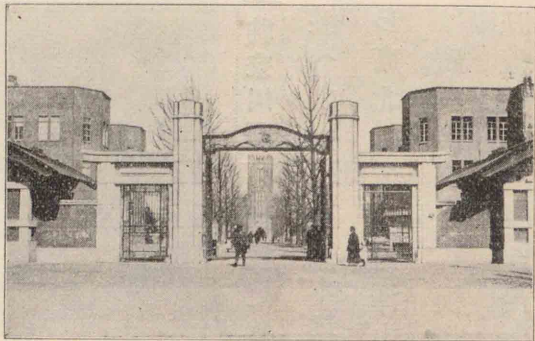


商業區の景觀
日本橋附近で
附近には百貨
店・問屋等が
多い

女子高等教育の學
校には、女子高等
師範學校・日本女
子大學校等がある

東京帝國大學

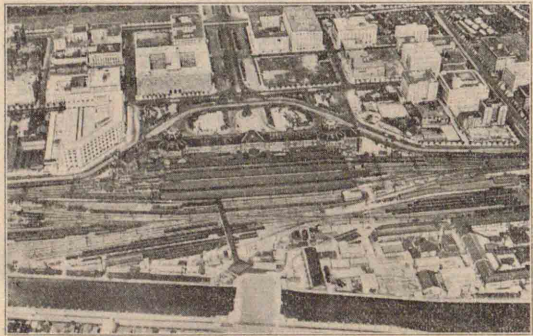
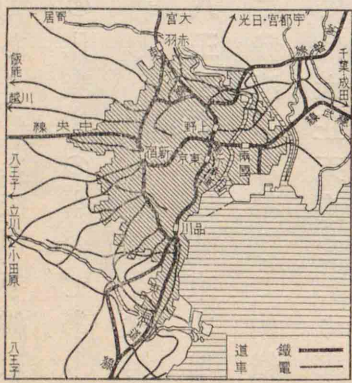
東京附近の鐵
道・電車網



市の西部の所謂山手方面は交通機關の發展に伴ひ、近時住宅區としての發達が著しい。また東京帝國大學を始めとして、各種の學校があり、兵營が多い。

市はまた全國交通の大中心をなし、東京驛は東海道線方面へ、上野驛は東北線方面へ、新宿驛は中央線方面への門戸をなし、

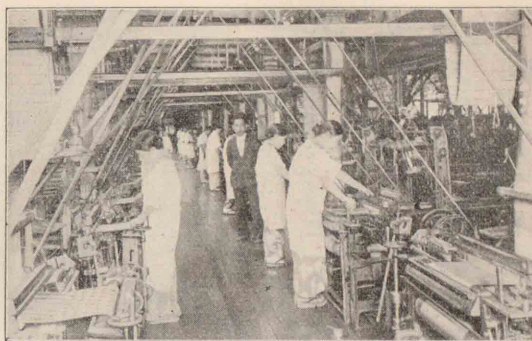
一日の降車人員はいづれも七萬以上に及び、また秋葉原驛は東北線方面への貨物驛、汐留驛は東海道線方面への貨物



東京驛附近

東京府の自動車数は約三萬臺に及び、全國の約二割を占め、全國第一位である。府の西部には養蠶業が盛である。

八王子の製織工場



驛である。なほ山手線は帝都を循環する電車線の代表的のものであり、また市内電車網の發達著しく、地下鐵道も次第に延長しつゝある。八王子市(五五)は關東山塊の東縁にある一小盆地に發達した都市で、絹織物の産出多く、市の西方には大正天皇を葬り奉つた多摩陵がある。西北方の五日市青梅は機業が盛で、また附近から石灰岩を産し、立川(三〇)はこれらへの入口に當り、陸軍の飛行場がある。

神奈川縣

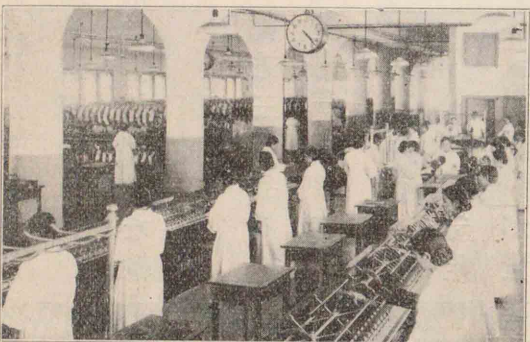
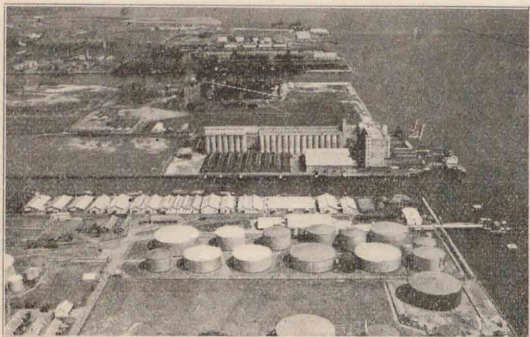
西境に聳える箱根山は複式火山で、その火口原に蘆湖を湛へ、山中には湯本塔澤宮下等著名な温泉郷がある。山勢はこれから東北に連り、丹澤山・大山等が屹立してゐる。これらの山地の東南は廣い平野で、相模川(馬入)がその中を南に流れてゐる。東南部には丘陵性の三浦半島が突出してゐる。

川崎市の工産年額は約一億圓に上る

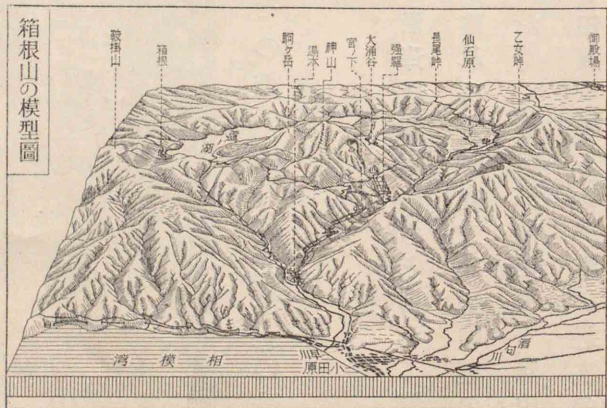
箱根山の模型圖

京濱工業地帯

横濱市の國立生絲検査所



川崎市(五五)には沿岸の埋立地に製粉、製油、セメント、機械造船等の新式工業が興り、こゝを中心に東京、横濱兩市の間は京濱工業地帯と呼ばれてゐる。横濱市(七〇)は縣廳の所在地で、東京灣の



西岸に位し、東京市の外港となつてゐる。幕末には一漁村であつたが、今は神戸・大阪と共に我が國三大

横濱港
市街は臺地の谷合に發達してゐる

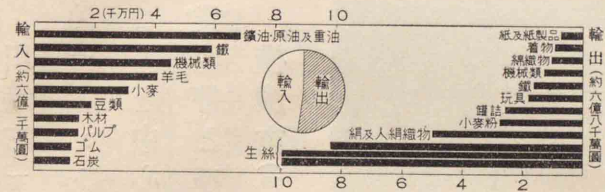
横濱港の輸出生絲の九割五分はアメリカ合衆國に送られる

横濱に高等商業學校・高等工業學校がある

浦賀附近の久里濱は我が國に開港を促したアメリカ合衆國使節ペリーの始めて上陸した處である

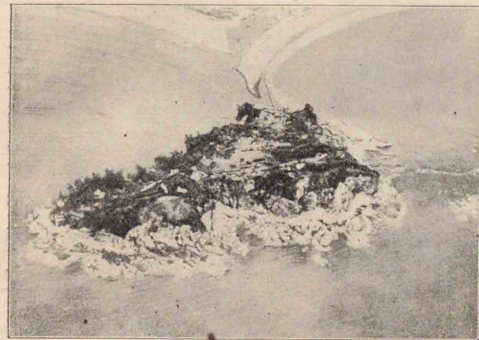
横濱港の主要貿易品

江ノ島

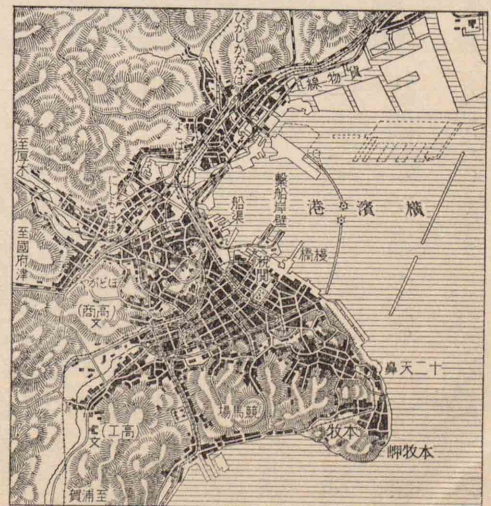


貿易港の一で、港の諸設備がよく整ひ、内外航路の船舶の出入が頗る多い。生絲・絹織物及び人絹織物等が主な輸出品となつてゐる。

横濱の南方三浦半島にある横須賀市(二八三)は軍港



浦賀附近の久里濱は我が國に開港を促したアメリカ合衆國使節ペリーの始めて上陸した處である。横濱港の主要貿易品。江ノ島。横濱港の輸出生絲の九割五分はアメリカ合衆國に送られる。横濱に高等商業學校・高等工業學校がある。浦賀附近の久里濱は我が國に開港を促したアメリカ合衆國使節ペリーの始めて上陸した處である。



相模灣の沿岸は湘南地方と稱して氣候風景共に勝れ、殊に鎌倉(三九)は源頼朝の幕府を開いた所で、史蹟が甚だ多く、葉山・逗子・大磯・小田原(三八)等と共に避暑・避寒の市がある。

鎌倉には鶴岡八幡宮・鎌倉宮・長谷寺・大佛等がある。また鎌倉の附近に江ノ島の勝地がある

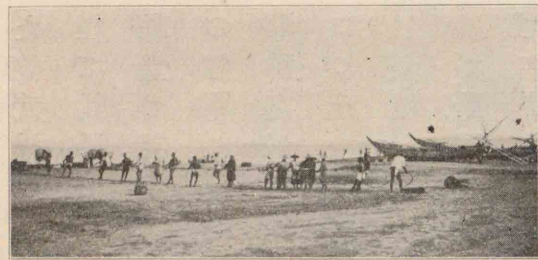
關東地方の遊覽地と休養地

本縣は家禽の飼養が甚だ盛である

九十九里濱の地曳網

市川市は東京市の郊外都市として發達してゐる

千葉に醫科大學がある

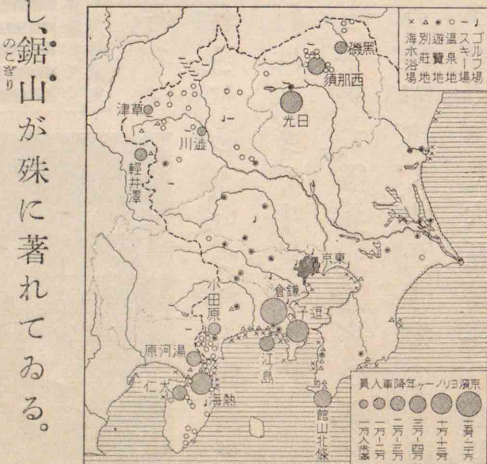


地として知られてゐる。平塚市(三八)は近時工業都市として發展しつゝ、あり、大山の麓の秦野には煙草の栽培が行はれる。

千葉縣

北部には森林原野が多く、また

印旛沼・手賀沼等の湖沼が少くない。南部の房



本縣は米・甘藷・落花生の産額が關東地方第一位である。また近海には鰹・鯖・鮪・秋刀魚等の漁獲が多く、九十九里濱は有名な鰹の漁場である。

西部の船橋(二六)附近及び検見川(二七)には無線電信局があり、習志野は練兵場として著れ、附近には各種の兵營が多い。千葉市(五七)には縣廳がある。東京から來

野田の醤油工場の樽詰作業
銚子の附近に無線電信局がある

江戸川に沿ふ國府臺は北條氏と里見氏との古戦場である

館山北條は好避泊港で近海は漁業が盛である、また海軍飛行場がある

た總武線はこれらの地を過ぎ、佐倉を

經て銚子に至る。佐倉の東北には不

動堂で有名な成田があり、利根川河岸

の佐原には清酒を産し、その東には香

取神宮がある。銚子市四八は利根川の

口に臨む漁港で、鰹節を産する。

利根川、江戸川沿岸の地は醸造業が

盛で、野田、銚子は醤油、流山は味醂みりんの産

で名高く、これらの産額は全國第一位である。

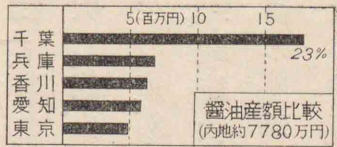
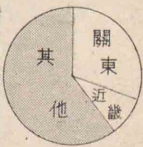
南部の海岸には木更津、館山、北條三〇の名邑があり、いづれも保養地

として知られてゐる。山間には牧牛が行はれ、多く牛乳を産する。

茨城縣 中部以南は千葉縣の北部に連る平野で、霞浦、北浦等の湖が

あり、その水は利根川に落ちて、舟運、灌漑の便が多く、また水郷の景趣

に富んでゐる。農業が發達し、米、麥の産が多く、また大豆、蕎麥の産が

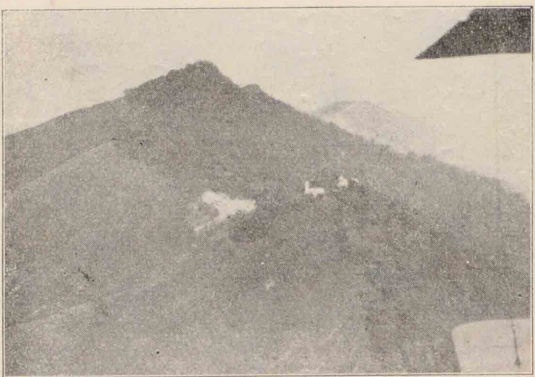


常磐炭田は福島縣の東南部まで連つてゐる

筑波山

近景の峯は男體山で、白雲の建物は故山の階宮殿下の創設せられた洞候所である

常磐公園



ある。海岸には出入が少く、殊に南半の鹿島灘沿岸は砂濱が長く弓形に連り、近海には漁利が多く、鰹節の製造が盛である。北部には阿武隈山脈が奥羽地方から延びて来てそこに常磐炭田がある。また日立、鑛山があつて銅を産し、各地の鑛石をも集めて金銀をも製鍊する。

阿武隈山脈の一脈は

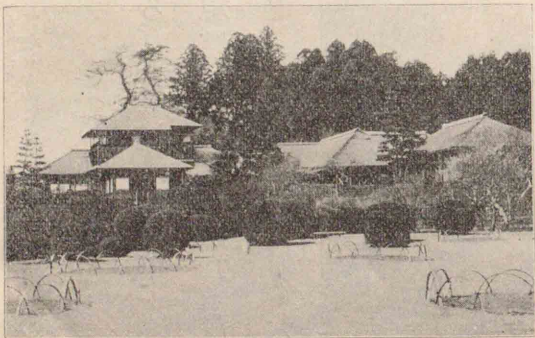
南に延びて、平野中に筑波山を起し、その北方に

花崗岩の石材を産する。久慈川及び那珂川は

東流して、共に太平洋に入る。その流域には煙

草の産があり、太田がその中心地をなす。

水戸市六四は縣の中央、那珂川の岸に位し、縣廳



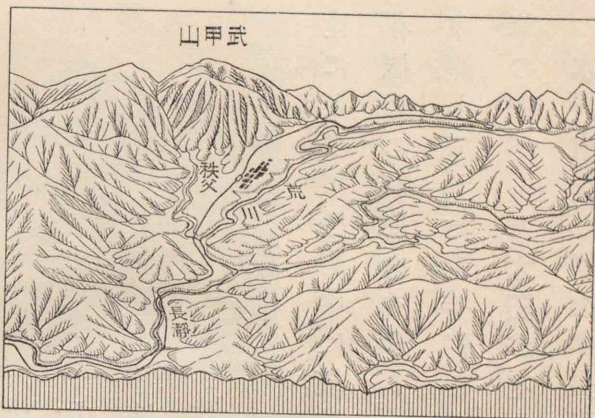
水戸に弘道館・常磐公園・高等學校がある

湊附近の大洗岬は風景の壯絶なもので知られてゐる

秩父盆地の模
型圖

長
溝

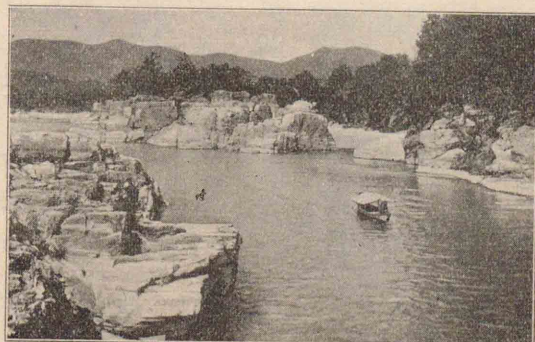
秩父盆地には長溝の勝地があり、秩父赤壁と稱せられる



の所在地でもと徳川氏親藩の居城となり、文教の盛な處であつた。東方の海岸には湊磯濱等の小港がある。霞浦沿岸の土浦は湖港で、その附近に規模の宏大な海軍飛行場がある。常磐東北の兩線を連ねる水戸線に沿ふ結城は結城紬の産地として名高い。南部の鹿島には鹿島神宮がある。

埼玉縣 西部には關

東山塊が聳え山間の秩父盆地には秩父絹を産する。東部は平野が遠く連つて麥野菜等の産が極めて多く、養蠶機業も盛に行はれ、繭絹織物、木綿織物を産する。



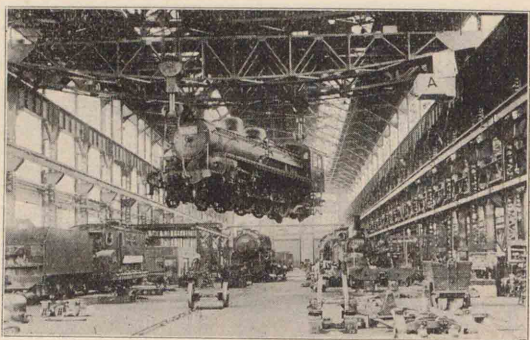
浦和に高等學校がある
川口に燃料研究所がある
忍は行田足袋の產地である

大宮の鐵道工場

我が國最大の鐵道工場である、圖は起重機で機關車を吊上げてゐる處である

赤城・榛名・妙義を上野三山と稱する

伊香保温泉



東京を發する東北線は川口・浦和を過ぎ、大宮で高崎線を分つ。川口市(五四)には鑄物業が榮え、浦和市(四四)には縣廳がある。大宮(三四)には氷川神社鐵道工場があり、その東方の岩槻、西方の福岡には無線電信局がある。高崎線上の熊谷市(三八)は養蠶業の一中心である。川越市(三五)は絹織物の産地で、附近には甘藷の産が多い。その南方の所澤には陸軍飛行學校がある。

群馬縣

三面山に包まれ、平坦なものはたゞ東南の一面のみである。赤城・榛名の兩火山は縣の中部に聳え、榛名山腹には有名な伊香保温泉がある。西南部の妙義山には奇岩の勝景がある。



縣の西境に聳える
白根山の東麓に草
津温泉がある

碓氷峠の断面
圖と地形圖

碓氷峠には二十六
箇のトンネルがあ
る
上越線の清水越ト
ンネルは長さ九七
〇二米、本邦最長
のもので、二箇所
にループトンネル
がある

清水越のルー
プト線

桐生に高等工業學
校がある



利根川は本縣の中央を南流して平野に出る。
縣下は養蠶・製絲・機業が極めて盛である。

前橋市(八七)は關東平野の一端にあつて利根
川に沿ひ、縣廳所在地で、生絲を産する。西南

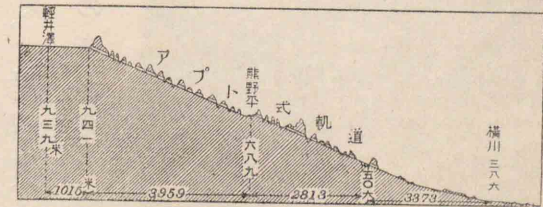
の高崎市(六四)は鐵道交通の要點で、信越線はこ
こから西に延び、アプト式軌道によつて碓氷

峠を上り、長野縣に出て、上越線は
北に向ひ、清水越トンネルを過ぎ

て新潟縣に入る。西南部の富岡
には有名な製絲場がある。前橋から東に進む兩毛線の

沿線には機業地が多く、伊勢崎(三三)は銘仙の産地として名
高く、桐生市(七六)は絹織物の産額が關東第一である。

栃木縣 縣の西部から北部にかけては山が多く、概ね火
山で、那須山・男體山等は殊に著れ、那須・鹽原等の有名な温



鬼怒川の上流には
壯大な水力發電所
があつて東京その
他へ電力を供給し
てゐる

那須野の開墾
地

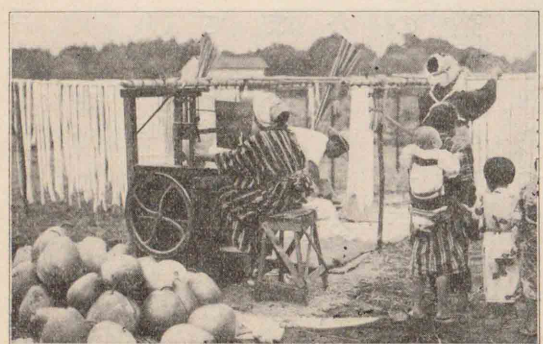
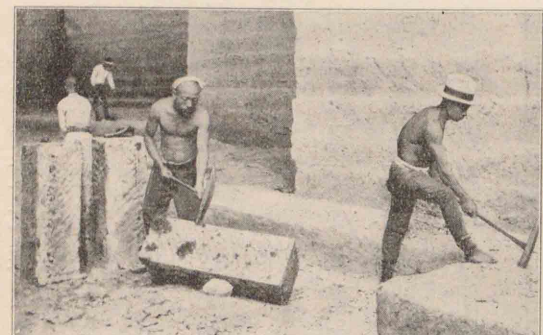
縣下の大麻の産額
は全國第一である

宇都宮の附近に第
十四師團司令部及
び高等農林學校が
ある

大谷石の石切
場

大谷石は東京
市内で建築用
材として用ひ
られる、その
切り下げられ
た深さは二十
米にも達する

干瓢の製造



泉がある。那須山麓の那須野はもと一面の草地
であつたが、今は次第に開墾された。關東平野は
縣下に入込んで、鬼怒川・那珂川等が南流し、那珂川
の沿岸には煙草の産が多く、また中部の平野には
大麻・干瓢(かんべ)を産し、南部には養蠶・機業が盛である。

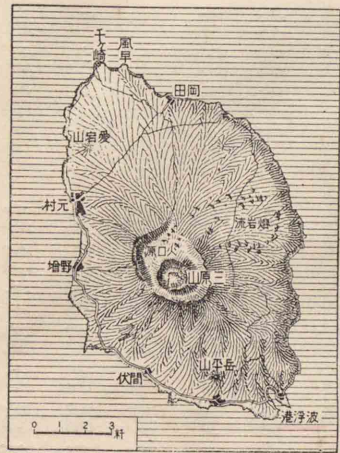
宇都宮

市(八七)は
縣廳所



在地で、煙草・麥粉の製造が
行はれ、その北方には大谷
石の石材を産する。兩毛
線上の栃木(三三)は繭生絲の
集散地、足利市(四九)は絹綿各
種織物の産地である。

日光附近の模
型圖



大島
大島の波浮港は火
山の火口に出来た
ものである

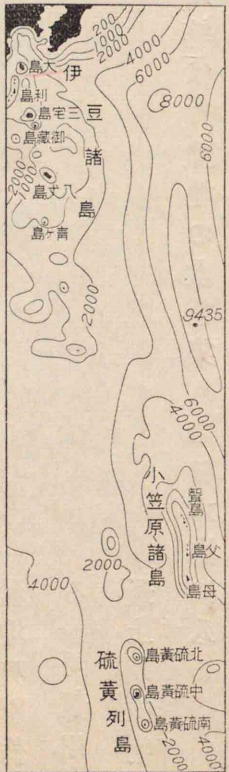
小山は東北線と水戸・兩毛二線との分岐點に當り、無線電信局がある。日光線に沿ふ鹿沼(三三)の附近には大麻を産する。日光(三三)は中禪寺湖華嚴(三三)の等の風景の秀絶(せうぜつ)なので著れ、また東照宮の建築の壯麗なことは外國にまで知られてゐる。その西南の足尾(三四)には著名な銅山がある。



南方諸島 關東地方の南方の太平洋中には、概ね火山島から成る伊豆諸島・小笠原諸島・硫黄列島があつて、いづれも東京府に屬してゐる。伊豆諸島の大島には活火山の三原山があり、その裾野には牛を飼ひ、バターを産する。八丈島からは絹織物・椿油を出す。

豆南諸島

小笠原諸島にはヨ
ロッパ人の歸化
したものの子孫が
住んでゐる



小笠原諸島は遙か南方の海上にあるから、氣候が熱帶性で、甘蔗・バナナを栽培し、また海龜の産がある。その父島にある二見港は近海唯一の良港で、南洋諸島に至る汽船の寄港地である。太平洋海底電線は鎌倉から來て、二見港を経て、アメリカに通ずる。

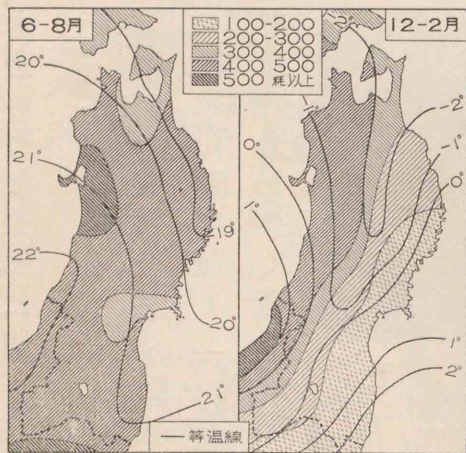
第二節 奥羽地方

位置地形

本州の東北部を占め、北は津輕海峡を隔てて、北海道本島に對する。奥羽山脈が中央を南北に走つて、太平洋斜面と日本海斜面とを分ち、脈中には所々に那須火山脈に屬する火山が聳えてゐる。太平洋岸には、南に阿武隈山脈、北に北上山脈があつて、共に奥羽山脈との間に細長い平野を挟み、阿武隈川、北上川が流れてゐる。日本海

行政上、福島・宮
城・岩手・青森・秋
田・山形の六縣に
分ける

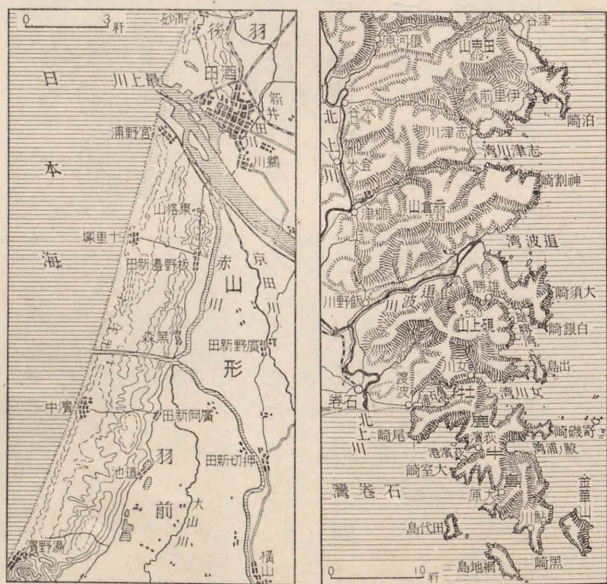
奥羽地方の氣象圖



奥羽地方海岸の二様式
右は北上山脈東岸に発達した鋸齒状の海岸、左は最上川河口附近の砂濱の平滑な海岸である

海岸は、北に下北津輕の二半島が突出して陸奥灣を抱き、東には牡鹿半島、西には男鹿半島がある。太平洋岸は岬灣の出入が鋸齒状になつてゐる處もあるが、日本海岸は一般に單調な砂濱で、砂丘の

發達する處が多い。



氣候

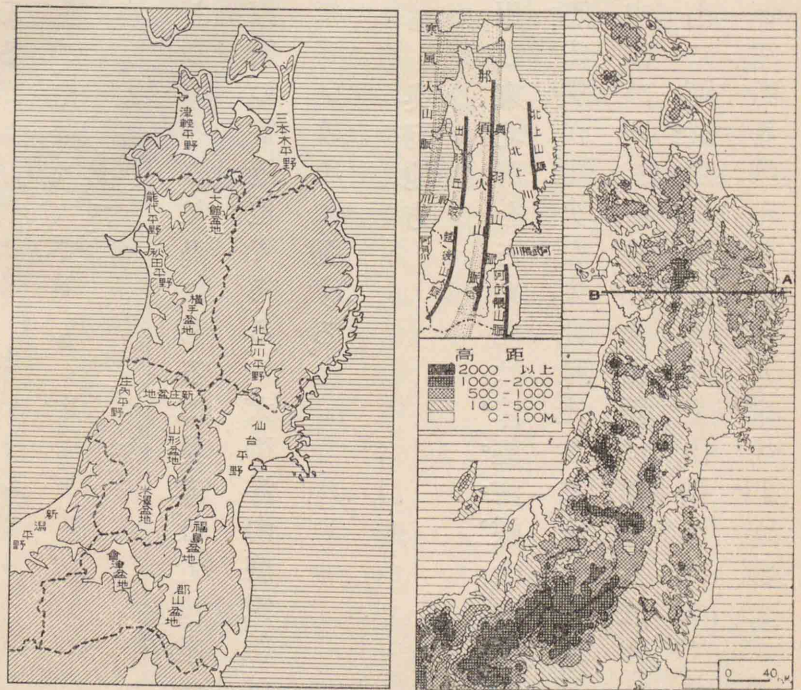
この地方は本州中冬の寒さが最も厳しい。殊に日本海斜面は、降雪が多く、海上は風波が荒くて、海運が不便である。しかし、夏は氣温が割合に高く、日射

那須火山脈に屬する火山は磐梯・吾妻・藏王・岩手・八甲田等である、またこの地帯には猪苗代・十和田・田澤等の湖水が多く、その風景が美しい

奥羽地方の山脈・盆地・平野



川・米代川等は各盆地の水を集めて日本海に入る。



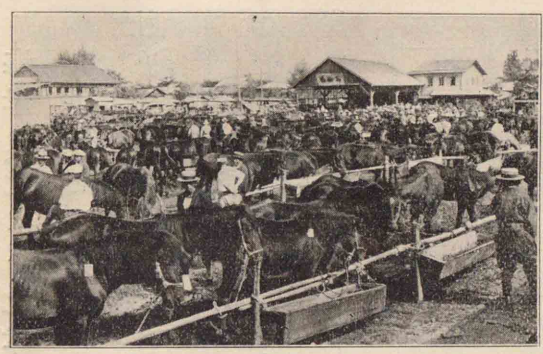
方面には、越後山脈、出羽丘陵が南北に連り、鳥海火山脈に屬する火山がこれに沿うて所々に噴起し、奥羽山脈との間に盆地列を作る。阿賀川、最上川、雄物

防雪トンネル

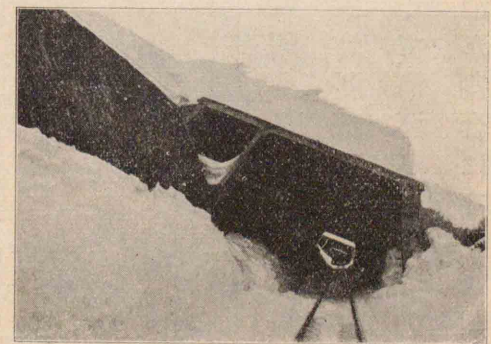
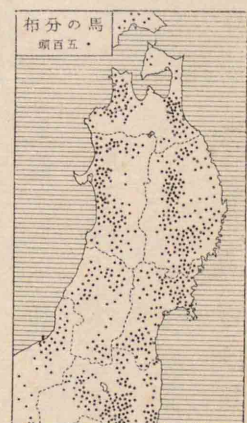
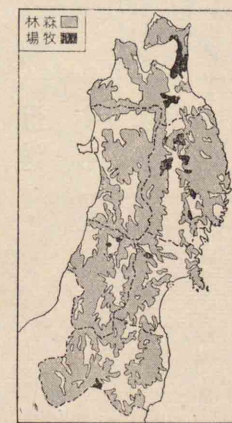
馬の分布

森林と牧場の分布

盛岡の馬市
盛岡では毎年九月半頃二歳の駒の鬮市が開かれる、遠近から集る馬の数は二萬餘頭に及び股盛を極める



も強いので、米作に適する。
産業 [一] 農牧を主とし、秋田・山形・宮城の三縣には米を多く産し、



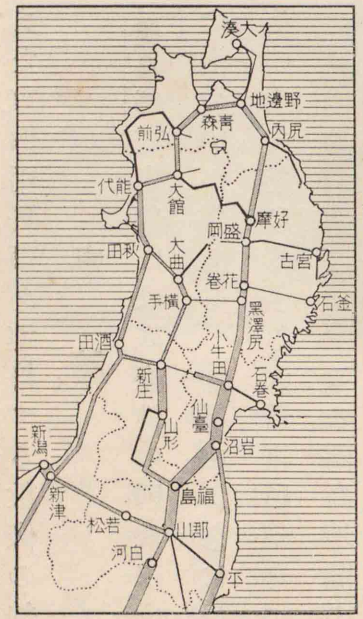
福島・山形の二縣では養蠶業が榮え、太平洋岸の四縣では牧馬が盛である。 [二] 鑛産は秋田縣に銅・銀・石油、岩手縣に鐵、福島縣に石炭を産する。 [三] 北部の三縣は林産と苹果の産とに富む。 [四] また太平洋岸は水産が豊か、金華山沖には捕鯨が行はれる。

苹果・櫻桃の産額比額

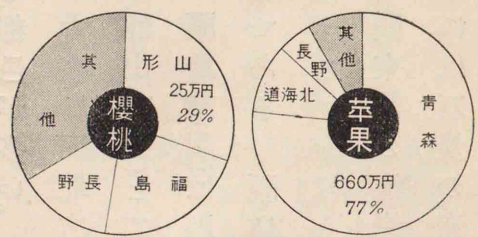
森林の伐出

奥羽地方の鐵道圖

磐越・陸羽・横黒・花輪の四線は東西兩斜面を連絡する



この地方は日本列島中、北海道・樺太に次いで、人口の疎な處で、面積は關東の二倍に餘つてゐるが、人口はその二分の一に過ぎない。殊に岩手縣の密度が最小である。従つて都邑も多くない。
交通 東北線は阿武隈川と北上川との河谷を走り、奥羽線は



これから分れて西部諸盆地の間を貫き、共に青森に至り、連絡船によつて北海道本島の鐵道と結ぶ。その他、南部には太平洋岸を走る常磐線、西部には日本海岸に沿ふ羽越線がある。

本縣は我が國第二の大縣である
磐梯山は明治二十一年に大破裂をしたので有名である

白河の附近に白河關址がある

郡山には紡績・煙草製造等の工場がある

猪苗代の水力發電所

福島市の附近に高等商業學校がある、また北方に飯坂の温泉がある



また東西兩斜面を連絡する數條の線路がある。

處誌

福島縣

東部には高臺性の阿武隈山脈があり、中部には吾妻・磐梯等の活火山が聳える。磐梯山の麓には猪苗代湖があり、湖尻附近にはその水力を利用する大發電所があつて、電力は遠く東京に送られる。

この兩高地間の平野には、阿武隈川が流れ、養蠶・牧畜が盛で、都邑が多い。

白河(三)は古來奥羽地方の南の門戸に當り、馬市で名高く、郡山市(五)と二本松とには製絲業が盛である。福島市(四)は縣廳の所在地で、また繭・生絲の市場である。福島市の東南にある川俣は羽二重を産する。

阿武隈山脈東麓の海岸を走る常磐線に沿ふ平(三)の附近には石炭の産が多く、中村は相馬燒

川俣の東北には靈山の史蹟がある
常磐炭田はその出炭量が北海道の石狩炭田の約三分の一で、内郷・入山炭坑が特に著名である

會津盆地

仙臺市街

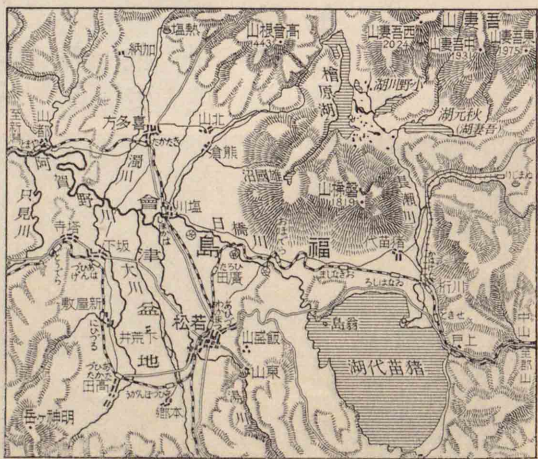
牡鹿半島の南端に近い金華山の附近は鮪の漁場で、遙か東方の沖合には鯨の漁場がある



の特産を以て知られてゐる。

縣の西半にある會津盆地には若松市(四)があつて漆器を産し、また附近から陶器を出す。市の西北に喜多方(五)の都邑がある。磐越線は平から起つて、郡山で東北線と交はり、若松・喜多方を経て新潟縣に出る。

宮城縣 西境の奥



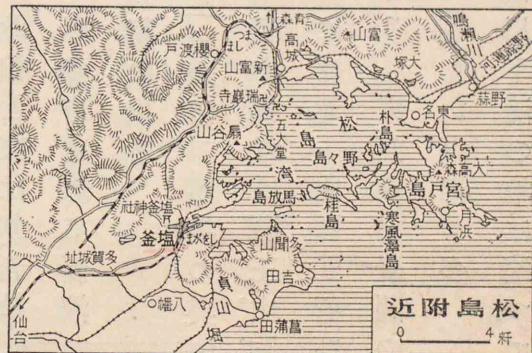
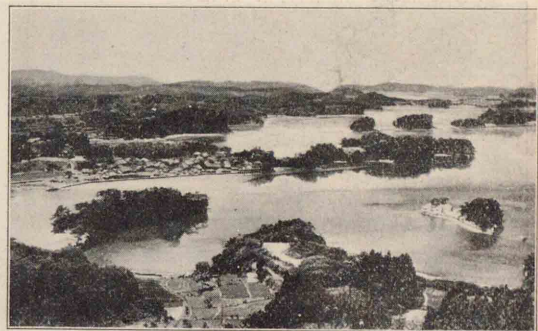
羽山脈には藏王・駒ヶ嶽等の火山が聳え、また東には北上山脈が延びて來て、終に牡鹿半島となる。東西兩山脈間の平野は主に北上川の流域で、また湖沼が多い。この平野は南方の阿武隈川下流の地に連つて多く米を産する。東北線

松島

仙臺に第二師團司令部・第二高等學校・高等工業學校等がある

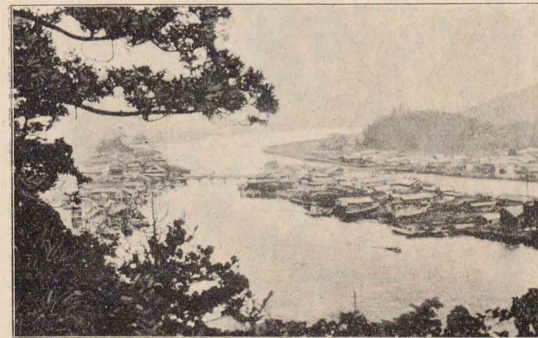
石巻と北上川

鹽釜は築港が竣成して奥羽に於ける重要な港となつた



は阿武隈川の口に近い岩沼で常磐線と會し、仙臺を過ぎて北に向ふ。

仙臺市(三〇)は奥羽第一の都市で、縣廳東北帝國大學があり、仙臺、平埋



木細工等の特産がある。松島灣には海水の浸蝕によつて出來た大小幾多の島嶼が散在し、灣岸の鹽釜(三六)は開港場で、また漁港としても榮えてゐる。北上川口に臨む石巻市(三四)は水が浅いから、大船は牡鹿半島の荻濱に寄港する。

本縣は全國第一の大縣である

小岩井農場は岩手山の南麓にあつて盛に牛・馬・羊を飼つてゐる

盛岡に高等農林學校がある

岩手山と小岩井農場

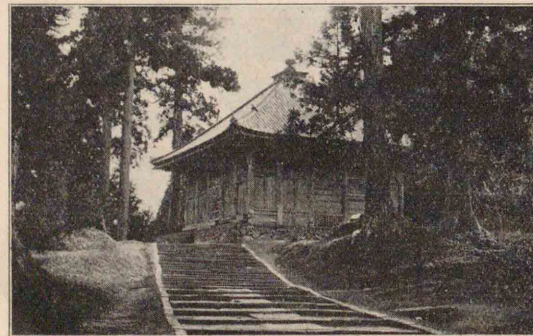
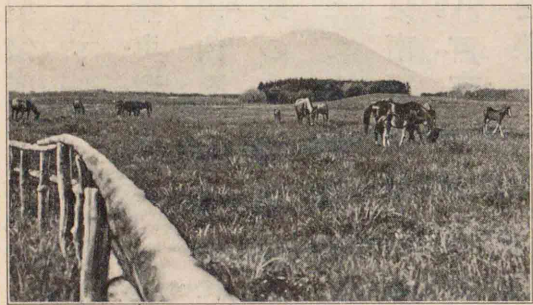
平泉の中尊寺光堂

岩手縣

北上山脈は縣の東半を占め、その最高峯を早池峯山といふ。縣の西境には奥羽山脈が連り、岩手山がこれに接して高く聳えてゐる。この兩山脈の間を南流する北上川の沿岸平野は耕作がまだ進んでゐないが、牧馬が盛である。東北線はこの平野を南北に走る。

一關は南端の門戸で、その北方に名高い平泉の史蹟がある。盛岡市(六九)は縣廳の所在地で、盛大な馬市が開かれ、また南部鐵瓶を産する。

海岸地方には開港場の釜石(三六)を始め、大船渡、宮古(三二)等の良港がある。いづれもその後方に山を負ひ、後背地の交通は不便であつたが、最近横斷鐵道が開通した。釜



釜石の製鐵所

仙人峠附近の鐵山から採掘した鐵鑛はここで製鍊される、年産額は鐵十二萬噸、鋼鐵七萬噸に及ぶ

津輕半島には羅漢柏の良材を産する

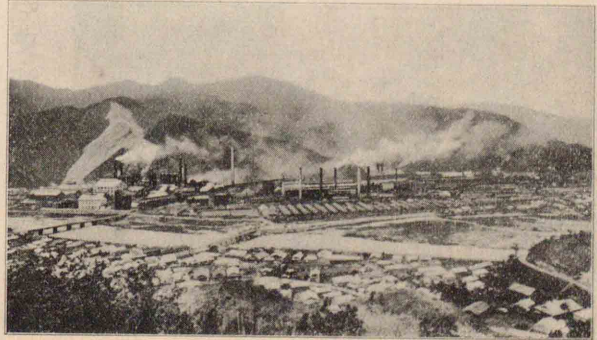
岩木山

大湊に海軍航空隊がある



石鑛山には鐵鑛を産し、釜石製鐵所がある。
青森縣 本州の東北端に位し、下北津輕の兩半島が北に突き出て、その間に陸奥灣を抱く。那須火山脈は縣の中部に八甲田山を、下北半島に恐山を起す。西部の津輕平野の中には岩木火山が聳えてゐる。

縣の東南部の馬淵川下流には八戸市が、あつて、水産物を集散し、奥羽山脈東麓の三本木七戸その他には牧馬が盛である。大湊は陸奥灣の東北隅にあつて、海軍要港である。青森市は陸奥灣の西南岸にあつて、縣廳所在地で、東北奥羽兩線の終點に當る。また北海道に渡る要點で、水陸



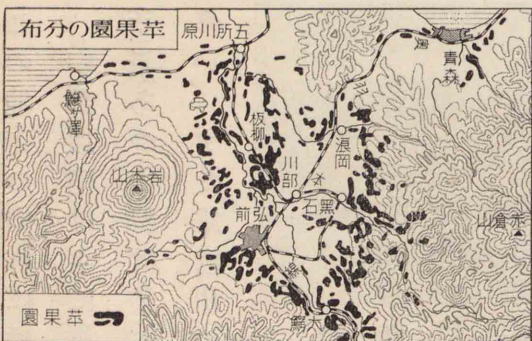
青森は東京を距ること鐵路約七百四十軒である

青森港の連絡船

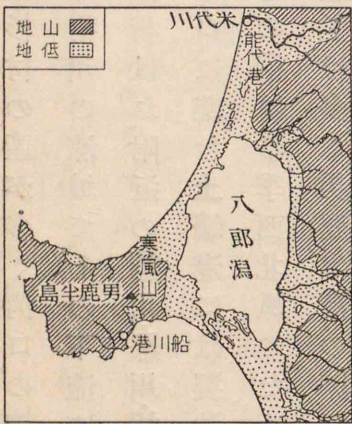
弘前に第八師團司令部・高等學校がある

弘前附近の苹果園分布

八郎瀉

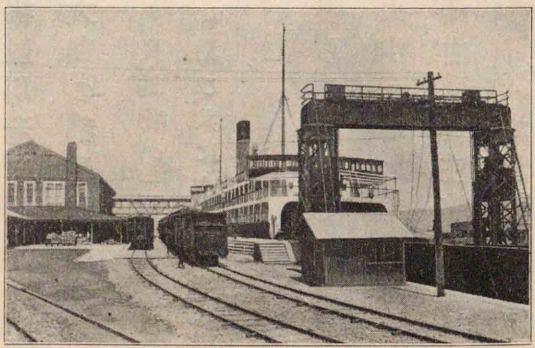


連絡の設備がよく整ひ、また開港場である。津輕平野には岩木川が流れて、米馬鈴薯等の農産物に富み、また苹果の産は我が國第一である。弘前市は平野の中央に位して、津輕塗を産し、苹果を集散する。



秋田縣 東南北の三面は山に圍まれ、西部の日本海岸には男鹿半島が突き出

て八郎瀉を抱く。米代川は縣の北部を流れ、流域には鑛山が多く、中にも小坂には銅銀の産が多い。また



能代港には春慶堂を産する

秋田には鐵山専門學校がある、また市の附近には大踏を産する

山形市と月山

陸羽線は宮城縣から來て新庄で奥羽線と交はつて西に通じ、庄内平野を南北に走る羽越線と連絡してゐる



この地方の山林には杉材の産が多く、河口の能代港(三)で製材する。中部以南は主に雄物川の流域で、その下流に縣廳所在地の秋田市(六)があつて製材業が行はれ、附近の豊川・黒川・旭川等には石油の産が多い。また雄物川の口に臨む土崎港には製油鐵道の工場がある。

その港は冬季西北風のため碇泊に不便であつて、船舶は多く男鹿半島の開港場船川港に避難する。雄物川上流地方には横手(三)・大曲(おほまがり)の都邑がある。

奥羽線は青森から來て、ほとと米代、雄物の二川に沿ひ、羽越線は秋田から起つて海岸に沿ひ、共に南下して山形縣に出る。

山形縣

東境は奥羽山脈で限られ、西部には出羽丘陵が連り、鳥海山・月山等の火山がその中に聳えてゐる。兩高地の間には米澤・山形・新庄等の盆地が南北に並び、最上川はこれを貫いて北流し、西に

米澤に高等工業學校がある

酒田の米穀倉庫

酒田米穀取引所に屬する倉庫で一に米券倉庫ともいはれその米券法は全國の模範となつてゐる

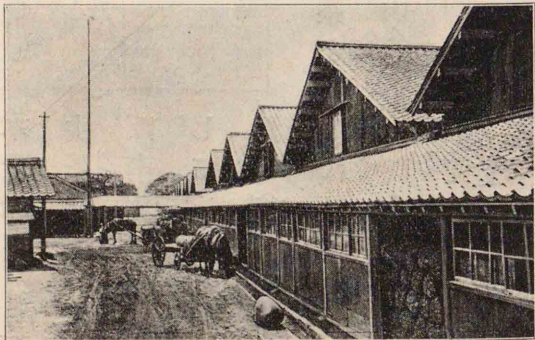
山形に高等學校がある、また市の近くに上ノ山温泉及び山寺の勝地がある

行政上、長野・山梨・静岡・愛知・岐阜の五縣に分ける

折れて日本海岸に庄内平野を作る。奥羽線は福島から來て、米澤・山形を過ぎ、秋田縣に出る。

新庄(三)は新庄盆地の中心で鐵道の要點に位置し、米澤市(五)は養蠶の中心で、また絲織を産する。

山形市(七)は縣廳の所在地で、附近には綿織物・櫻桃の産が多い。庄内平野は古來良米の産を以て知られ、鶴岡市(三)はその中心で、また絹織物を産する。酒田市(三)は最上川の河口に臨む港市で、米を集散する。



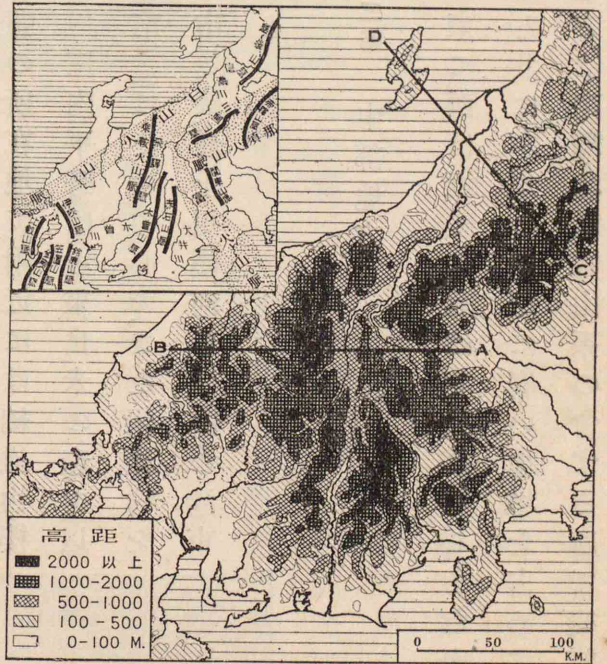
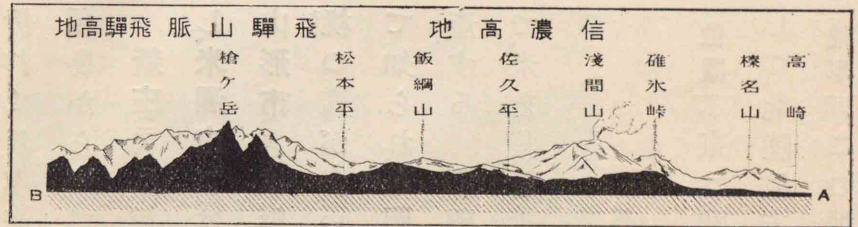
第三節 中部地方

位置 東は關東に、西は近畿に、北は北陸に境し、また南は太平洋に面して、北陸地方と共に本州の中部に廣い地域を占めてゐる。

地形

この地方は南彎・北彎兩山系の會する處で、複雑な地形を呈し

中部地方の斷
面圖と中部・
北陸地方の地
形圖



てゐる。この南彎山系と北彎山系との間には、富士山・八ヶ岳・妙高山等の火山が噴出し、南彎・北彎兩山系との間に各、數箇の盆地を造つてゐる。

てゐる。北彎山系は三國山脈・關東山塊となり、南彎山系は高大な飛驒山脈・赤石の三山脈となり、ほぼ南北に平行して、その間に深い谷を挟ん

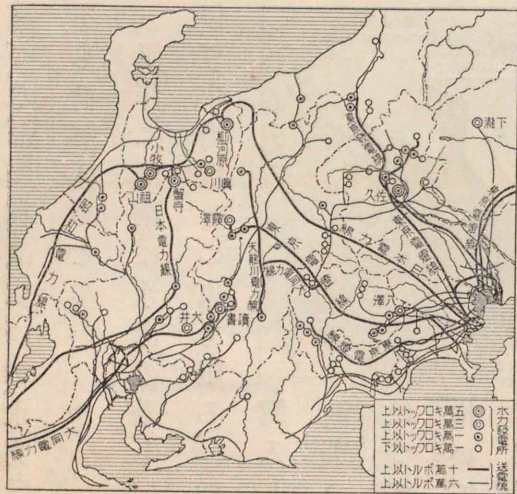
飛驒山脈を日本北アルプス、木曾山脈を日本中央アルプス、赤石山脈を日本南アルプスといふ

鎗ヶ嶽の雪溪

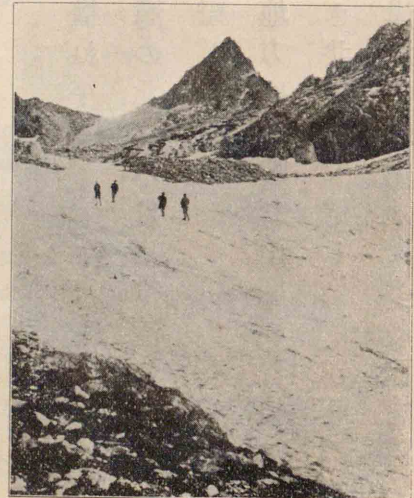
信濃川は長さ約三百七十軒に達し、本州第一の長流である

中部・北陸地方の水力發電所分布

長野縣下の水力發電業は本邦第一で、岐阜・富山がこれに次ぐ



飛驒山脈は實に本州第一の高大な山脈で、鎗ヶ嶽・白馬嶽等の峻峯が聳え、いづれも山容が雄大で四時殆ど雪が絶えない。この山脈の西は飛驒高地となり、更に西南方近畿との境には伊吹山脈がある。また飛驒山脈には乗鞍・火山脈に属する



燒嶽御嶽・乗鞍嶽等の火山が峙つ。

主な河流は中央高地から出て、南と北との兩斜面を流れる。即ち太平洋斜面には富士川・大井川・天龍川・木曾川の諸川があり、日本海斜面には信濃川の上流である千曲川とその支流犀川とがある。これらの河川は多くは急

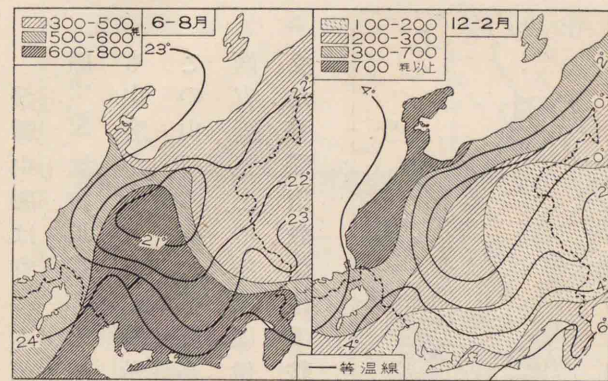
駿河灣と伊勢灣との間の海面を遠州灘と稱する

大井川の下流

平時は水流は廣大な積を網の目のやうに流れてゐる

中部地方の氣象圖

本州に於ては太平洋斜面を表日本といひ、日本海斜面を表日本といふ
諏訪湖は冬季凍結してスケートが盛に行はれる、またその附近には寒天の産が多い



流で、水運の利は少いが、水力發電に利用されるものが極めて多い。

沿岸には東に水深の著しい駿河灣があり、伊豆半島はその東を限る。西には伊勢灣が

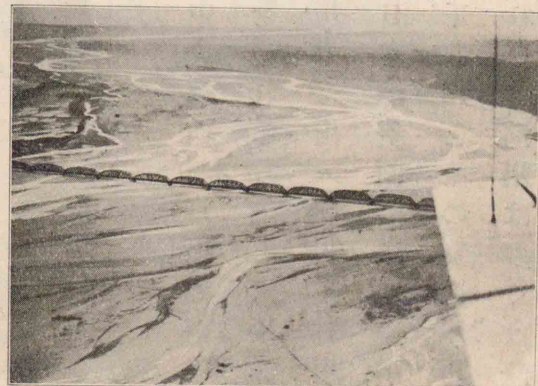
灣入し、その東に知多渥美の二半島が横たはつて、別に三河灣を抱いてゐる。

海岸地方は概ね平

坦で、殊に伊勢灣の北岸、木曾川下流の地には、名高い濃尾平野がある。

氣候

海岸の地方は溫暖で、山間の盆地は夏の暑さ、冬の寒さ共にやゝ厳しい。夏季の東南季節風は海岸近くの山地に多く雨を降ら



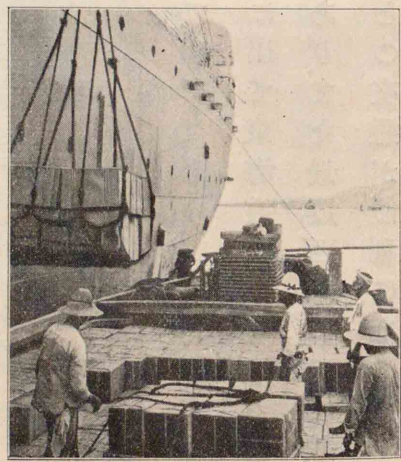
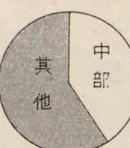
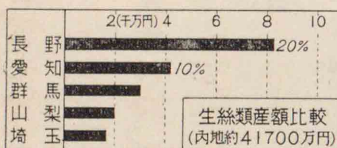
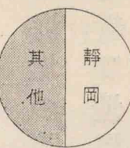
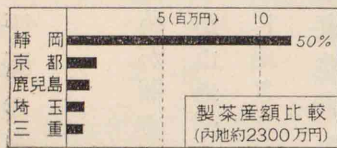
清水港の茶の積出

名古屋の製陶工場

日本陶器會社の工場で、ここでは主として輸出のものを作る



すが、冬季の西北季節風は山嶽に遮られて、雪を降らすことが少い。
産業 海岸地方は土地がよく開けて、農業が盛に行はれ、静岡縣の海岸地方には茶・蜜柑の産が多く、駿河灣とその近海には水産業が盛で

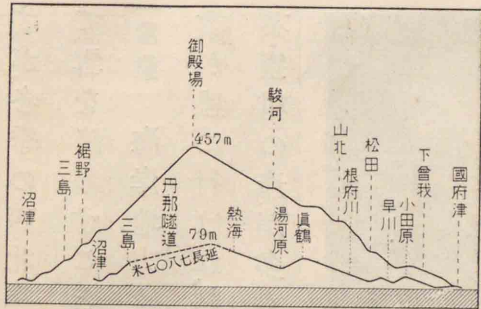


ある。山嶽地方は林産が甚だ豊かで、木曾の森林は我が國第一と稱せられる。
養蠶は長野・愛知の二縣に最も盛で、繭・生絲の産額は全國に傑出し、紡績・製紙等の工業は愛知・静岡等の諸縣に行

人口約八百四十萬、人口一萬以上の市町が八十二ある

中部地方の鐵道圖

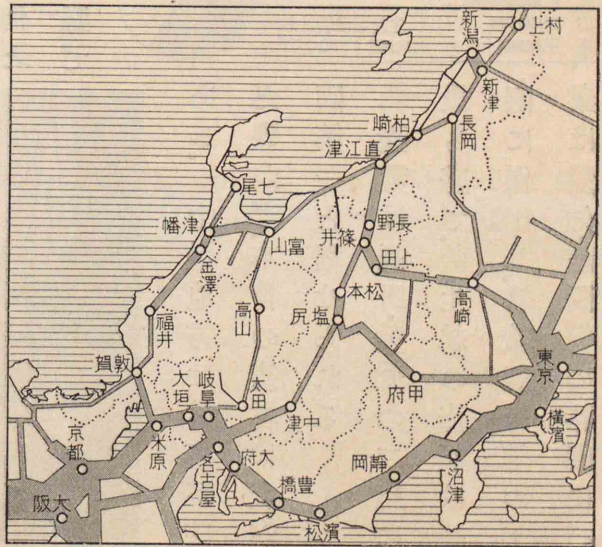
丹那トンネル
開通による東海道線の短縮



はれ、陶器は多く濃尾平野の東部の丘陵地で生産される。
中部地方はその面積が關東地方の一倍半に及んでゐるが、山地が広いから、人口はその六十%に過ぎない。

交通

東海道線は關東地方から來て海岸の諸都市を縫ひ、濃尾平野を貫いて、近畿地方に出る。中央線も關東地方から來て山梨長野の二縣を經、木曾川に沿うて濃尾平野に出て東海道線に會する。東北部には信越線があり、また最近西部に高山線が開通して北陸地方との交通が便利になつた。



本縣は全國第三の大縣である

峠の有名なものは、縣内に和田峠、鹽尻峠、鳥居峠等、縣境に碓氷峠、野麥峠、針ノ木峠等がある

碓氷峠を上げれば海拔約一千米の高處に輕井澤の避暑地がある

淺間山と輕井澤

善光寺

上田には上田紬を産し、また蠶絲専門學校がある

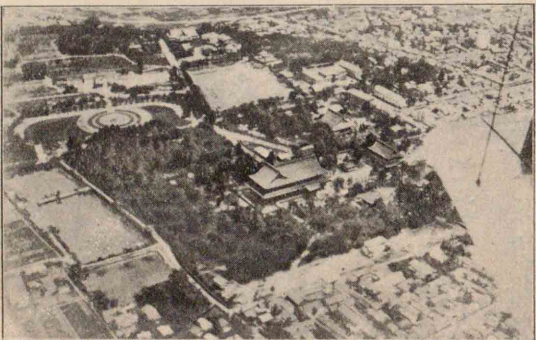
海上には汽船の往來が繁く、駿河灣の清水港と伊勢灣の名古屋港とは共に開港場で、前者は茶を、後者は陶器を輸出するので名高い。

處誌

長野縣 西境には飛驒山脈が高く横たはり、南部には木曾・赤石の兩山脈がまた高く連り、東には淺間・白根等の活火山が聳え、中央には富士火山脈が走つてゐる。

これらの山地の間には谷狀の盆地が多く、大河がこれを流れてよく開け、到處に養蠶が盛である。

東部には千曲川が北に流れて信濃川の上流をなし、信越線がこれに沿うて北に走つてゐる。沿線の



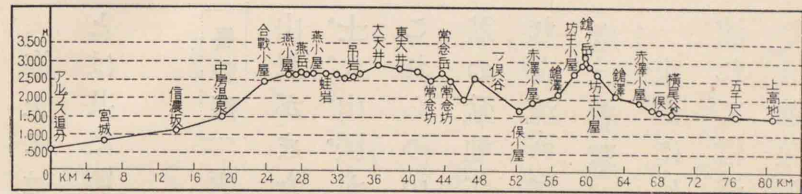
長野の西南には觀月の名所、越前山があり、また東北には溢温泉がある。松本に高等學校がある、またその東北に浅間温泉がある。

岡谷附近に於ける機械製絲工場の分布

日本北アルプスの縦走路

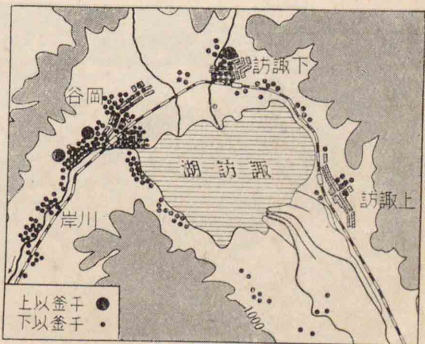
松本平の桑畑分布

天龍川には天龍峽、木曾川には寢覺ノ床の勝地がある。



上田市(五)は上田盆地の中心をなし、繭の集散地である。善光寺平の長野市(七)は縣廳の所在地で、有名な善光寺がある。千曲川とその支流犀川との會點には川中島の古戰場がある。

松本平の松本市(三)は繭生絲を集散し、製絲業が盛である。大町は上高地と共に日本北アルプス登山者の根據地である。



縣の中央に諏訪湖があり、その西岸の岡谷市(四)は我が國第一の製絲業地である。伊那谷には名邑飯田がある。西部南部の木曾谷には森林

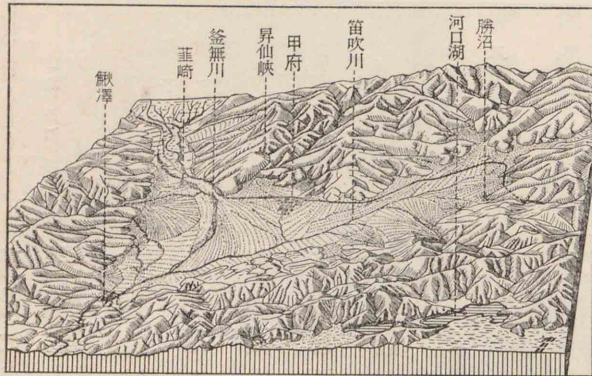


南部の木曾谷には森林

笹子のトンネルは延長約四五六米で、我が國第三のものである。甲府に高等工業學校がある、またその北方には御嶽弁仙峽の勝地がある。

甲府盆地 盆地は周囲の山地から流出した土砂で埋められてある。

富士川の支流早川には壯大な水力發電所がある。富士川の西岸に近い身延山には日蓮宗の本山久遠寺がある。



がよく繁茂し、また大發電所があつて、福島がその中心をなす。

山梨縣

桂川は源を富士山の東北麓にある山中湖に發し、下流は神奈川縣へ入る。その流域地方を郡内といひ、甲斐絹の主産地として知られ、谷村がその中心をなす。河畔には水力發電所があつて、電力を東京に供給する。關東地方から來た中央線は桂川に沿ひ、猿橋を経て、笹子の大トンネルを過ぎ、甲府盆地へ出る。

甲府盆地を圍む山嶽中、殊に高いのは、西境の赤石山脈及び南と北にある富士八ヶ嶽の二大火山である。盆地の水は集つて富士川となり、その西南隅から峽流になつて南に下り、静岡縣に出る。

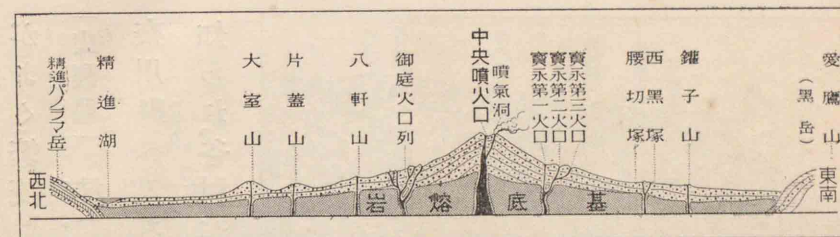
甲府市(六)は盆地の中央にあつて、縣廳所在地である。その主産物は生絲で、また水晶細工の特産がある。盆地の東部、勝沼附近には

勝沼附近の葡萄畑の分布

富士山は海拔三七七六米あり、静岡縣の須走・御殿場・大宮及び山梨縣の吉田は著名な登山口である

富士山の地質圖と断面圖

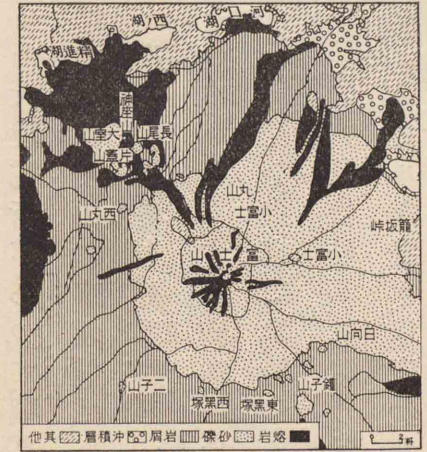
伊豆半島には土肥・蓮臺寺等を始め多くの金山がある



葡萄の栽培が盛に行はれる。

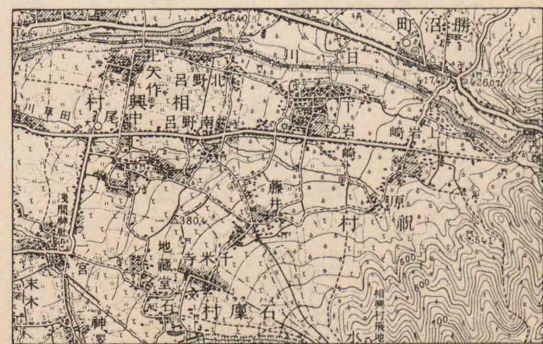
静岡縣

北境には赤石山脈が高く横たはり、また富士の秀峯が聳えてゐる。富士山は休火山で、美しい圓錐形をなし、我が國第一の名山と稱せられる。富士・大井・天龍の諸川はいづれも急流で、下流



に廣い積石を造つてゐる。

東部には山がちな伊豆半島が突出して熱海・伊東(三)・修善寺等の温泉が多く涌き出てゐる。天城・火山

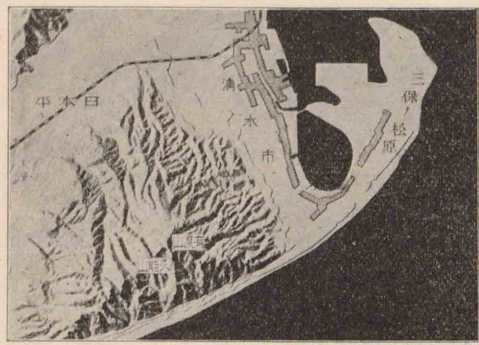


濱名湖附近の地形圖

沼津にはモスリン・製絲の工場があり、その西方の吉原には人造絹絲の工場がある

丹那トンネルは延長七八〇七米に及び我が國第二のもので、十七年の長年月を費し、二十五百萬圓の工事費を投じたが、このトンネルの開通によつて東海道線は時間が大いに短縮された

久能山附近の模型圖



は美林を以て知られ、下田は南部の港市である。沿海は漁利に富み、伊東は漁港として名高い。

駿河灣の北岸は後に富士の高嶺を負ひ、田子・浦・三保・松原等の絶景を控え、沼津市(五)・興津等の保養地があり、また清水市(六)の開港場がある。沿海は鯉・鱒等の漁獲が甚だ多く、駿河灣岸の

焼津(三)は鯉節製造の中心地をなす。

東海道線は丹那の大トンネルを通つてこの海岸に出で、静岡濱松を經、濱名湖の口を渡つて、愛知縣へ出る。

静岡市(三)は縣廳所在地で、製茶業が榮え、また漆器竹細工を産する。静岡以東には古來製紙業が盛で、三極から半紙を製し、今は大宮(五)附



静岡に高等學校があり、また東方の久能山には東照宮がある
縣下に綿織物・蜜柑・梨の産が多い

静岡縣の茶畑分布

濱松の樂器工場

濱松には捺染及び帽子・扇子製造等の工業も行はれる、市に高等工業學校がある

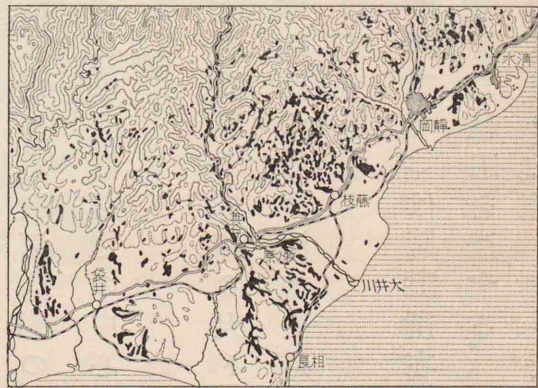
平野には米・麥・野菜の産が多い

近及び岩淵に洋紙の大工場がある。静岡以西は茶の栽培が甚だ盛で、縣下製茶の産は府縣中第一に位し、主に清水港から海外へ輸出される。

濱松市(四七)には工業が盛で、織物砂糖樂器その他の工場がある。

愛知縣 東部には木曾山脈の餘派が延びて来て山地が多い。豊川と矢作川とがその間を流れて三河灣に入る。縣の西半を占める濃尾平野の一部は土地がよく開け、産業が盛で、人口の密度も關東近畿地方に次いで大きい。

名古屋(二〇八)は平野の中に位し、中部地方第一の都市で、徳川氏の



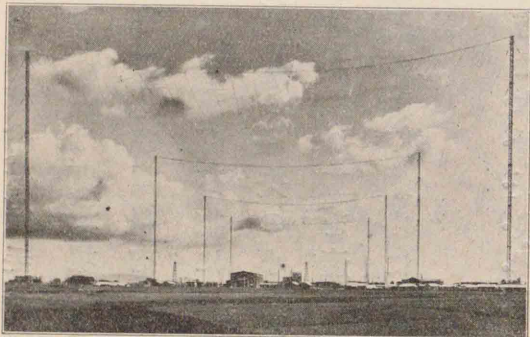
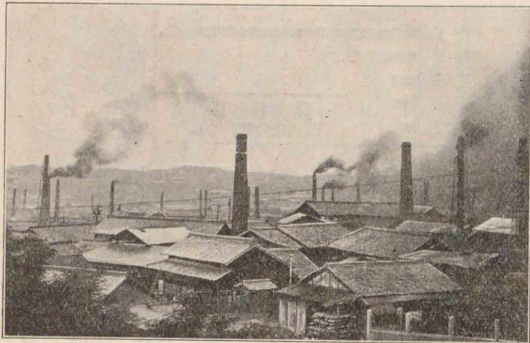
名古屋には縣廳・第三師團司令部・控訴院・醫科大學・第八高等學校・高等工業學校・高等商業學校等がある

名古屋の工場分布圖

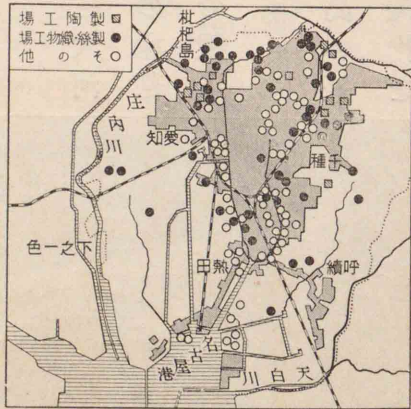
名古屋に無線電信局があり刈谷附近の依佐美に送信所を、四日市に受信所を置いてヨーロッパとの間に通信する

依佐美の送信所

名古屋にヴァイオリンや七寶燒の製造所がある
名古屋の東南には桶狭間、北方には清洲・小牧等の史蹟がある



親藩が居城とした金の鯨で有名な城閣があり、また市の南部には熱田神宮がある。市は商工業が盛で、綿絲・綿織物・毛織物・陶器・麥粉・車輛・飛行機・麥酒・時計等の工場がある。市はまた鐵道の集中點として知られ、熱田



の築港には陶器の輸出が特に多い。

名古屋の外縣の東北部も陶器の産が多く、瀬戸市(四六)はその一中心をなし、縣下陶器の産額は我が國第一位を占めてゐる。名古屋

愛知縣にはガラス原料の珪砂を多く産する。知多半島の半田・龜崎は醸造で知られ、常滑には陶器を産する。愛知縣の鶏の数は全國第一位である。飛騨高地には北流する神通川・射水川、南流する益田川があるが、いづれも峽流である。木曾川及び飛騨川にはその水力を利用する壯大な発電所があつて、電力は京阪地方へ供給される。

長良川と岐阜市街



屋の西北方の一宮市(五三)は毛織物・綿絲・綿織物を産する。知多半島の武豊は開港場である。縣の東部には養蠶が盛で、豊橋市(二四)及び岡崎市(七七)には製絲業が行はれる。岐阜縣 北部の飛騨高地には養蠶が行はれ、高山(三〇)はその中央の小盆地の中心で、生絲・春慶塗・水松細工を産する。その北方船津附近の神岡・鑛山には鉛・銀等を産する。

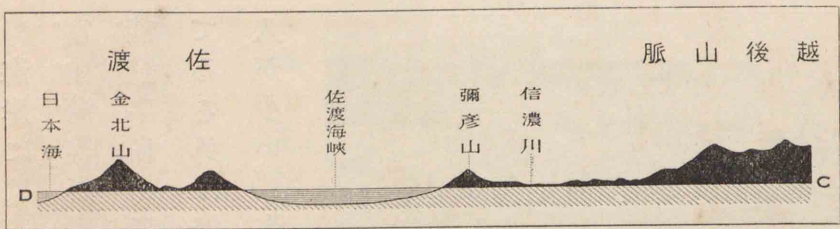
南部の濃尾平野地方は木曾・長良・揖斐の三大河に潤されて、土地が肥え、米の産が多く、平野の北部には美濃紙を産する。東南部地方は陶器の製造が盛で、多治見(三五)はその中心をなす。岐阜市(三九)は平野の中央に位し、鶉飼で名高い長良川に沿うてゐる。縣廳所在地で、生絲・絹織物を



岐阜の附近に高等農林學校がある。岐阜の東南方にある各務ヶ原には陸軍の飛行場がある。

北陸地方の断面圖

行政上、福井・石川・富山・新潟の四縣に分ける。親不知では昔旅人が崖下の海濱を歩いたので危険が多かつたが、今は道路が高く崖の中腹に通じ鐵道もまた數多のトンネルによつて崖腹を走つてゐる。



産し、また岐阜提燈の特産がある。大垣市(四九)はその西方にあつて、モスリン・綿絲を産し、米を集散する。東海道線はこの兩市を經、關原の隘路を過ぎて滋賀縣へ出る。大垣の西北にある赤坂には大理石細工を産し、またその西南には有名な養老瀧がある。

第四節 北陸地方

位置地形

裏日本の中央部を占め、日本海に沿うて長く延びてゐる。東から南にかけて、越後山脈・三國山脈及び飛騨高地等を負ひ、飛騨山脈・富士火山脈は中部地方から延びて、この地方に入り、飛騨山脈の北端は親不知の嶮となつて直ちに海に臨む。海岸には越後平野・富山平野等があつて、阿賀川・信濃川・神通川等がこれを潤してゐる。

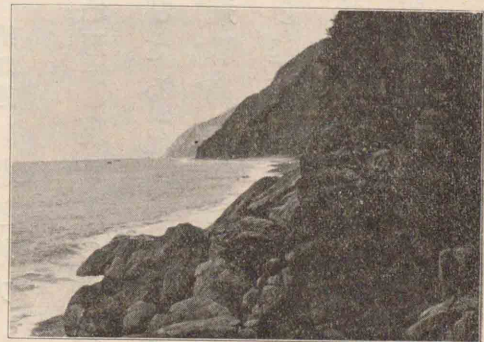
親不知

新潟縣の降雪量分布

雪の高田市

金澤では一年の降水量が二五六六耗に及び、福井では八月の平均気温が二五・八度に達する

海岸には若狭灣、富山灣等が彎入し、能登半島が突き出てゐる外は概ね出入が少い。海上に



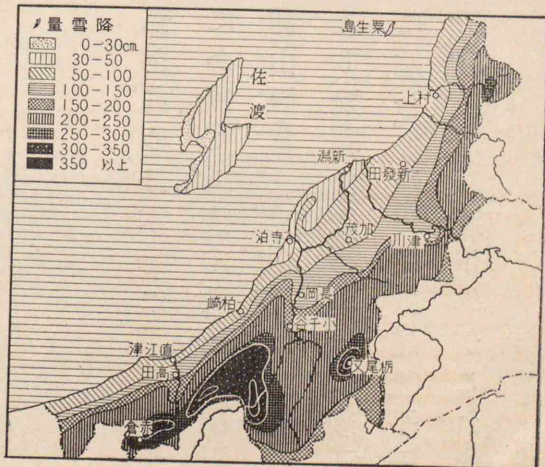
は佐渡島がある。

氣候

冬季は西北の風が日本海から吹いて来るために降雪が多いが、寒氣は割合に厳しくない。夏季は晴天が続き、氣温も比較的高いので、米作に好影響を與へる。

産業

〔一〕越後・富山兩平野は農業が盛で、米の産が



この地方は裏日本の中で人文の最もよく開けた處で、人口約四百二十萬、人口一萬以上の市町が四十ある

除雪車の活動

除雪車はロータリー式といひ前進しつゝ車體の前面のプロペラーを猛烈に廻轉して雪を吹き飛ばす

若狭灣に面しては處々に斷層海岸が發達し、敦賀灣の東岸はその一つである



冬季風波が荒いため、舟運は不便である。

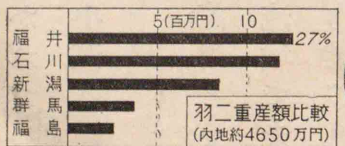
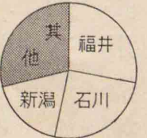
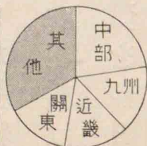
處誌

福井縣

縣の西半は若狭灣に臨み、海岸に小出入が多い。開港場敦賀はその東端の一小灣岸に位し、日本海岸第一の良港で、ウラヂウオストックとの

多く、中にも新潟縣はその産額が内地第一に位してゐる。〔二〕積雪期の長いことが家内工業の發達を促し、機業は殊に盛で、人絹織物羽二重等は重要な産物である。〔三〕新潟縣には石油・金等の鑛産が多い。〔四〕沿海には漁利が少くない。

交通 北陸・信越・羽越の三線は海岸の平野を走つて東海道線・磐越線等に連り、高山線は北陸線と東海道線とを連ねてゐる。近海は

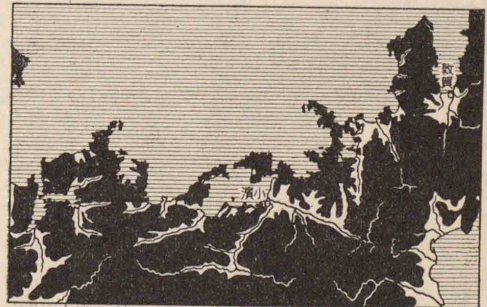


九頭龍川の上流には大野の名邑、またその河口には三國港がある

敦賀港

小出入の多い若狭海岸

福井に新田義貞を祀る藤島神社があり、また市の東方に曹洞宗の本山永平寺がある
福井の附近に高等工業学校がある



の市邑を連ねて、石川縣に出る。沿線の武生(三三)

は和紙を産し、福井市(二二)は縣廳所在地で、羽二重富士絹人絹織物等を産する。縣下の人絹織物、羽二重の産額は我が國第一位である。

石川縣

東と南とに山を繞らし、白山は殊に名高く、手取川の源をなしてゐる。北部は丘陵性の能登半島となり、加賀の海岸から半島の頸部にかけては平野が横たはり、河北潟等の潟湖がある。工業は到

間に定期航路が開かれてゐる。小濱線に沿ふ小濱には若狭塗を産する。

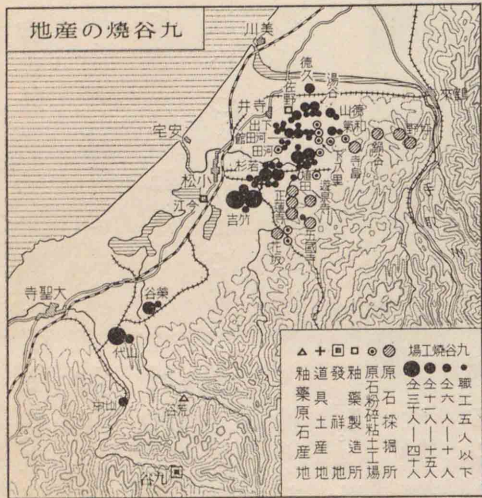
東半は主に九頭龍川とその支流日野川との流域で、米産に富み、また絹織物業が盛である。北陸線は滋賀縣から來て、敦賀を經、日野川流域

金澤市の兼六公園

金澤は百餘萬石の大藩前田氏の舊城下町で、第九師團司令部・醫科大學・第四高等學校等があり、また有名な兼六公園がある、また市の附近に高等工業學校がある

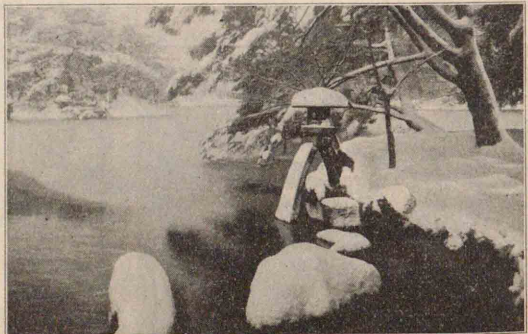
九谷焼の産地

七尾の西北に和倉温泉がある



る處に盛で、羽二重漆器・陶器等の産が多い。北陸線は平野を走つて富山縣に入り、沿線には市邑が多い。大聖寺はその附近の山代と共に九谷焼を産し、山中からは漆器を出す。山代山中は共に温泉で知られ、小松は羽二重を産するので名高い。

金澤市(二六四)は北陸第一の都市で、縣廳所在地である。



漆器・陶器を産し、羽二重の機業も盛である。市に近く金石港がある。能登半島の東岸には七尾の開港場がある。北岸の輪島は有名な輪島塗の産地である。

神通川その他の河川の上流には水力発電所が設けられその電力は他縣までも送られる

黒部川の峡谷

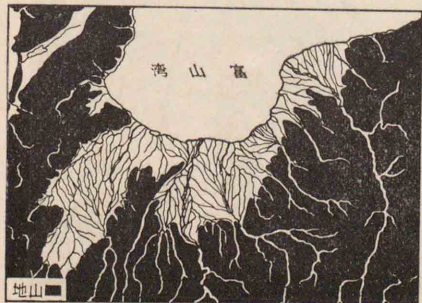
富山の賣薬工場
丸薬を包装してゐる處である

富山平野

富山の賣薬行商人は内地は勿論滿洲國・中華民國・南洋へも及んでゐる
高岡には高等商業學校がある



縣廳所在地の富山市(八三)は昔から賣薬の製造が盛んで、また米の取引が行はれ、絹織物生絲等を産する。
西方の高岡市(五七)には銅器



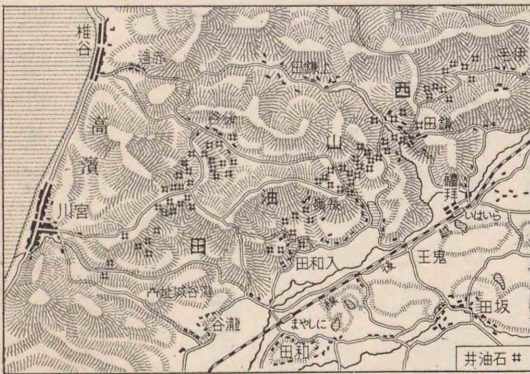
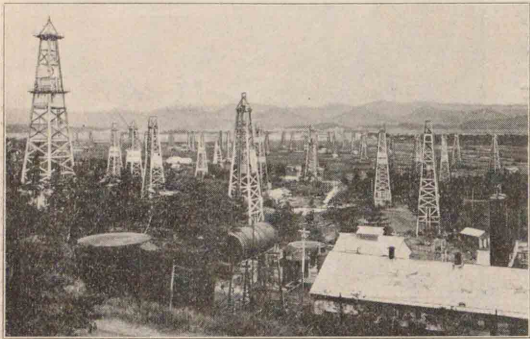
魚津の海上には盛氣樓の見えることがある
滑川の近海には蟹烏賊を産する

原油は柏崎、沼垂に送られて製油される

越後油田

西山油田に於ける油井の分布

信濃川は大河津から放水路が開かれてから下流の地に洪水を起さないやうになつた



漆器等の産がある。射水川流域の地も機業が盛である。射水川の口に近い伏木の開港場からは盛に米を移出する。富山灣は漁利に富み、魚津滑川等の漁港がある。
新潟縣 東境には越後山脈、南境には三國山脈が高く聳え、西南部には妙高山、焼山等の火山がある。海岸は多くは砂濱で出入が少い。

信濃川・阿賀川・荒川等の沿岸の平野には、米の産が極めて多く、その間の丘陵地には東山・西山・新津等の我が國に於ける重要な油田がある。信濃川の本支流には水力発電所が設けられて、その電力は遠く東京まで

新潟に醫科大學及び高等學校がある
縣の東北部の三面川には鮭を産する

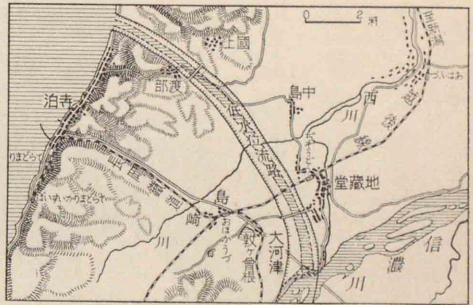
信濃川の放水路

新津から分岐する磐越線は福島縣に羽越線は新發田・村上を過ぎて山形縣に入る

長岡に高等工業學校がある

上越國境附近のスキー場

上越線は長岡の附近から起り清水トンネルを経て南に向ひ、本州横斷の重要な線路となつてゐる



も供給されてゐる。

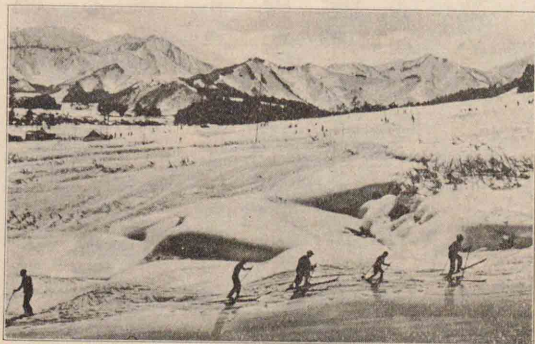
信濃川の口に臨む新潟市(三五)は縣廳の所在地である。古い開港場であるが貿易は振はない。

信濃川を溯れば三條市(三五)小千谷(三六)十日町等の都邑があつて、阿賀川流域の五泉(三七)と共に機業地として知られてゐる。北部には新發田(三三)村上等の名邑がある。

新潟から信越線を西南に進めば石油の市場である新津(三二)長岡市(三三)及び柏崎(三六)を過ぎる。

荒川の口に臨む直江津

は交通の要點で、北陸線はこゝから西進し、親不知の嶮を過ぎ、富山に出る。信越線は直江津から南進し、高田市(三二)を経て、長野縣に向ふ。沿線にはスキー場が多い。



佐渡島には東岸に夷の良港があり、西岸の相川附近には古來有名な金の鑛山がある。

第五節 近畿地方

行政上、京都・大阪三重・滋賀・奈良・和歌山・兵庫の二府五縣に分ける

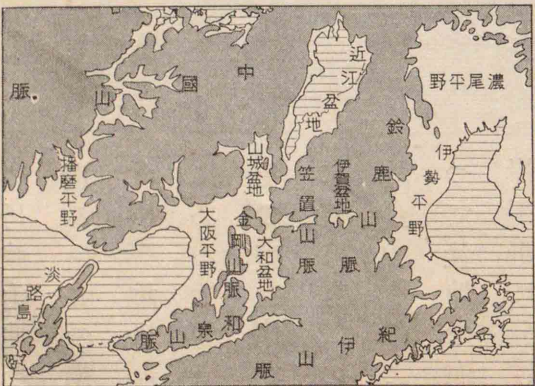
夷港は開港場で、新潟港の風波の荒い時には船舶は多くこの港に難を避ける

近畿地方の地壘山脈

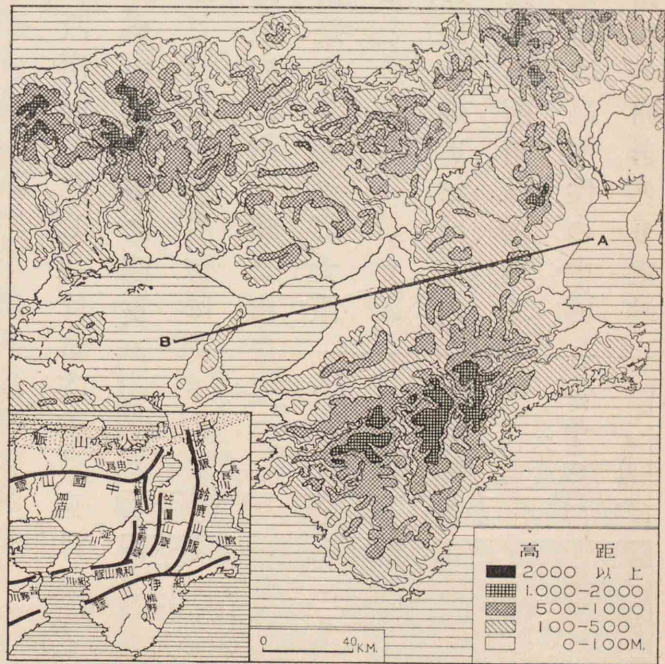
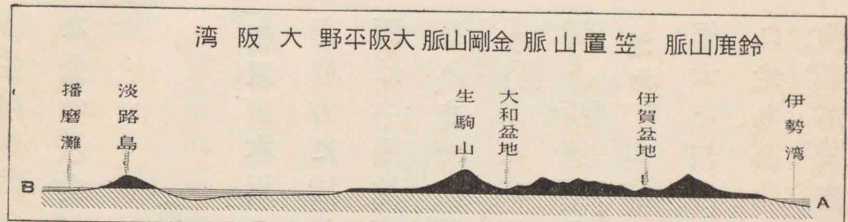
近畿地方の山地と盆地

位置 本州の西南部に位し、北は日本海に、南は太平洋に面し、東は中部地方に接し、また伊勢灣に臨み、西は中國地方に連り、瀬戸内海に臨み、また四國地方に對する。瀬戸内海には淡路島があつて、大阪灣と播磨灘とを分ける。

地形 南部の紀伊半島には、高峻な雄大な紀伊山脈が西南から東北に走り、西北部には高原性の中國山脈が略、東西の走向をとり、東端



近畿地方の斷面圖と地形圖



平野があり、その西には近江・伊賀の兩盆地があり、近江盆地には琵琶湖を湛へ、これに隣つて山城・大和の盆地があり、大阪湾に臨んで大阪平野が展開する。西方に

に丹波山地を造る。この南北兩高地の間にある低地は、その中を南北に走る數箇の地壘山脈によつて、盆地や海岸平野に分けられる。即ち東岸には伊勢

この地方を通過する東經百三十五度の子午線上の時刻を我が國の中央標準時と定める

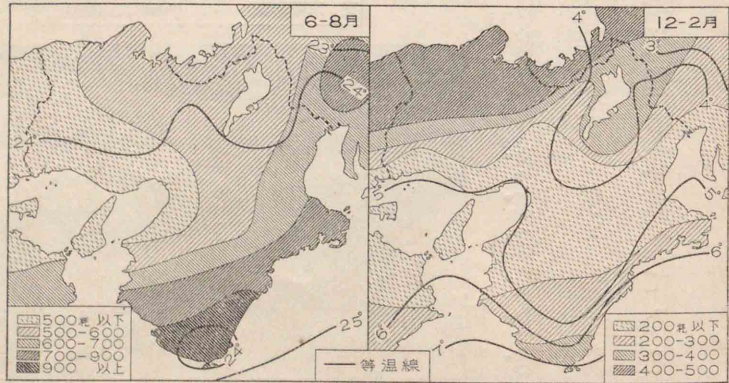
近畿地方の氣象圖

は播磨灘に面して播磨平野がある。

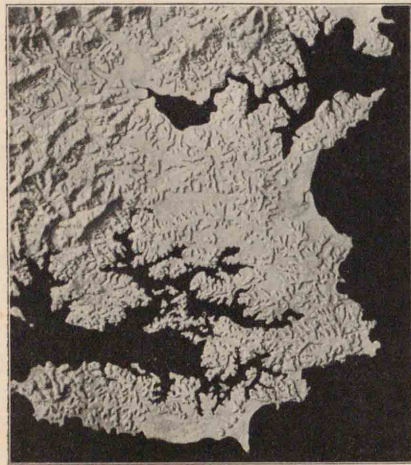
河流の主なもの、淀川で、近江・伊賀・山城の諸盆地及び大阪平野の水を集めて大阪湾に入る。紀伊半島には榑田川・紀川・縦谷及び熊野川の横谷がある。朝來川は中國山脈の北斜面を流れ、加古川・市川は南斜面を流れる。

氣候 南部の太平洋岸は温暖で夏季雨量が多く、北部の日本海に面する地方は冬季曇天の日が多く、降雪が少くない。中部の平野地方は雨量が少く、快晴の日が多い。

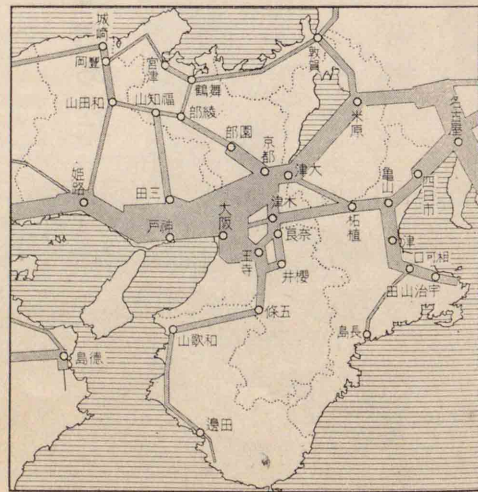
産業 [一] 平野地方は地味が概ね肥沃で、農業が盛に行はれ、米・麥・菜種の産多く、京都・三重には特に茶を産する。温暖・多雨な紀伊半島の山地には森林がよく繁茂し、沿海は水産に富んでゐる。 [二] 商工業は關東と對立して、我が國



志摩半島
陸地が沈降し
た海岸の特色
として小出入
が多い



東は伊勢
灣に、南は熊野灘に臨み、志摩半島がその間に突き出ている。半島から熊野灘の沿岸にかけてはリヤス式の海岸がよく発達し、自然の良港に富むが、山嶽が直ちに背後に迫っている。土地が開けない。これに反して、伊勢灣の沿岸には平



處誌

た、紀伊半島地方は山が高く、谷が深いために、今なほ交通が不便である。海運は神戸・大阪の二大港を有して、内外航路の汽船を集めてゐる。

三重縣 西境には鈴鹿山脈が連り、また伊賀盆地を隔てて、笠置山脈がある。

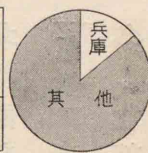
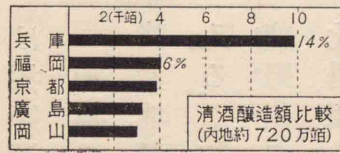
東京から大阪・福岡・朝鮮を経て大連に至る定期航空路があり、大阪はその連絡地となり、木津川尻に飛行場がある

近畿地方の鐵道圖

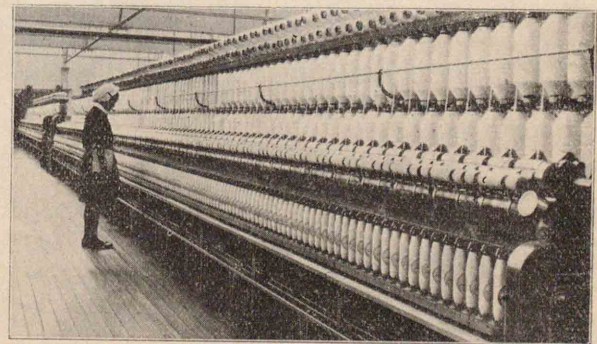
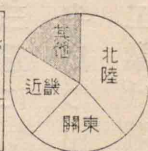
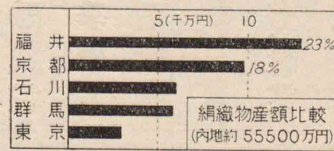
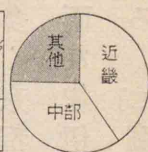
大阪の紡績工場

この地方は明治維新に至るまで歴代の帝都があつたため史蹟が極めて多い

大阪の商品は一般に安價で實用的なため全國に販路を有し、滿洲國・中華民國にまでも及んでゐる
人口は約一千二百三十萬で、人口一萬以上の市町が六十九ある



の二大中心をなし、殊に京都は美術工藝に秀で、大阪・兵庫には工場工業が発達し、殊に紡績・製織・造機等が盛である。その他和歌山の綿ネル、大阪・滋賀の麻布、灘地方の清酒、京都の絹布等も有名である。



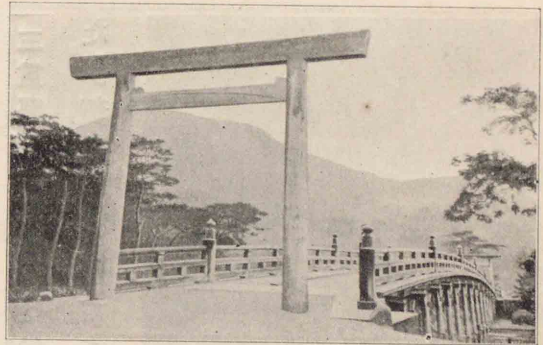
交通

中央低地には我が國鐵道の幹線たる東海道線・山陽線を始め、關西線・山陰線及びこれらと接續する多くの支線と遠距離高速度電車軌道とがあり、鐵道網の發達してゐることは、全國稀に見る所である。

かく産業の發達が著しいから人口の密度が大で、都邑の數も甚だ多い。

伊勢神宮神橋

四日市の西方に菟野温泉がある。四日市に萬古焼を産する。津に高等農林學校がある。宇治山田の附近に神宮皇學館がある。



野が連り、雲出川、宮川等がこれを潤し、米・茶・菜種等の農産に富み、また養蠶が行はれ、都邑が多い。平野の北端、揖斐川の口に臨む桑名は米の取引が盛である。その南方の四日市市は開港場で、紡績織物、製油等の工場がある。關西線はこれらの都邑を過ぎ、龜山に至つて南に參宮線を分つてゐる。

參宮線に沿うて進めば、

縣廳所在地の

眞珠貝の養殖場と海女

伊賀盆地の南方、奈良縣との境界近くに赤目、四十八瀧、香落峽の二勝地がある。

津市と、木綿織の産地松阪市を経て宇治山田市に至る。市には伊勢神宮があつて、參拜の人が四時絶えない。附近の海岸に二見浦の勝地がある。



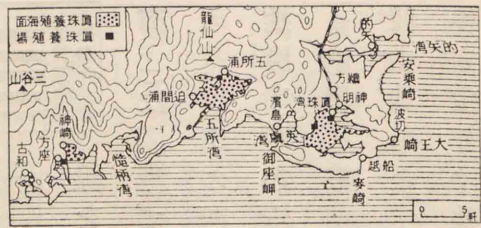
眞珠貝の養殖地

琵琶湖は水産に富み、また小汽船が沿岸諸港を廻航して交通の便が少くない。

大津の西に疏水の取入口がある。

琵琶湖の疏水

湖畔は山水の勝に富み、近江八景は世に名高い。



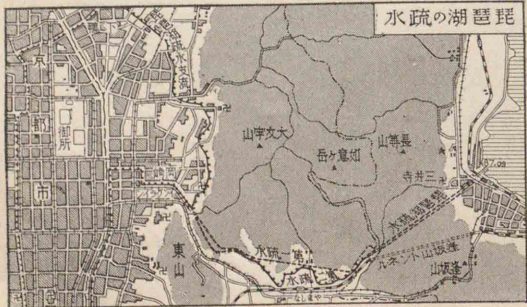
志摩半島の海灣には眞珠貝の養殖が行はれ、また鮑を産する。半島には鳥羽波切の良港がある。關西線は鈴鹿山脈を越えて伊賀盆地に入り、草津線を分つ。上野はこの盆地の中心である。

滋賀縣

縣は四境山で圍まれた近江盆地で、東北に伊吹山、西に比良山、比叡山が聳えてゐる。盆地底には我が國第一の大湖琵琶湖が湛へ、野洲川その他の河水を集め、本縣全面積の約六分の一を占めてゐる。

その水は溢れて瀬田川の峽流となり、山城盆地に入る。また別に疏水を京都に通じ、共に水力發電に利用されてゐる。

湖の東南岸の平野には、米・菜種の産が多く、北部の平野には養蠶が盛で、長濱には縮緬を産する。



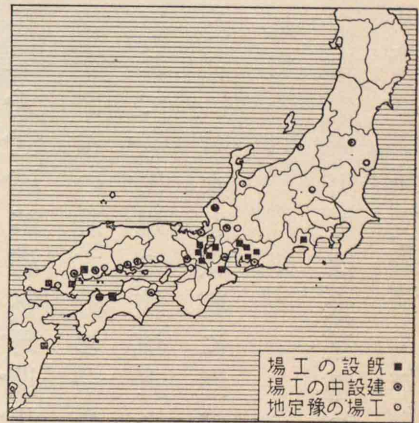
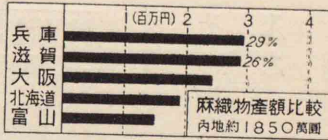
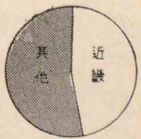
本縣人は各地に行商するものが多く、世に近江商人の名が高い

人造絹絲工場
の分布

彦根に高等商業學校がある

三井寺から見た大津市街

山城盆地には竹の産が多い、また盆地を圍む山地には良好の松茸を産する



線を合せて京都に向ふ。湖尻の大津

また南部は麻織物の産が甚だ多く、八幡がその中心である。南岸の大津附近には近年人造絹絲の工業が興つた。東海道線は米原で北陸線を分ち、彦根(三三)の舊城市を過ぎて草津に至り、草津

市(キ)は湖港で、琵琶湖水運の起點に當り、縣廳がある。市の西北の比叡山には、天台宗の大本山延曆寺がある。京都府 東南部は山城盆地をなし、西北部は丹波山地をなす。盆地を圍む山嶽の中で、比叡山、愛宕山等は殊に知られてゐる。宇治川、木津川



山城盆地の竹林分布

京都市の南部伏見には桃山御陵がある

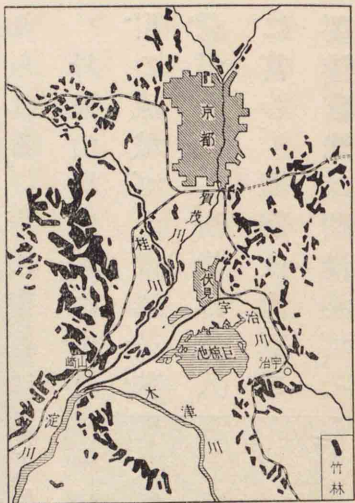
市内の社寺には平安神宮・北野神社・東本願寺・西本願寺・知恩院・清水寺・金閣寺・銀閣寺等がある

市の西方にある嵐山は櫻花の名所で、高尾は紅葉で著れてゐる

京都市の一部

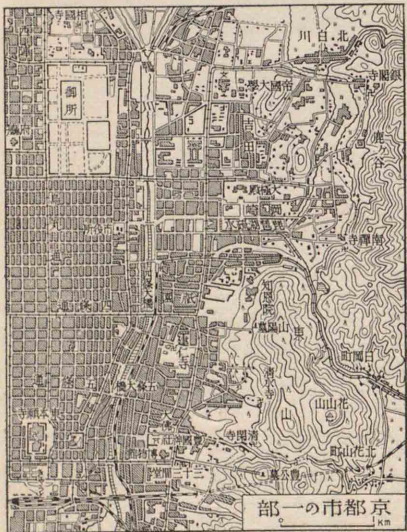
京都市街

左は京都驛、中央の建物は東本願寺、遠方の山は東山及び比叡山である



等は盆地の中に會して淀川となり、大坂平野に出る。京都市(ハ)は一千年の間帝都となつた處で、即位の大禮及び大嘗祭は常にこゝで行はれることに定められてゐる。され

ば、京都御所・二條離宮等を始め、社寺もまた極めて多く、到處史蹟に富み、また市區がよく整ひ、風光の美を以て知られてゐる。



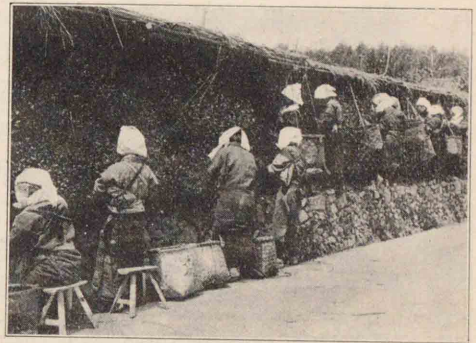
市に帝國大學の外に第三高等學校・高等工藝學校・繪畫專門學校等があり、また第十六師團司令部がある

宇治の茶摘

宇治に有名な平等院がある

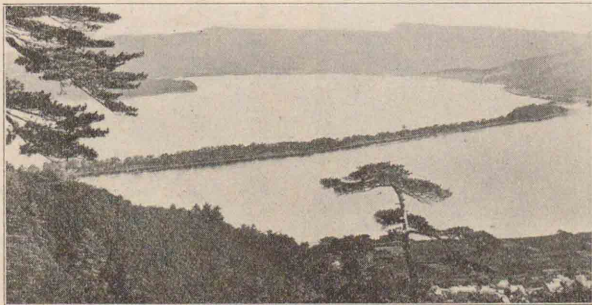
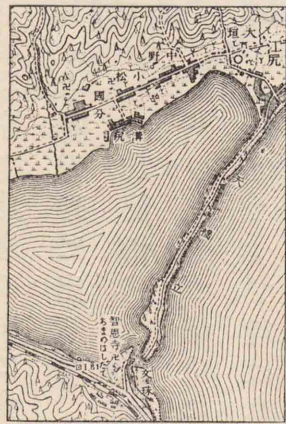
天ノ橋立

山陰線は綾部から支線を分ち、敦賀に通じ、また舞鶴・宮津を経て奥丹後地方にも通ずる



知られる。府の南境に近く笠置山の史蹟がある。

丹波山地は主に由良川の流域で、北部に若狹灣が彎入し、海岸は出入に富む。舞鶴は海軍の要港、宮津は開港場で、そ



市は府廳の所在地で、また關西に於ける學藝の中心地をなし、京都帝國大學を始め諸種の學校及び博物館等がある。市はまた美術工藝に秀で、西陣織・友禪染・刺繡・清水焼・粟田焼・漆器・銅器等を産する。

宇治は附近に大發電所があり、また茶の主産地で、殊に玉露茶は品質の優良なもので

の北には天ノ橋立の勝地がある。山地の北部には縮緬の機業が盛で、峯山はその中心地である。

大阪府 北部に丹波山地、東部に金剛山脈、南部に和泉山脈を繞らし、西部は大阪灣に面して、大阪平野が展開し、淀川・大和川がこれを流れ

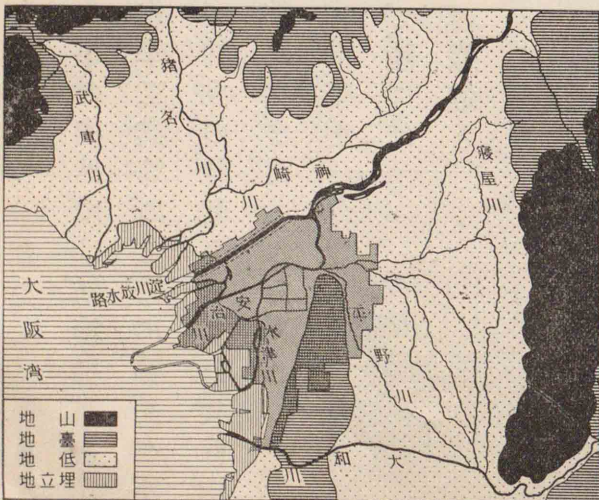
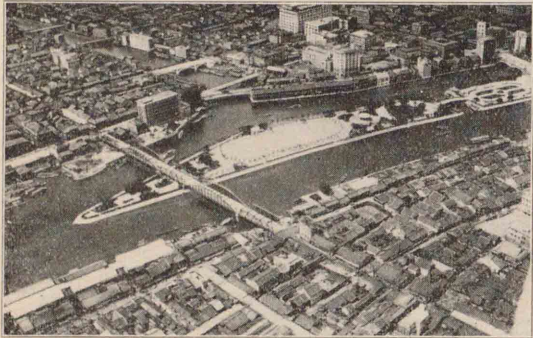
大阪府の面積は府縣中最小であるが、一年の生産總額は約十七億圓に上り全國に冠絶してゐる、そしてその九八%は工産物である

中ノ島附近

市に府廳・第四師團司令部・控訴院がある

三角洲上に發達した大阪市

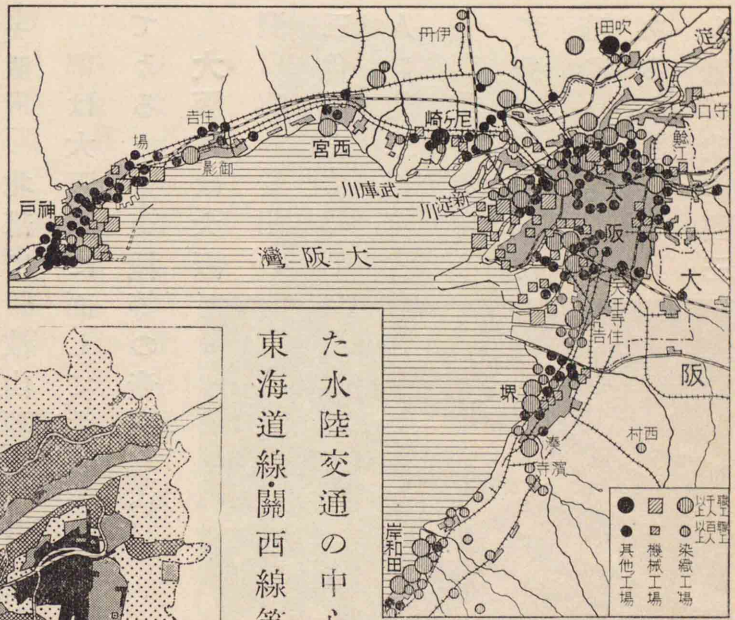
大阪市は大阪灣に臨み、淀川の三角洲上に位し、人口約三百萬、古來商業の大中心で、殊に南日本物資の大集散地である。また貿易も盛で、我が國三



阪神工業地帯の工場分布圖

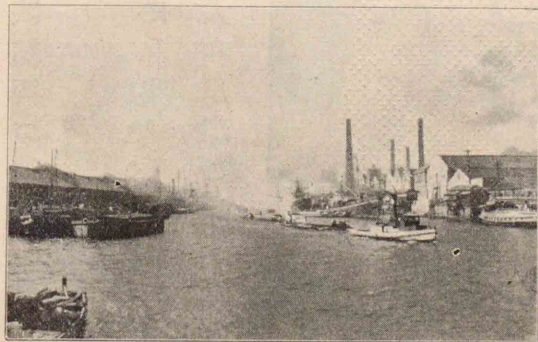
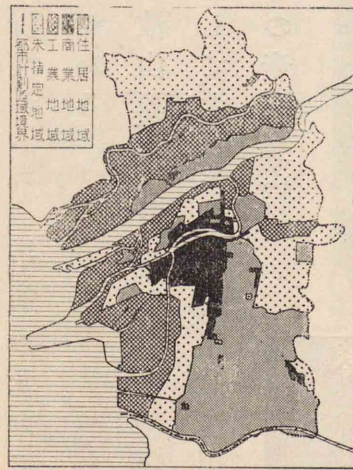
學校には帝國大學・商科大學・外國語學校・高等學校・女子専門學校等がある

大阪市の都市計畫圖
大阪市の工業地帯
安治川尻の景である



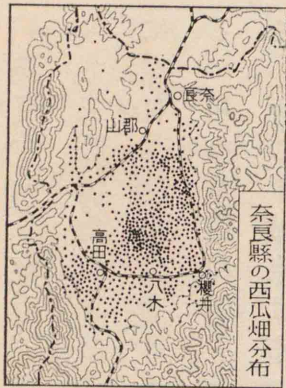
大貿易港の一をなしてゐる。市の内外には紡績織布造船・化學工業等の工場が夥しく、煙突林立の壯觀を呈し、造兵廠・造幣局もまたこゝにある。市はまた水陸交通の中心で、陸には東海道線・關西線等の鐵道と

多くの電車軌道とを集め、淀川の分流



大和西瓜の生産分布

四條畷には四條畷神社がある



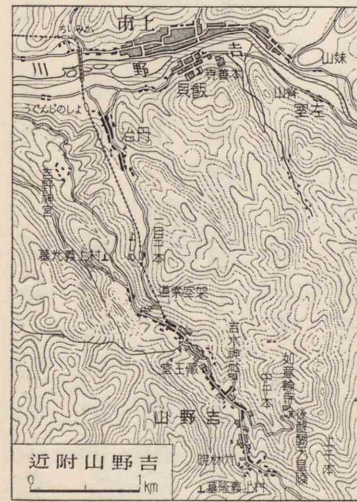
及び築港には無数の船舶を繋ぐ。また市の北方は兵庫縣に續く釀造業地帯で、池田(三三)には清酒を産し、吹田(三三)には麥酒を産する。大阪市の南に接する堺市(二四)は綿絲・足袋・セルロイド製品・清酒等を産し、岸和田市(三九)には紡績業が盛である。府下には史蹟が多く、大阪市には高津宮址・四天王寺・大阪城址等があり、堺市とその附近には仁徳天皇の大山陵を始め、陵墓が多く、金剛山・四條畷は古戰場として知られてゐる。奈良縣 大和盆地には米・西瓜・茶等の農産が多く、また大和紆を産する。この地は上古から早く開け、神武天皇が始めて橿原に都を奠め給うて以來、幾度か皇居の地となり、殊に奈良朝には平城京を營まれ、久しく帝都の地であつたから、到る處に史蹟があつて、來り遊ぶ者が多く、隣府縣との間は汽車・電車の交通が甚だ便利である。

奈良市
市には興福寺・帝
室博物館・女子高
等師範学校等があ
る

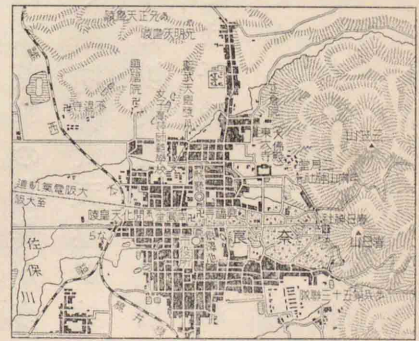
三笠山

櫻井の南には談山
神社があつて藤原
鎌足を祀る

吉野附近



奈良市(平)は縣廳の所在
地で、三笠山を負ひ、その麓
に春日神社・東大寺等があ
る。根來塗・筆墨等を産す
る。古の平城京は市の一
部及びその西に連る地で、
附近には古寺が多く、中
も法隆寺は奈良朝以前の建築物の模範として



名高く、その金堂は最も莊嚴である。
都邑には奈良市の外、郡山高田櫻井
等があり、高田の東南、畝傍山の麓には
橿原神宮がある。

南半は山が深く、十津川は南流して
熊野川となり、吉野川は西流して紀川

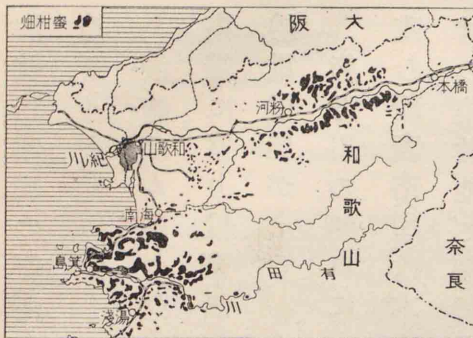
山頂に發達し
た高野山町

高野山には空海の
開いた金剛峯寺が
ある
本縣からは海外に
出稼ぎするものが
少くない

蜜柑畑の分布

和歌山はもと徳川
氏親藩の居城地で
あつた、市に高等
商業學校がある

田邊に近く白濱温
泉がある

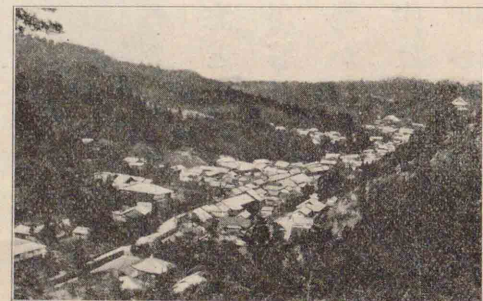


となる。山中には林産が多い。吉野は吉野朝の
史蹟に富み、また櫻花の名所として、月瀨の梅と共
にその名が高い。

和歌山縣

紀伊半島の西南部を占め、山嶽が重疊
し、且つ雨量が多く、高野・熊野等の大森林があつて、
林産に富む。平地は極めて乏しく、たゞ紀川の沿

岸に小平野が見られるばか
りである。



和歌山市(平)は縣廳の所在地で、紀川の河口
に臨み、綿ネルの産は全國第一である。市の南
部に和歌、浦の勝地がある。海南市(平)は日用の
漆器を出すので知られてゐる。

有田川・紀川の流域は蜜柑の産地で、その産額
は全國に傑出してゐる。湯淺田邊(平)串本(平)は沿

瀨八丁
流壺の後退に
よつて生じた
もので兩岸は
切り立つたや
うになつてあ
る

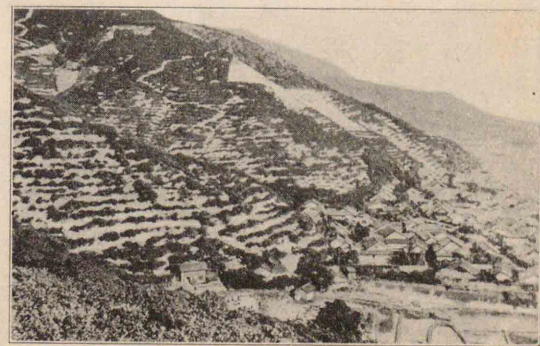
有田川流域の
蜜柑畑
川沿ひの排水
のよい傾斜地
に作られた蜜
柑の段々畑で
ある

海航路船舶の寄港地である。

潮岬は本州の最南端に當り、燈臺・無線電信局がある。

熊野川の河口に臨む新宮市(三)は木材

の集散地で、製材業が行はれる。熊野川上流の北山川には瀨八丁の勝地がある。



兵庫縣 中國山脈が縣の中央に横たはつて、日本海と播磨灘との兩斜面の分水界をなし、朝來川は北に流れ、加古川・市川等は南に注ぐ。この南斜面には播磨平野があつて、米の産が甚だ豊かである。

神戸市(五)は縣廳の所在地で、大阪灣に面し、港内は水が深く、數箇の繋船岸壁を始め、港灣の設備がよく整ひ、横濱と共に我が國最大の

神戸市附近の
模倣圖

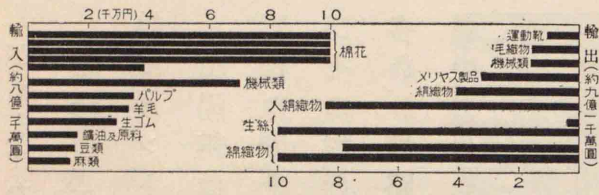
市の内外に海洋氣象臺・商業大學・高等工業學校・高等商船學校等があり、また湊川神社がある

神戸港貿易表

神戸港

第三突堤の上
空から鳥瞰したもので大貿易港としての面目が窺はれる

神戸・大阪兩市の間には東海道線の間に阪神・阪神急行の電車線があり、更に阪神國道にも電車を通じ、兩市間の交通は頗る便利である



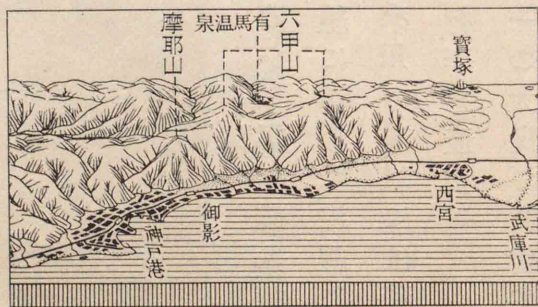
開港場として知られてゐる。

貿易は主として東洋諸國との間に行はれ、棉機械・バルブ・羊毛・ゴム等を輸入し、綿織物・生絲・絹及び人絹織物・メリヤス製品等を輸出する。

市は製粉・ゴム製造・精糖・紡績・樟腦精

製機械製造等の工業が盛に行はれ、また規模の壯大な三菱川崎の兩造船所がある。市の東方から西宮市(六)に互る所謂灘地方は古來酒造を以て著れ、本縣の清酒産額は全國第一である。

灘地方の北方六甲山の北に有馬温泉

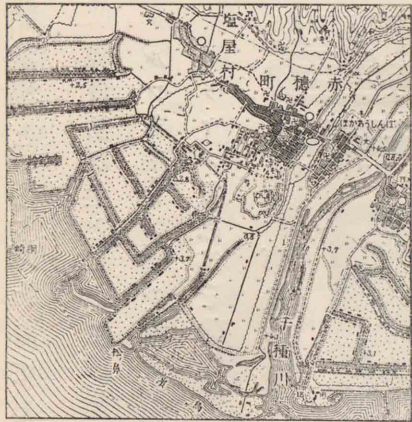


灘地方に於ける酒造場の酒樽洗滌

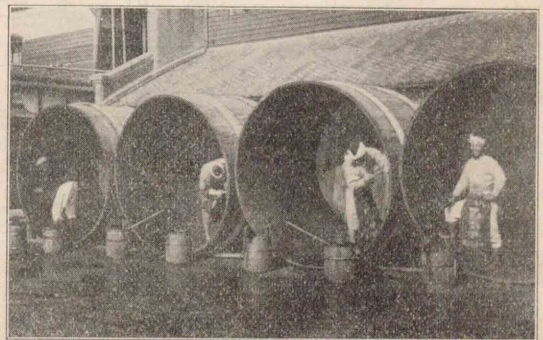
姫路に第十師團司令部・高等學校がある

赤穂の鹽田

生野には金・銀・銅を産する、その西北方の明延には錫の産が多い、日本海岸に近く城崎温泉及び玄武洞がある



があり、またこれに近く炭酸水を噴出する所がある。尼崎市(ニ)は大阪市に接し、綿絲ガラス・鋼管・銅線・セメント等の産が多い。山陽線は神戸から起り、舞子・明石市(四)等白砂青松の間を過ぎて播磨平野に入る。加古川及びその附近にはモスリンその他毛織物の産が多い。姫路市(三)には革細工を産する。



西部の龍野は醤油を出し、海岸には製鹽が行はれ、赤穂は殊に名高い。播但線は姫路から北に走つて山陰線に接続し、沿線に生野の鑛山がある。朝來川の流域には養蠶が行はれ、豊岡には柳行李を産する。淡路島は瀬戸内海第一の大島で、紀伊半

行政上、岡山・広島・山口・島根・鳥取の五縣に分ける

瀬戸内海の風景

宇野附近の上空から南方を望んだ景で、右方に屋島・五剣山・四國の連嶺等、左方に小豆島・豊島等が見える、手前に白煙の立昇るのは直島の製錬所である、人口約五百六十万、その四分の三以上は山陽に住する

島と四國との間に、紀淡鳴門の兩海峡を挟み、明石海峡を隔てて播磨に對する。洲本(三)は大阪灣に面し、島の主邑である。

第六節 中國地方

位置地形

中國は本州の西部に突出する一大半島である。中國山脈はその脊梁となつて、山陽山陰の兩斜面を分ける。山陰に白山火山脈を通じ、大山火山はこの地方第一の高峯である。河流には、山陽に吉井川・旭川・太田川等、山陰に江川・斐伊川等がある。

山陽は海岸の出入に富み、多少の平野を伴ひ、また風波の穏かな瀬戸内海に臨み、古くからよく開けて都邑や港市が甚だ多い。山陰はこれに反して、海岸の出入に乏しく、山嶽が海に迫つて、交通機關の發達

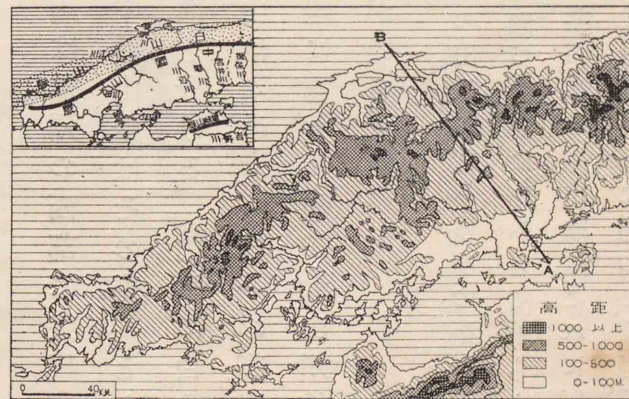
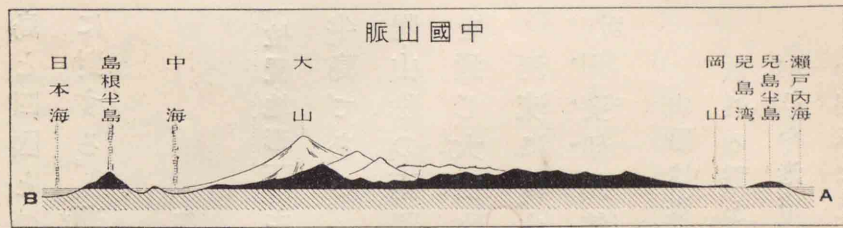


人口一萬以上の市町は三十五で、その中二十七は山陽にある。瀬戸内海は陥没の當時山頂は半島に、山頂は島嶼に、溪谷は入江となり、その後更に地盤の變動があつて今日の如き状態を見るに至つた。

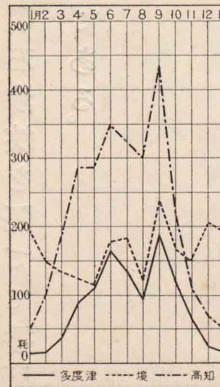
中国地方の断面圖と地形團

瀬戸内海の一部

雨量比較圖
瀬戸内が他の二地方に比し著しく雨量が少いことに注意せよ



外海と連り、また多くの島によつて播磨備後安藝周防伊豫等の灘に分れ、風光が美しく、且つ交通の要路に當つてゐる。

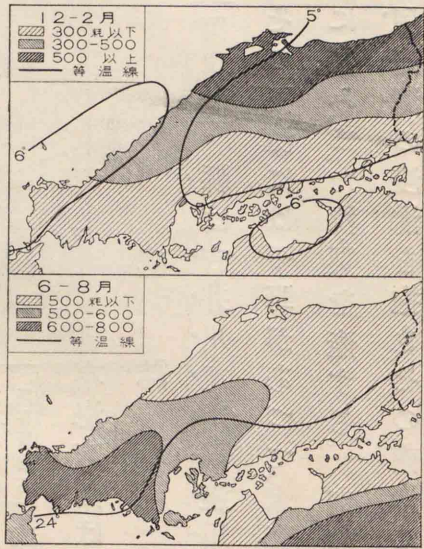


中国地方の氣象圖

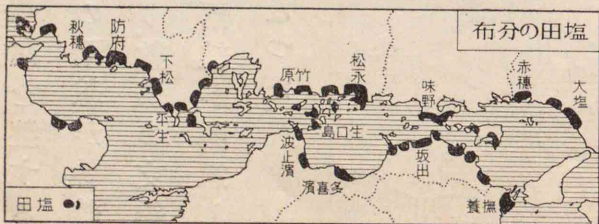
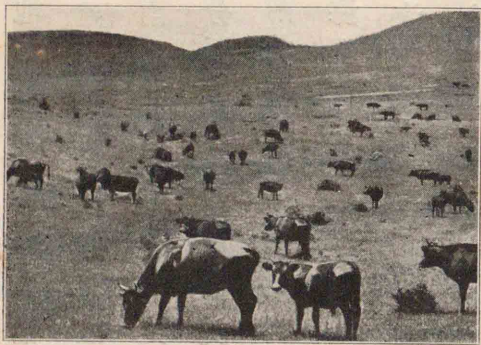
牛肉はまた廣島で罐詰として海外にも輸出する

中国山地の牧牛

この地方の物産は多く神戸港を経て輸出される

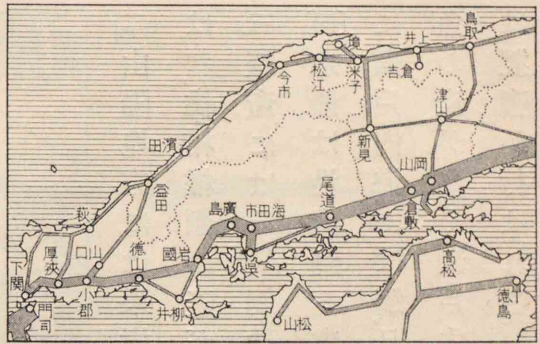


〔二〕山陽地方には果樹の栽培が行はれ、桃柑橘類の産が多い。
〔三〕鑛産には石炭・銅・砂鐵等がある。
〔四〕水産は沿海に豊富で、殊に瀬戸内海には鯛、日本海には柔魚の産が多く、瀬戸内海の沿岸には製鹽が行はれる。
〔五〕山陽中部



氣候 山陰は冬季曇天が多く、雨雪も少くないが、山陽は一年を通じて晴天が多く、氣候が溫和である。
産業 〔一〕産業は農牧を主とし、山地一帯は牛を飼ひ、その肉は、阪神地方に出す。

中國地方の鐵道圖



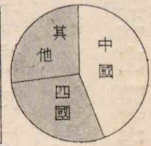
蘭田の分布

味野は製鹽業の中心地、下津井には無線電信局がある

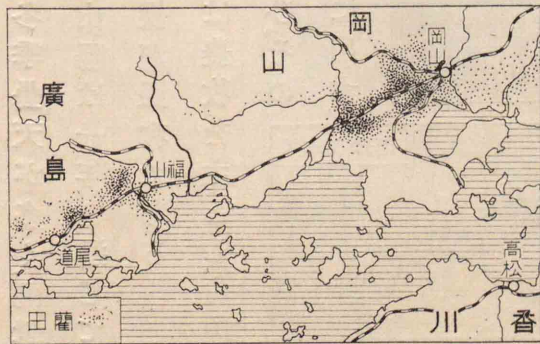
處誌

岡山縣 縣は吉井川・旭川・川邊川の流域を占め、その下流には平野があつて、米・麥・蘭草等の農産に富み、また桃・梨を産する。南部の兒島半島は兒島灣の淺海を抱き、その南岸には鹽田が多い。

本海方面は振はない。



の地では疊表・花笠・製帽眞田を製する。交通 鐵道は山陽・山陰の兩線が幹線で南と北との海岸を走り、數條の支線を分派し、且つ伯備・因美兩線が開通して南北の連絡は至便になつた。



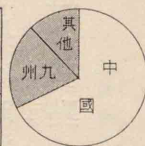
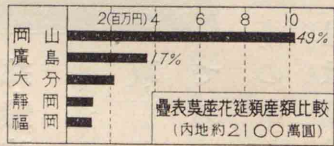
岡上に醫科大學及び第六高等學校がある

兒島灣の干拓

兒島灣は淺くて廣く干潟が出来るのでこれを干して水田を作つてゐる

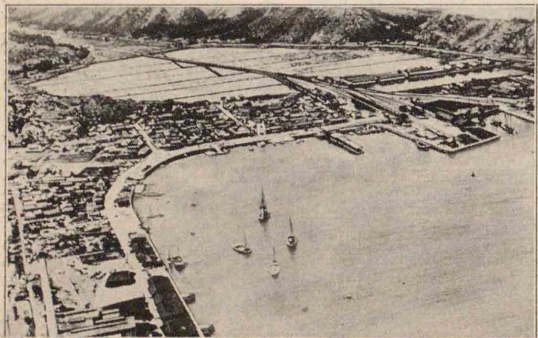
宇野港

宇野と高松との間に鐵道連絡船がある津山に院ノ庄の史蹟がある



の中心である。

東部の三石は耐火煉瓦伊部は備前焼を産する。兒島半島にある開港場宇野は四國に渡る要津である。吉井川の上流地方には津山盆地があり、津山市(三六)がその中心である。廣島縣 中國山脈の主脈は北境に連り、山間に



縣廳の所在地岡山市(三六)は旭川に跨り、有名な後樂園がある。商工業が盛で、紡績織物製粉等の工場があり、その西方山陽線に沿ふ倉敷市(三五)・玉島(三三)・笠岡と共に綿絲を産する。川邊川沿岸地方は麥稈眞田・經木眞田の産が多く、高粱はその

廣島市の鳥瞰
廣島に第五師團司令部・控訴院・文理科大學・高等師範學校・高等工業學校・高等學校がある

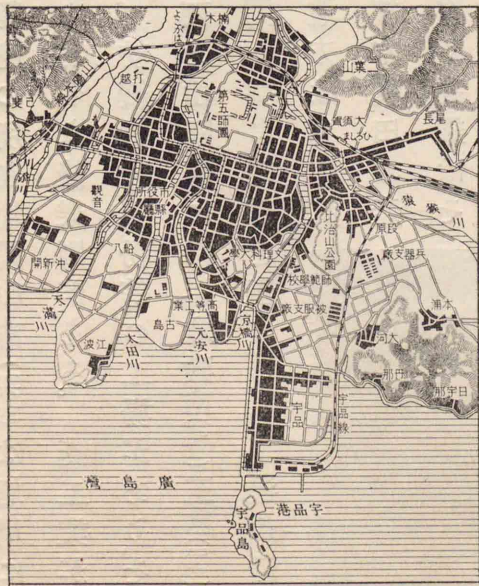
三角洲上に發達した廣島市

吳の海軍工廠では艦艇・巨砲を建造する、また市には金ペンの工場がある



また市は中國地方學術の中心地である。その港の宇品は明治の二大戦役に軍隊輸送の基點となつたので名高い。

は盛に牛を放牧し、また大麻を産する。江川は北部の水を集め、山脈を横ぎつて、山陰に出る。三次はその流域にある盆地の中心である。縣の西南部は廣島灣に臨み、太田川が、これを流れ、その三角洲に跨つて廣島市(三三)がある。中國第一の都市で、縣廳が置かれ、人造絹絲、罐詰等を産し、商取引も盛である。



廣島灣にある江田島には海軍兵學校がある

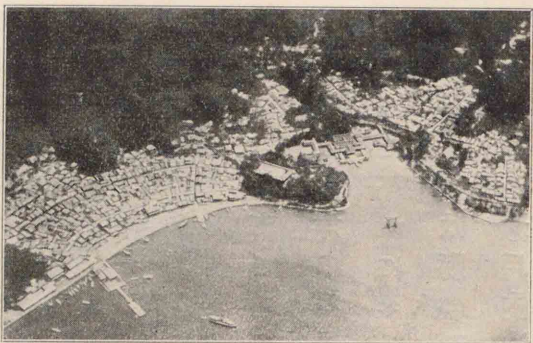
嚴島

中央は嚴島神社の社殿及び千疊閣である、左に汽船の發着場が見え、右方の海中には有名な大鳥居が現れてゐる

尾ノ道の東方に當る松永は製鹽業の中心地である。尾ノ道はその西方の糸崎と共に一開港場となつてゐる

廣島灣の養蠶

この牡蠣はその養殖に二百五十年の歴史を持ち、肉の充實と芳味との點に於て名高い

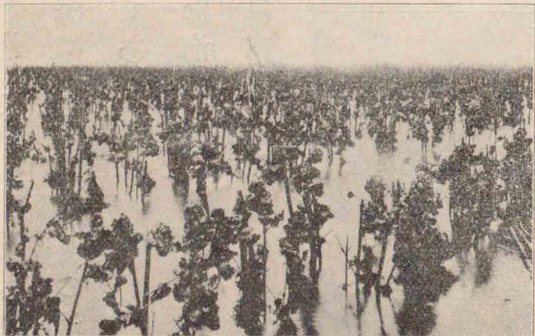


吳市(三三)は廣島灣の支灣にある軍港で、鎮守府と工廠とがあり、その東南の廣(三三)には海軍飛行機の工場がある。

廣島灣の西部に嚴島があり、その嚴島神社の建築美は自然の風景と相俟つて、我が國三景の一に數へられてゐる。灣内にはまた牡蠣の養殖が盛である。

縣の東南部には壘表、花筵を産し、海岸には製鹽が盛で、福山市(五八)、尾道市(三三)はこの地方の市場である。山陽線はこれらの都邑を連れ、廣島を経て山口縣に向ふ。

山口縣 三面海に圍まれ、中國山脈は本縣に入つて漸く低く、丘陵または臺地となり、岩國・川佐



廣島・山口兩縣人には海外に出稼ぎしてゐる者が多い。西部の秋吉臺は石灰岩の臺地でドリネと名づける凹地が數百に及び、地下には石灰洞窟がある、秋芳洞はその最も著しいものである。

岩國の錦帯橋

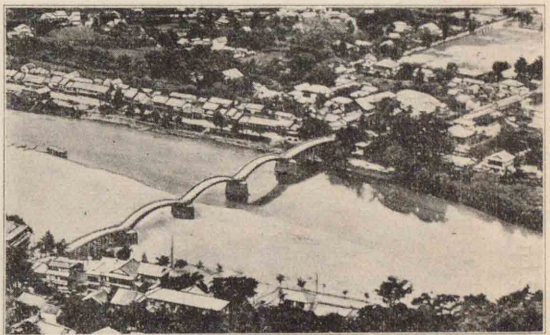
山口に高等學校・高等商業學校がある。

山口の西方にある大嶺には無煙炭を産する。

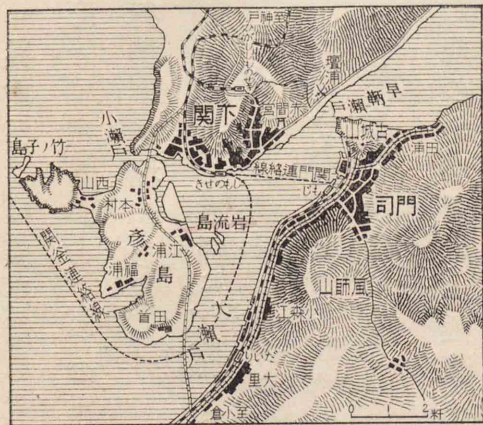
下ノ關海峡附近

關門連絡船

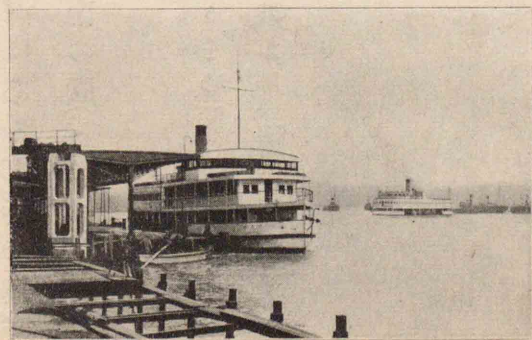
宇部の西方海岸にある小野田にはセメント・硫酸の工場がある。



興の炭坑都市である。山陽線は海岸の都邑を連ねて下ノ關に至る。下ノ關市(三三)は縣の西南端に位し、瀬戸内海



波川は内海に、阿武川は日本海に注ぐ。海岸の平野には多く米を産し、内海には鯛・鱈・鱈等の漁獲が多く、水産は中國第一である。徳山市(三三)は開港場で、また海軍燃料廠がある。防府市(五二)は製鹽の中心、山口市(五五)は縣廳の所在地である。宇部市七七は新



下ノ關に赤間宮、その東方に壇ノ浦の古戰場がある。近時下ノ關海峡には海底トンネルを開鑿する計畫がある。

萩の附近には夏蜜柑を産する。

松江の附近に高等學校がある。

出雲大社

山陰線は鳥取縣から來て松江を経て西進し、海岸に沿うて山口縣に入り、下ノ關に至る、また山口線は益田から津和野を経て山口縣に出て山陽線に連る。



の咽喉に當る開港場で、鐵道連絡船によつて九州の門司及び朝鮮の釜山と連絡し、交通の要點を占め、米並に水産物の取引が盛である。萩市(三三)は日本海岸にある開港場である。

島根縣

中國山脈が南境に連り、中部には三瓶・火山が聳えてゐる。西半の石見は山がちで、大麻・和紙等を産する。津和野は山間の名邑で、海岸の濱田は開港場である。

東半の出雲には斐伊川が宍道湖に注ぎ、下流に杵築・平野を造つてゐる。大社には出雲大社がある。松江市(五三)は宍道湖の東岸に臨み、縣廳の所在地で、風景の麗しいので知られてゐる。日本海の隱岐からは多く鰯を産し、その島後島には西郷の漁港がある。

鳥取縣

西部には大山・火山が高く聳え、その裾野には牧場と船上山の史蹟とがある。日野川

三朝温泉

三朝温泉はラヂウム含量の多いので聞えてゐる

鳥取に高等農林學校がある

山陰線は北部を東西に貫き、支線には因美線・伯備線等がある

行政上、徳島・香川・愛媛・高知の四縣に分ける

及び天神川は大山の兩側を流れ、日野川下流の平野には米子市の港市がある。夜見濱の砂嘴はこれから長く西北に突き出て、中海を抱き、その尖端に境の開港場がある。倉吉は天神川流域の中心地で、生絲木綿織を産し、附近に東郷三朝の温泉がある。
東部には千代川が流れ、その下流に沿うて鳥取平野があり、平野の中心鳥取市は縣廳の所在地で、製絲業が行はれる。



第七節 四國地方

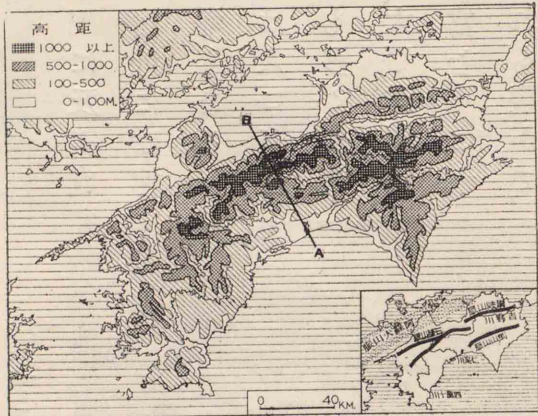
位置地形

四國島は瀬戸内海の南に位し、紀伊水道を隔てて紀伊半島に對し、豊後水道を挟んで九州に對する。兩水道の沿岸にはリヤス式の出入が發達してゐる。

四國地方の斷面圖と地形圖

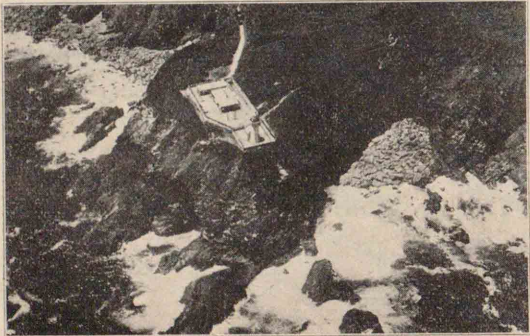
四國山脈は紀伊山脈・九州山脈と相應して南戀山系の一部を作つてゐる

足摺岬

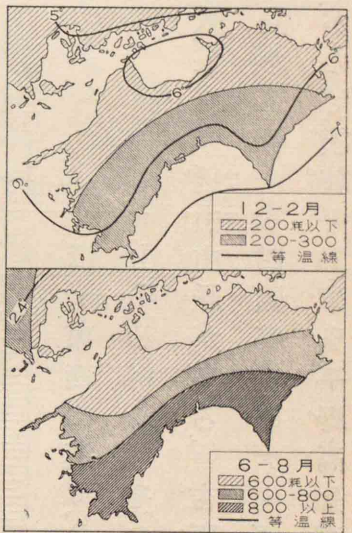


脈、東南に劍山脈がある。吉野川はこれらの間を東流する四國第一の大河である。全島山がちで、讃岐平野、徳島平野、高知平野の外には著

南方太平洋には室戸崎と足摺岬とが突き出て土佐灣を抱き、北方瀬戸内海には讃岐高繩の兩半島があつて、その間に備後灘が彎入し、海上には島が多い。四國山脈は



四國地方の氣象圖



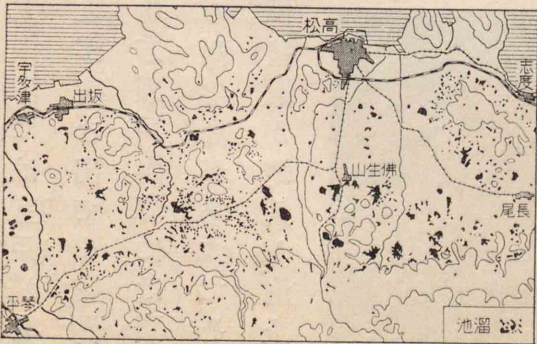
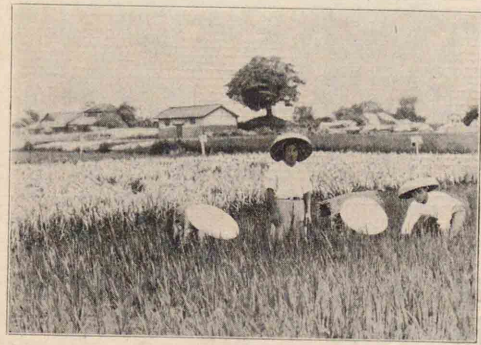
しい平野がない。
氣候産業 〔一〕北部は雨が少く晴天が多くて、製鹽業の發達に適する。南部は殊に溫暖で、雨量も多く、高知では年降水量が二千七百四十耗に達する。され

米の二期作

香川縣の溜池分布

瀬戸内海沿岸では雨が少いので溜池によつて灌溉してゐる

ば米作の年二回に及ぶ處があり、室戸崎附近には榕樹の繁茂する地もある。内海沿岸の地は人口が甚だ稠密で、都邑も多く、農業製鹽が行はれ、太平洋斜面の地は林産に富む。〔二〕水産は四縣いづれも豊かで、

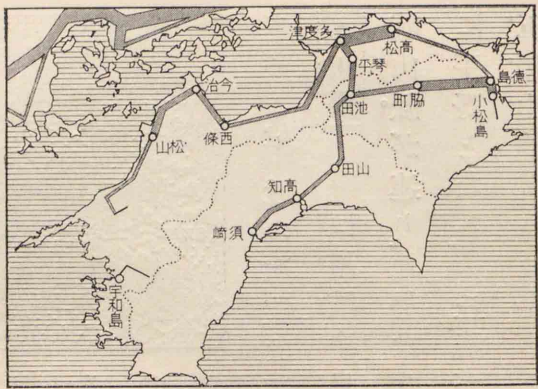


祖谷の溪谷

吉野川の支流祖谷川は大崩壊の下流で本流に會する、その上流は深山の間にあつて別天地をなし、住民の風俗・習慣は他と大いにその趣を異にする

四國地方の鐵道圖

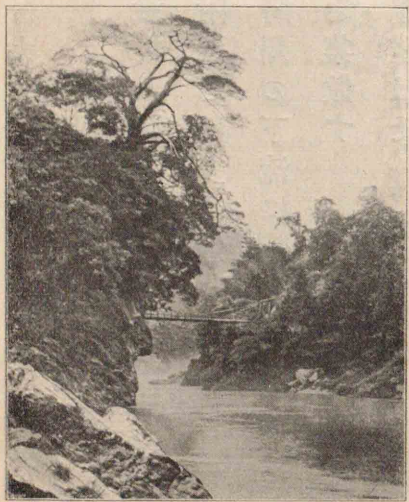
近年柑橘・梨・柿等の果實の産が多くなつた
 人口約三百四十萬で、人口一萬以上の市町は十九ある



處誌

沿岸航路がよく發達してゐる。

徳島縣 四國山脈の東部は縣下に延びて劍山の高峰を起す。吉野川は高知縣から來て初めは峽谷(横)をなし、次



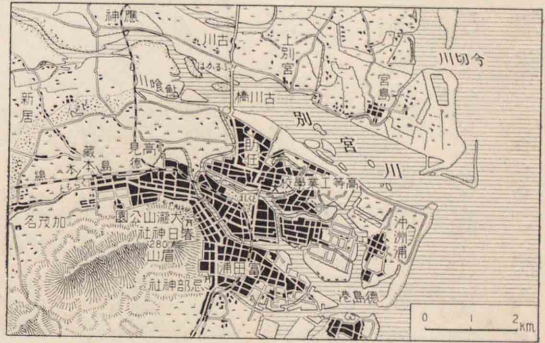
殊に高知はその首位を占めてゐる。〔三〕鑛産は愛媛に銅の産が多い。〔四〕工業は高知・愛媛二縣に古くから和紙の製造が盛で、また處々に紡績織物の業が行はれる。
交通 鐵道は高松・松山を連絡する豫讃線の外、徳島線・高德線等がある。最近多度津と高知とを結ぶ土讃線が全通して、南北の連絡が非常に便利になつた。また

藍の栽培は近時人造藍のインヂゴに壓倒されて昔ほどの盛況を見ない

徳島市

徳島には織織を産する
徳島に高等工業學校がある

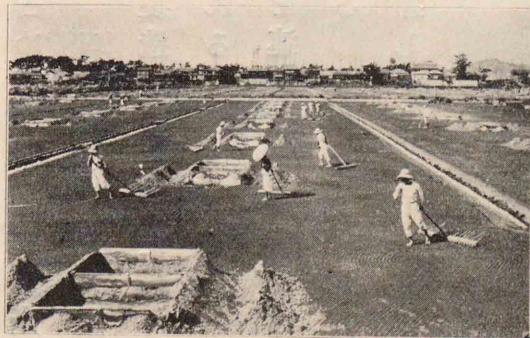
坂出の鹽田



香川縣

縣は讃岐半島の地を占め、南境には讃岐山脈が連り、地勢は次第に北に低くなつて終に平野となる。丘陵がその中に散在し、飯野山、五劍山等が殊に名高い。平野には灌漑用の溜

が多く、附近の海峽は潮流が急である。
いで縣の北部を一大縦谷をなして東流し、紀伊水道に入る。下流の平野はよく開けて米の産が多く、また藍を栽培し、脇町はその集散地である。上流の池田附近では多く煙草を作る。
徳島市（九七）は吉野川の下流に跨り、縣廳の所在地で、縣下の物資を集散する。東南の小松島港はその外港である。鳴門海峽に面する撫養には鹽の産



縣下には製帽眞田の産が多い

高松と屋島

高松市の西南赤塔山から市街を隔てて屋島を望んだものである。屋島に登れば内海の展望は極めてよい

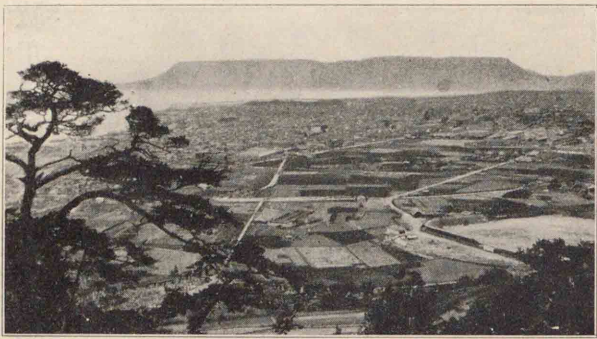
高松に栗林公園及び高等商業學校がある

屋島の東南麓は有名な源平の古戰場である

多度津の東南にある善通寺には第十一師團司令部がある

琴平

琴平町は象頭山の麓から中腹に互つて階段状に發達してゐる。正面の最高所が金刀比羅宮である



四國の首位を占めてゐる。

縣廳の所在地高松市（八七）は良港で、商業が盛である。屋

島は市の東方にある。豫讃線は高松から西方の海岸の都邑を連ね、愛媛縣に出る。沿線には製鹽業の中心たる坂出（三二）、丸龜市（三三）の舊城市、多度津の港市等がある。多度津の東南の琴平には金刀比



池が多く、耕地がよく發達し、米麥等の農産に富む。海岸には鹽田が多く、鹽の産額は我が國の第一に位する。近海には鯛、鱒等の漁利が多い。人口の密度が大で、

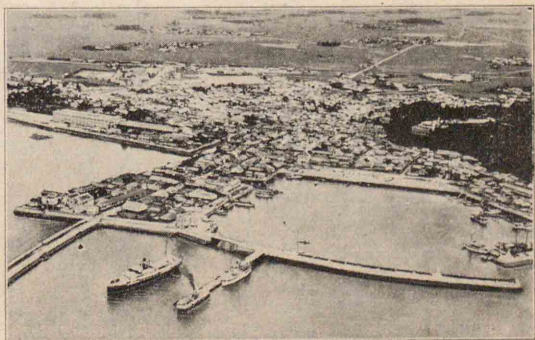
多度津港

四阪島の製錬所

別子銅山と海岸の新居濱との間に鐵石運搬用の鐵索及び鐵道が通じてゐる、なほ同處には電氣分銅所がある、また四阪島にその製錬所がある



羅宮がある。小豆島には醬油を産し、また寒霞(溪神)の勝地がある。愛媛縣 四國山脈は南部に連り、石鎚山を戴く。その主脈は西に延びて細長い佐田岬となる。肱川は山地の水を集めて、伊豫灘に入る。伊豫灘の東には高繩半島が突き出で、その尖端に沿ふ來島海峡は潮流が急なため名高い。



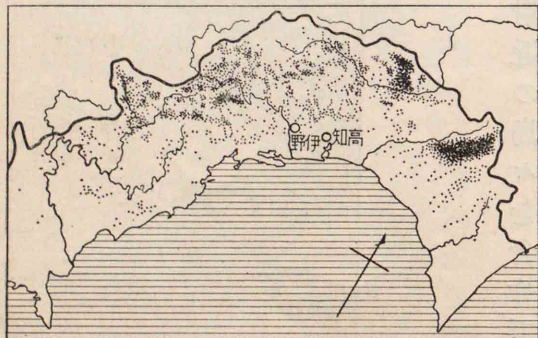
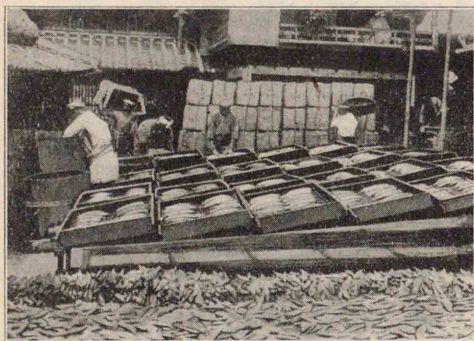
東部は概して備後灘斜面で、有名な別子銅山がある。西條はこの地方の名邑、その西北の今治市(五三)は開港場で、綿ネルを産する。豫讃線は香川縣から來てこれらの市邑を連ねる。西部には重信川流域の平野があつて、伊豫緋・綿絲・綿

松山に高等學校及び高等商業學校がある。高濱は前面に興居島を控へる島蔭港で良港である。

清水港に於ける鯉節の製造

高知縣に於ける楮・三極の分布

ネル・砥部焼等を産する。平野の中央にある松山市(六三)は縣廳の所在地で、附近に道後温泉がある。高濱・三津濱は松山の前港である。肱川流域には製紙・製蠟が行はれ、大洲が中心地である。南部の豊後水道の海岸には八幡濱市(三二)・宇和島市(五二)の良港がある。高知縣 縣は四國南部の大部を占め、南に土佐灣を抱く。一般に山がちで、森林が到る處に多く、良材を産し、また樟の自然林がある。仁淀川流域には多く楮・三極を植ゑ、下流地方には和紙の製造が盛で、その産額は全國第一位である。近海は鮪・鯖・鯉等の水産に富み、殊に鯉節は古來最も名高い。室戸崎の沖では捕鯨が盛



高知に高等學校がある

高知附近

行政上、福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の八縣に分ける

に行はれる。

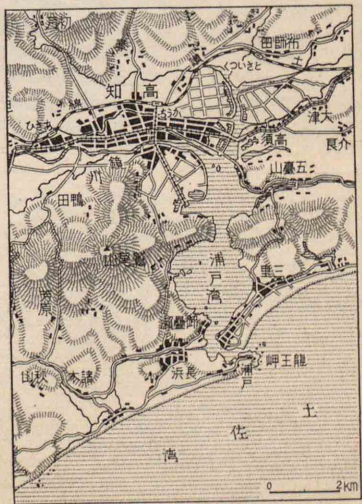
高知市(こゝ)は縣廳の所在地で、風光の美しい浦戸灣に臨む。伊野は製紙業の中心地で、須崎はその西南にある良港である。足摺岬に近い清水は鯉節の製造で名高く、宿毛は漁港である。

第八節 九州地方

位置 九州島は日本列島西部の一大島で、その附近の島々を合せて九州地方と稱する。

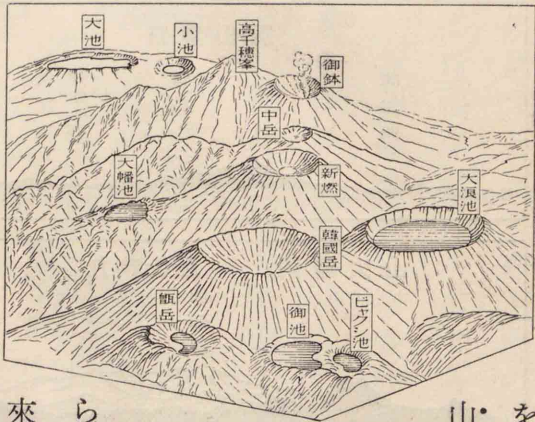
地形 中國山脈の續きは筑紫山脈となつて島の北部に現れ、四國山脈の續きは九州山脈となつて東岸から斜に南部地方に連り、その餘脈は延びて琉球列島に及ぶ。

南北兩山脈の間には阿蘇火山脈が連つて、九重・阿蘇・雲仙等の火山



霧島火山の模
型圖

筑後川の下流

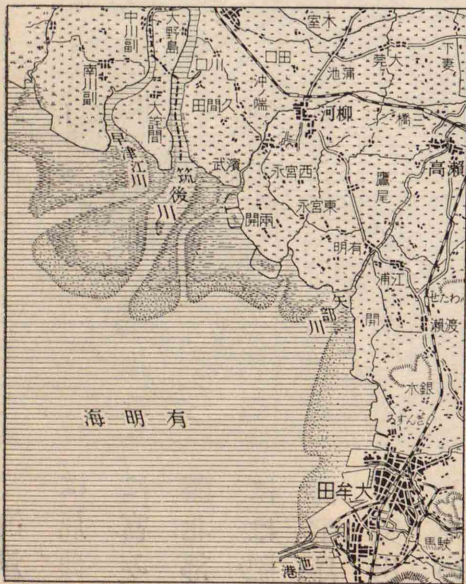


がこれを流れ、東南部の宮崎平野は大淀川によつて造られたものである。この他河流には球磨川・内川・美々津川・五箇瀬川・大野川等がある。

を起し、南部には霧島火山脈があつて、霧島火山群・櫻島・開聞嶽等を起し、延びて琉球列島の内側に多くの火山島を造つてゐる。

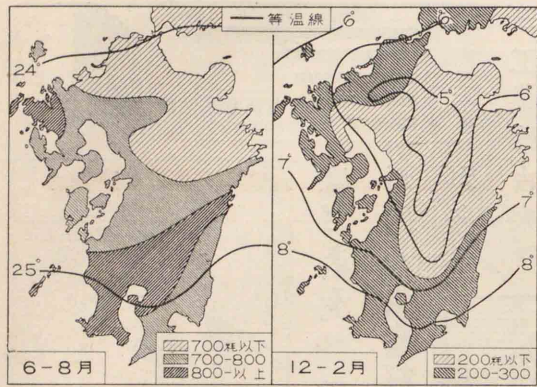
平野は北部の筑紫平野が最も著しく、九州第一の大河である筑後川がこれを貫流してゐる。その南に熊本平野があり、阿蘇

火山から流れて来る白川



人口約一千十萬、
人口一萬以上の市
町が百十四ある

九州地方の氣象圖



豊後水道
黒い部分は陸
地で、數字は
水深(米)を示
す

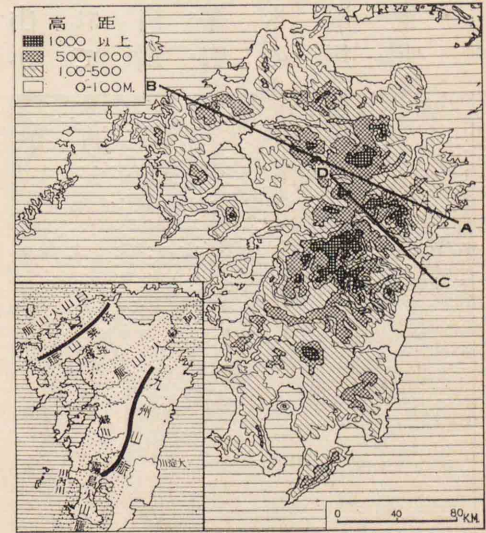
に面する處と西南部の吹上濱
とは海岸線が平滑である。
九州島の西には壹岐對馬の
島々があり、肥前半島の西には
五島列島が連り、肥前半島の南



には天草諸島がある。また九州島の南方には薩南諸島があり、琉球列島に連つて、東支那海の東縁を劃する。
氣候 氣候は溫暖で、殊に本島の南部から琉球列島にかけては雨量が多く、榕樹・蒲葵・芭蕉等の熱帶性植物が繁茂する。しかし、熊本平野は寒暑共にやゝ強く、日本海斜面は冬季西北風を受けて氣温がやゝ低い。
産業 [一] 西北の半面はよく開けて、生産に富

九州地方の斷面圖と地形圖

有明海は潮汐干満の差が甚だ大で約三米に及び、低潮の時は沿岸に大きな干潟を造る



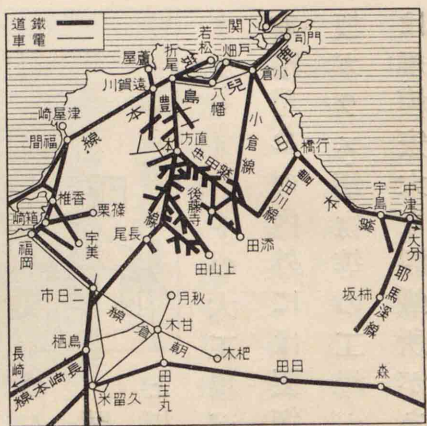
端は更に島原西彼杵の兩半島に分れて有明海大村灣等を擁し、南部には薩摩大隅の兩半島があつて鹿兒島灣を圍み、東北には國東半島が突き出て別府灣がその南に彎入し、豊後水道の沿岸にはリヤス式の海岸が發達する。東岸の日向灘

海岸は屈曲に富み、西北部には肥前半島が突出し、その

九州地方の鐵道圖

海底電線は主要の島々を連ね、更に大陸諸地方に及ぶものがある

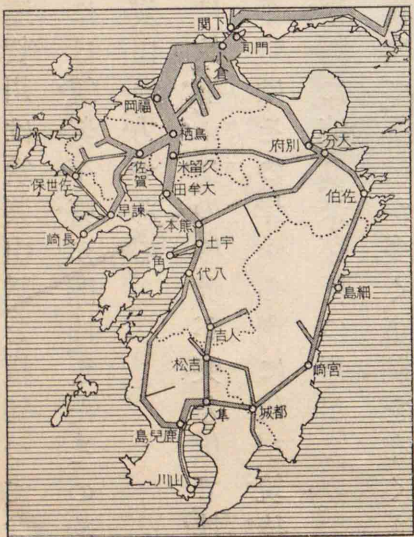
北九州の鐵道網
炭田地方に於ける樹枝狀に發達した鐵道網に注意せよ



福岡縣 北は玄界灘と瀬戸内海とに面し、狭い下關海峽を隔てて、山口

處誌

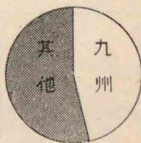
る。これらの線路からは更に多くの支線を分ち、殊に炭田地方には鐵道網の發達が著しい。海上の交通は西北岸に盛で、東南岸は振はない。



九州地方馬の分布圖

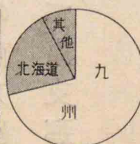
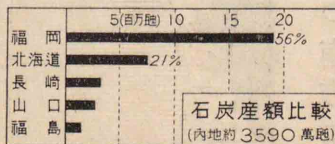
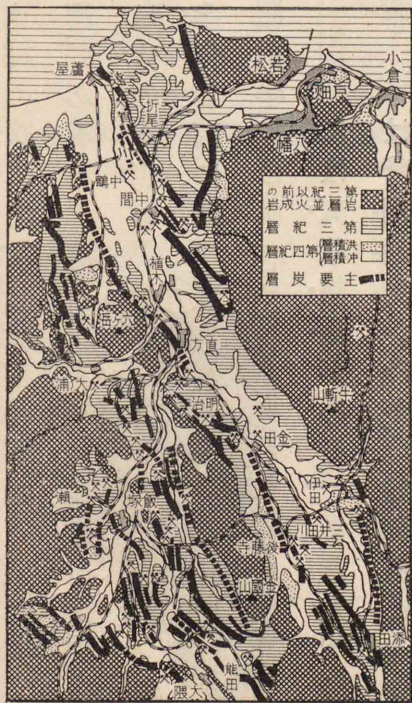
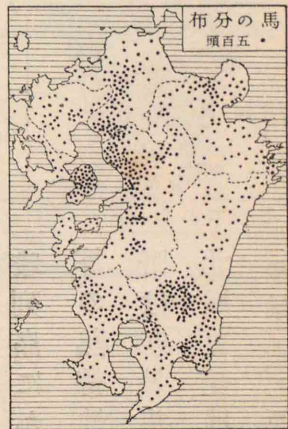
佐賀ノ關に大製鍊所があつて銅・金・銀を製鍊する

筑豊炭田



〔三〕工業は古來肥前半島に陶器の産が多く、今は石炭を得る便により、製鐵造船製粉精糖綿絲麥酒セ

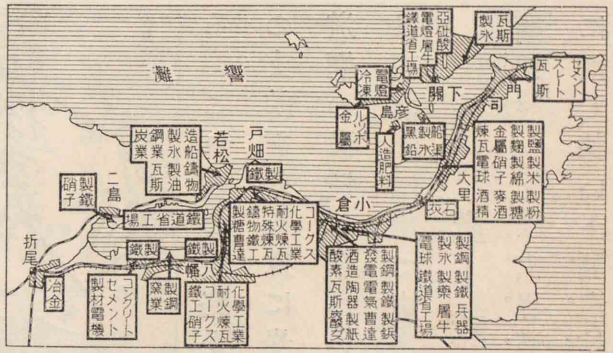
盛である。〔二〕鑛産は北部に筑豊・三池等の炭田があつて、我が國石炭産額の約五割を出し、鹿兒島縣には金坑がある。



み筑紫平野と熊本平野とは農産物が豊かで、特に良米の産が多い。南部の諸縣には甘蔗甘藷を産し、東南部の山地には林産物が多い。また熊本・鹿兒島二縣には牧馬が

本縣は生産總額が六億圓を超え、大阪・東京・愛知・兵庫の四府縣に次いで多い

北九州の工場分布圖



戸畑に明治専門學校がある
八幡製鐵所に於ける製鐵原料は内地産の外、主に中華民國の大冶・桃沖及び朝鮮の載寧・マレー半島の諸鐵山に仰ぐ

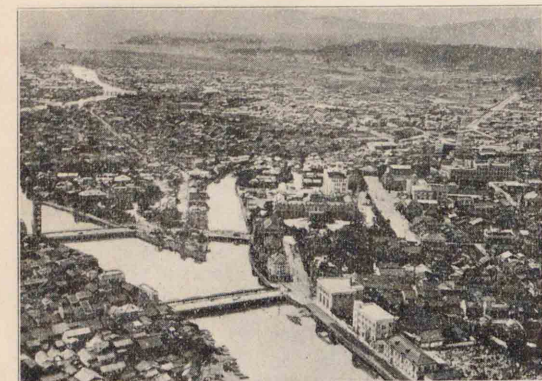
またセメントの大工場がある
倉市(二〇)の内外には製鋼その他の工業が行はれ、戸畑市(六八)には精糖板ガラス・鑄物等の工場がある。また洞海(一七)の岸にある八幡市(三〇九)には規模宏大な製鐵所がある。筑豊炭田(四一)地方には直方市(四四)・飯塚市(四〇)

縣に對する。遠賀川は筑紫山脈を横切つて北流し、その下流には筑紫平野が開け、またその流域は所謂筑豊炭田地方である。
玄界灘の岸には海、中道の砂嘴が突き出て、博多灣を抱く。平野はその岸から南に延び、筑後川下流の筑紫平野に連り、米菜種の産が多い。縣下は戸口が稠密で、都邑が多く、市制を布くものが十に及んでゐる。
門司市(三三)は下關海峡に臨む開港場で、下關と相對し、内外船舶の寄港するものが甚だ多く、

福岡市街
市の中心を鳥瞰したもの、川右にあり、更にその右方に見えるのが市役所である

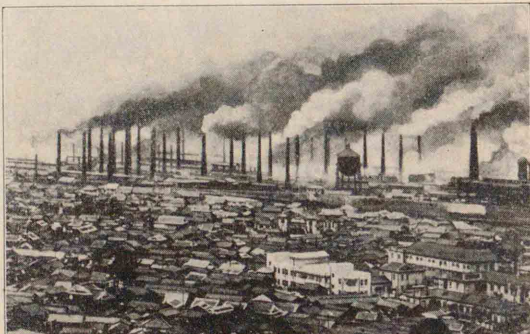
若松港の石炭積出
貨車はすべて炭坑からの石炭輸送用のもので水面を埋めた帆船と相俟つてその繁盛の狀が察せられる

八幡市街
林立する煙突はすべて八幡製鐵所のものである、煤煙は常に全市を被つてゐる



伊田(三)・後藤寺(三八)等があつて、その中心となつてゐる。この地方から産する石炭はその大部分が、洞海(一七)の口にある開港場の若松市(三三)から内外

の各地に積出される。福岡市(三九)は博多灣の南岸に位する縣廳所在地で、また開港場である。商工業が極めて盛で、博多織・麥酒を産する。市には九州帝國大學があり、また附近に名勝・史蹟が多く、南方には太宰府(四九)の址がある。



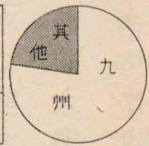
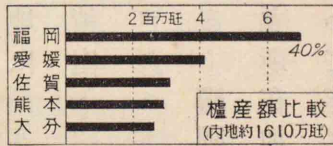
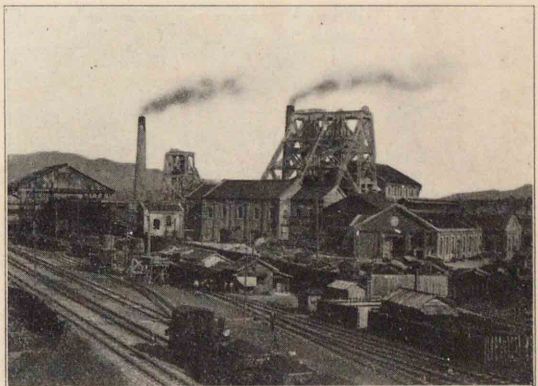
久留米に第十二師團司令部がある、市の東北方にある太刀洗には陸軍の飛行隊がある

三池炭田の萬田坑

捲揚機のある處には堅坑が地下三百米まで通し函に盛った石炭を捲揚げる、この石炭は夾雜物が極めて少く良質である

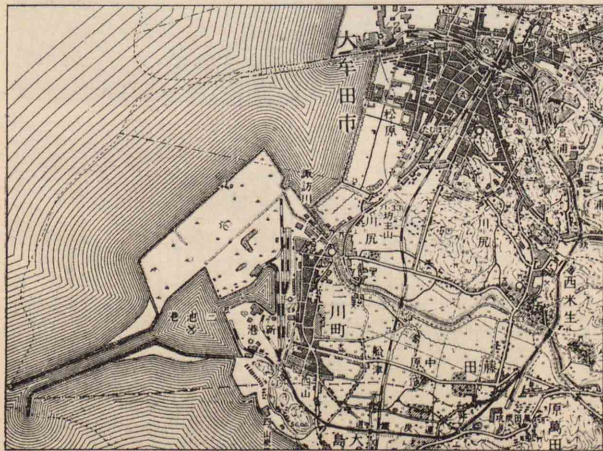
三池港は潮汐干満の差が甚しいので開門式船渠を設けてある

三池港



を輸出する。また市には紡績・亜鉛製錬・精糖等の工業が盛である。佐賀縣南部は筑紫平野の一部で、農産に富んでゐる。北部には筑紫山脈が連つて炭田が多く、北岸には唐津・伊萬里の

筑後川下流の平野には米・菜種の産が多く、櫛を植えて木蠟を造る。川に沿ふ久留米市(三)には久留米耕を産する。南境の大牟田市(二)は三池炭田を控へ、その港三池港から盛に石炭



佐賀の市外に高等學校がある

唐津の西北に名護屋の史蹟がある

唐津附近

島原半島

島原半島には山羊の飼養が行はれる雲仙嶽の温泉には夏季上海・ホノコ等から外人の避暑客が集る

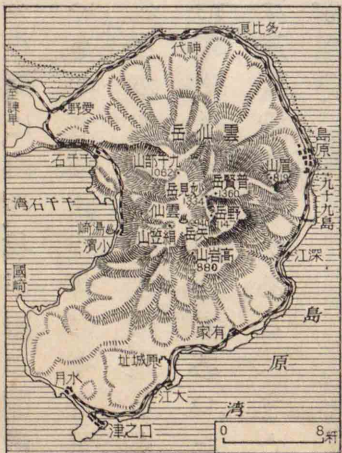


は殆ど半島から成り、殊に西彼杵・島原の兩半島は、僅に諫早の地峽によつて、肥前半島の軀幹に連る。島原半島には雲仙嶽の火山がある。

長崎市(三)は縣廳所在地で、西彼杵半島

二灣が彎入してゐる。佐賀市(五)は長崎線に沿ひ、平野の中央に位し、縣廳所在地である。唐津線の終點に近く唐津市(三)の開港場があり、石炭を輸出する。武雄は温泉を以て知られ、その西に位する有田は古來陶器の産に名高く、鐵道の支線は伊萬里港に通ずる。有明海には牡蠣の産が多く、その沿岸の開港場佐江からは石炭を積出す。

長崎縣 縣の主部

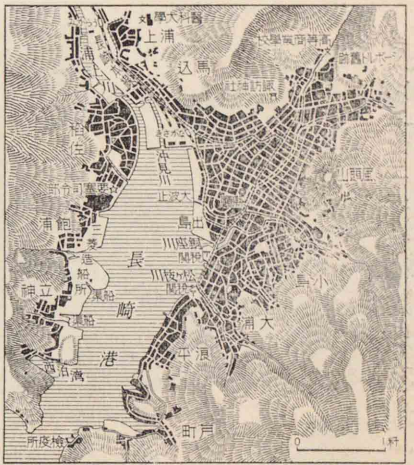


長崎に控訴院・醫科大學及び高等商業學校がある

長崎市

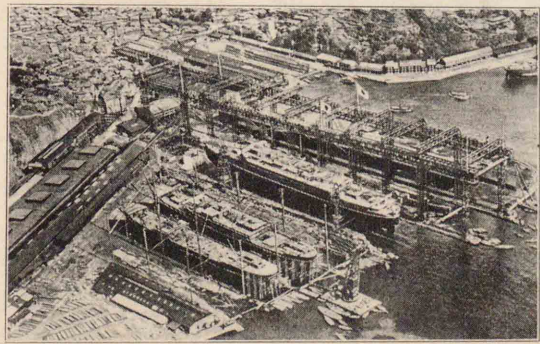
長崎に於ける三菱造船所

淺海灣は陥没縦谷の標式的なもので、大小の岬角が多く、山水の美は松島に比せられる



の西角にある小灣に臨み、我が國の開港場中最も古いもので、鎖國時代にも支那及びオランダとの貿易を許され、永らく西洋文化に對する唯一の門戸であつた。市には壯大な三菱造船所がある。また灣外には高島の炭坑がある。佐世保

市(七三)は大村灣口の北岸にある軍港で、鎮守府の所在地である。島原半島には島原(三)及び開港場の口津がある。平戸島の平戸は往時長崎に先んじて貿易港となつた。五島列島中では福江島が最も大きく、福江の港市がある。對馬はその中央に淺海灣が西から深く彎入し、運河がこれに連つて、上島下島を分ける。そ

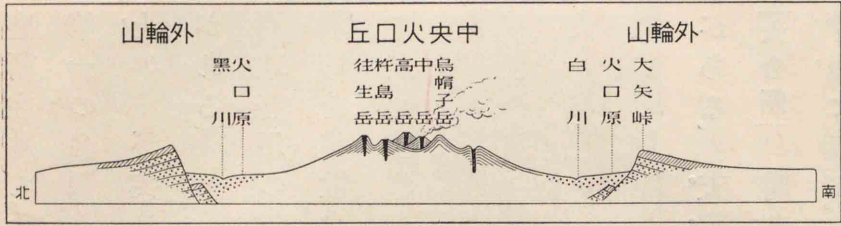


壹岐・對馬は經濟上福岡縣と密接な關係をもつてゐる

阿蘇火山の舊火口はその直徑東西十六軒、南北二十四軒あり、その中央火口丘の中嶽は今も活動してゐる

阿蘇山の斷面

阿蘇火口原



の上島には嚴原の開港場がある。

縣下の水産總額は九州中第一位で、殊に對馬と五島とは鰯の産に富み、五島の近海からは鯨珊瑚等を産する。

熊本縣

東北には阿蘇の活火山が聳えて、その舊火口の大きいことは世界第一と稱せられる。熊本平野はその西に展けて良質の米及び麥粟の産が多く、球磨川の流域には茶の産額も少くない。牧畜も盛で馬の産が多い。

南部には九州山脈が連つて木材を産し、また樟腦の産がある。山間には人吉盆地がある。白川に跨る熊本市(六三)は縣

熊本に醫科大學・高等學校・高等工業學校等がある
熊本城は加藤清正の築いたもので、今はこゝに第六師團司令部が置かれてある

八代のセメント工場

矢嶽のループ線

往時五家、莊の住民はその風俗が大いに他と異つてゐたが、今日は著しく開けて昔日の風習を見ることは出来ない

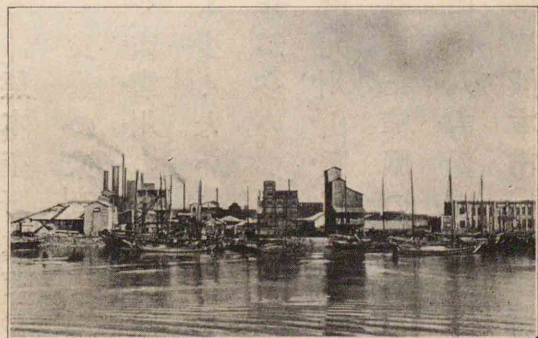
應所在地で、その南部にある水前寺(成趣)は九州第一の名園と稱せられる。緑川の口に近く、宇土半島が突き出で、その尖端には三角の開港場がある。

球磨川の下流に臨む八代はセメントを産し、木材を集散する。その西南の水俣には窒素肥料の工場がある。人吉は人吉盆地の名邑で、肥薩線は八代から起つて、この地を過ぎ、ループ線によつて矢嶽の嶮を越えて南に下る。球磨川の水源地方には五家、莊の僻村



がある。天草諸島の下島には無煙炭及び陶土を産する。

大分縣 阿蘇火山脈は西南境から東北に向つて縣下を横斷し、國東半島に及ぶ。縣内には温泉の涌き出る處が多く、硫黃の産が少くない。



別府には砂湯浴場がある

別府附近

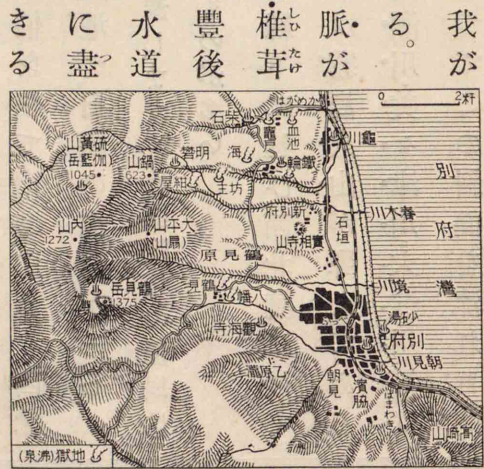
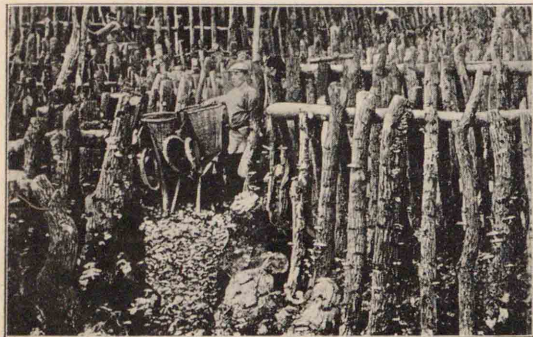
別府市街

市街は鶴見嶽東麓の傾斜地上に發達したものである

椎茸の栽培

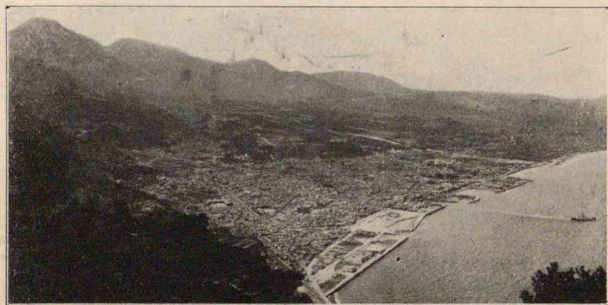
大分に高等商業學校がある

い。別府市附近は我が國第一の温泉郷である。東南部には九州山脈が連り、林産に富み、木炭、椎茸の産が多い。山脈の豊後



水道に盡きる處には、佐賀、關半島を始め、多くの岬灣が出入し、その間に

佐賀、關白杵(三)佐伯等の港市があり、佐賀、關には壯大な製鍊所がある。別府灣の沿岸から國東半島にかけては、壘表の製造が盛で、杵築はその中心である。別府灣の南岸にある大分市(六三)は



耶馬溪附近

霧島山

霧島山麓に霧島神宮がある



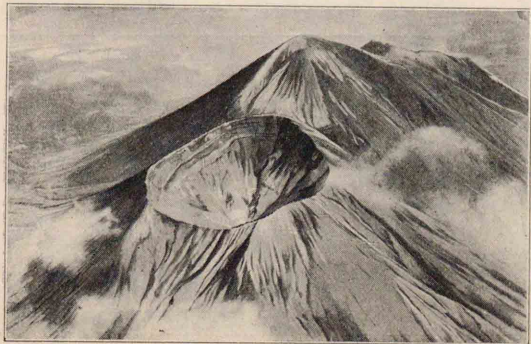
縣廳所在地である。北境には英彦山が聳え、山國川が流れ出て、耶馬溪の勝地を造つてゐる。河口に中津市(三〇)があり、その東方の宇佐には史上に有名

な宇佐神宮がある。日豊線は福岡縣から來て、海岸の都邑を連れ、佐伯を経て南進する。西北部は筑後川上流の盆地で、日田の名邑がある。

沿海には鱈鯛等を産し、また佐賀、關附近の漁民は朝鮮近海に出漁するものが多い。

宮崎縣

九州山脈は縣下に延び、西北境に於て高峻を極め、西南境には霧島火山が聳えてゐる。地勢は東に傾き、五箇瀬川、美々津川、大淀川等は、ほぼ平行な流路をとつてこの斜面を流れ、日向灘に注ぐ。中部の海岸は出入が極めて少いが、北には細島、南には内海、油津等の良港がある。この地方は太古から既に知られた處で、今なほ當時の史蹟を存してゐる。しかし、交通が不便で土地がよく開けず、人口の密度は甚だ小である。延岡市(五六)には窒素肥料、人造絹絲の工場があり、宮崎市(六五)は縣廳所在地で、附近に熱帯植物で有名な青島がある。西南部には都城(三七)があり、木材、茶、繭等を集散する。日豊線は大分縣から來て本縣の主な都邑を連れ、鹿兒島縣に入る。



青島

宮崎の南方約十四軒の海岸に近い小島で全島を覆ふ熱帯植物によつて有名である

宮崎に宮崎神宮及び高等農林學校がある

櫻島には大きな櫻島大根の特産がある



縣から來て本縣の主な都邑を連れ、鹿兒島縣に入る。

縣下の大部分は山林、原野で、木材、薪炭、椎茸等に富み、竹材の大きなものを出し、また樟腦を産する。沿海の水産は鱸を主とし、鯉節の製造も盛である。

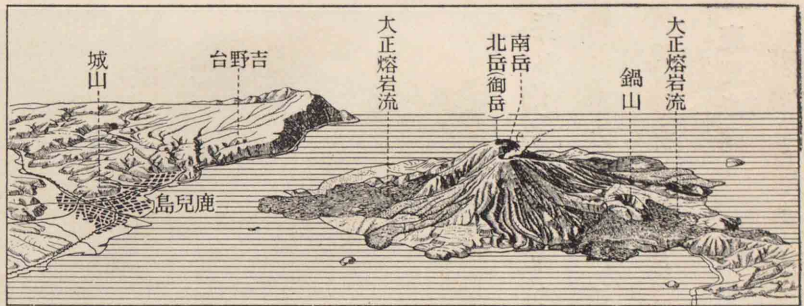
鹿兒島縣

薩摩大隅の二大半島が突き出て、鹿兒島灣を抱く。灣内の櫻島は大正三年に大噴火をして熔岩を流し、大隅半島と連つて半

櫻島の模型圖

鹿兒島市街と櫻島

鹿兒島に高等學校及び高等農林學校がある



史蹟がある。

日豊線を北に進めば煙草の産

島となつた。

煙草・甘藷・粟等の農産に富み、牧畜も盛で、最も多く牛を牧し、馬豚がこれに次ぐ。林産には木材・樟腦があり、鑛産には串木野(三)山(五)野から多く金を出し、谷山(三)から錫を産する。近海は水産に富み、鰹節は古來の名産である。

鹿兒島線は西北部の名邑川内(三)を經、縣廳所在地の鹿兒島市(二八)に至る。

市は島津氏の城下町であつた處で、今は開港場である。薩摩・緋薩摩焼等を産する。市の背後に城山の



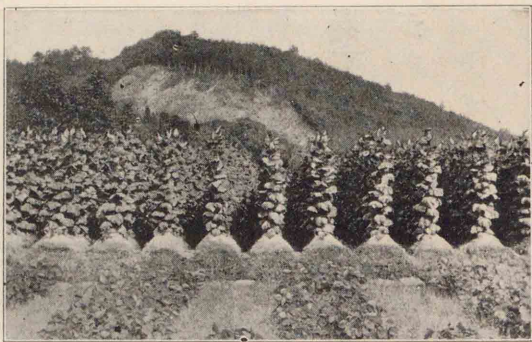
國分の煙草畑

煙草の産額は量に於ては栃木縣が第一であるが、良質の點に於ては鹿兒島縣が第一である。従つてその金額に於ては本縣は全國の首位を占めてゐる。種子ヶ島は小銃傳來の歴史で名高い

沖繩の家屋

家屋は強風を防ぐために皆平屋造りで高い石垣を繞らしてゐる

琉球列島及び大島にはハブと名づける毒蛇がゐて人畜に害を與へる



地國分がある。

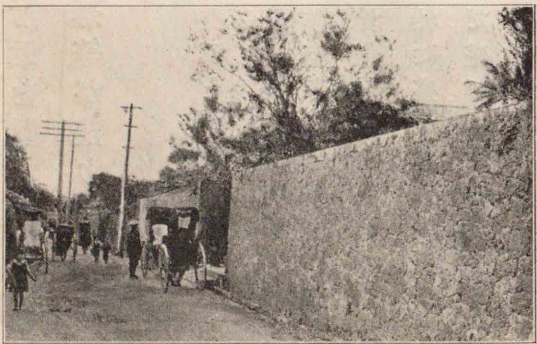
南方には霧島火山脈に屬する吐噶喇諸島がある。その東北の種子ヶ島には甘蔗を栽培し、屋久島には杉材を産する。南方の奄美諸島は風土・習俗が沖繩によく似てゐる。その大島には黒砂糖・大島紬等を産し、名瀬(三)の名邑がある。

沖繩縣

琉球列島は薩南

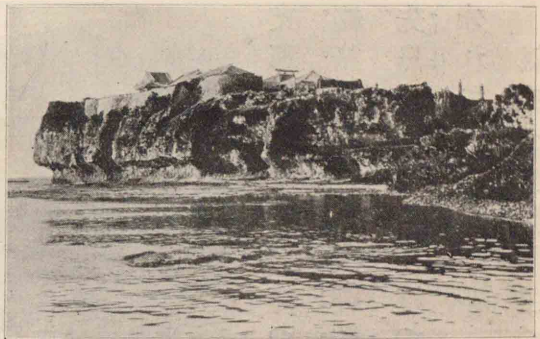
支那海の外縁を作つてゐる。縣の北部には沖繩諸島があつて、沖繩島が最も大きく、南部には先島諸島が横たはつて、宮古八重山の二群島に分れてゐる。

氣候は亞熱帶性で、雨量が甚だ多く、毎年八九



隆起珊瑚礁
那霸市の西北
海岸にあり礁
上に波上宮が
ある
中華民國南部の風
を模して大いに墳
墓を營む風がある

沖繩島の東方洋中
にあるラサ島には
燐礦を産する
近海には鰹・永良
部鰹を産する



月頃、颶風の中心が屢、この附近を過ぎて、九州・四
國・本州等を襲ふ。榕樹・芭蕉等が茂り、沿海には
珊瑚礁が発達してゐる。

僻遠の地である上に古來支那との交通が盛であ
つたため、住民の習俗は内地と異り、特有の方言を有
する。人口は甚だ稠密で、南洋・南米等海外へ移住す
るものが多い。住民は多く甘藷を常食とし、また芭
蕉布を作る。甘蔗の栽培は特に盛で、黒砂糖・白下砂
糖の産が多く、豚の飼養も甚だ盛で、また山羊も飼は
れてゐる。漁業も盛で鰹節を産する。

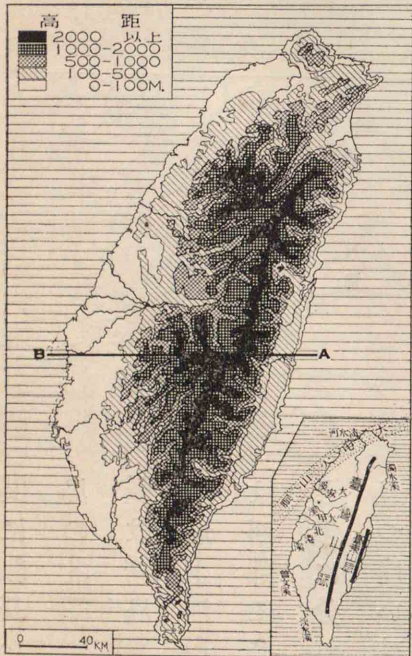
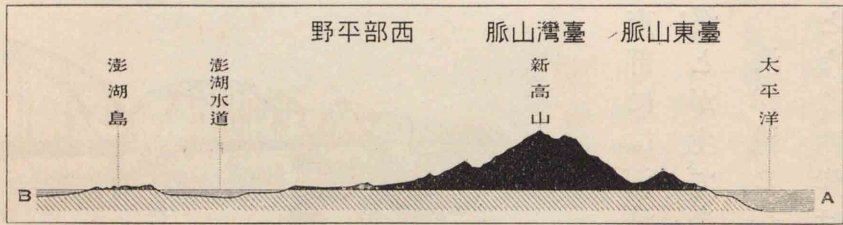
那霸市ナハは沖繩島にある開港場で、縣廳所在地である。琉球絣・漆
器・夏帽子等を産する。首里市ウヰはその東方臺地に位し、舊王城の址
がある。島の南端に近く糸満イトマンの漁港があり、北部に運天港ウンテンがある。

第九節 臺灣地方

新高山は我が國第
一の高峯で、海拔
三九五〇米ある
次高山は海拔三九
三一米ある

臺灣の断面圖
と地形圖

本島と澎湖島との
間を通ずる東徑百
二十度の子午線上
の時刻を我が國の
西部標準時とし、
臺灣及び沖繩縣の
先島諸島で用ひ
る、中央標準時よ
り一時間後れる



位置 臺灣は我が國西南部の大島で、西方は臺灣海峽
を挟んで中華民國に對してゐる。海峽の中には低平
な澎湖諸島がある。

地形 臺灣山脈は島の東北端から起り、南端の南岬に
至つて盡きる。山勢が高峻で、新高山や次高山等の高
峯を戴いてゐる。この山脈は西方に緩斜して、その麓
には廣い平野が開けてゐるが、東側は急斜して、直ちに

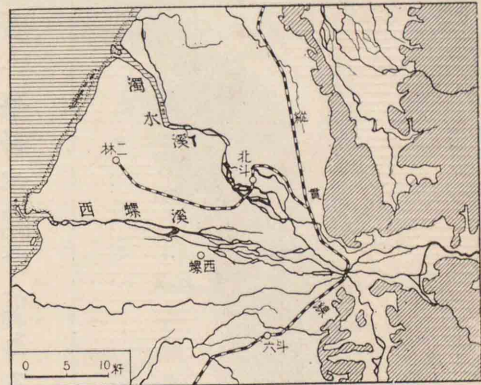
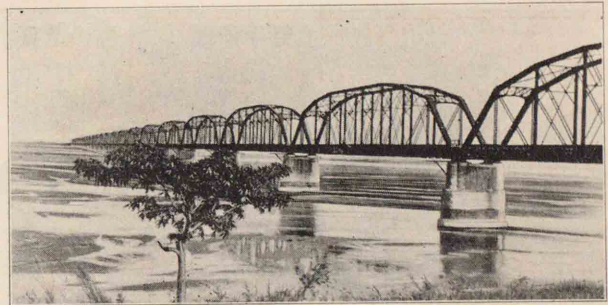
海岸に終る處
は高い絶壁に
なつてゐる。
東岸には別に
臺東山脈があ
つて、臺灣山脈
と並走し、その

大屯火山脈には大屯山・觀音山等の火山がある

下淡水溪と大鐵橋

濁水溪は流域面積が廣く、ために降雨の際には河水は網狀に亂流するので鐵道もこれを避けて圖の如く著しく上流に迂廻する

西岸は遠淺であるから汽船は遠く沖合に碇泊し、竹筏によつて陸地と連絡する



東部には河流が少く、臺東の低地を南流する卑南溪と、北流する荖萊溪とが主である。海岸線の出入は極めて少く、東岸は山嶽が直ちに海に迫つて斷崖となり、西岸は低平で、砂洲や瀉湖が發達し、海は遠淺である。従つて

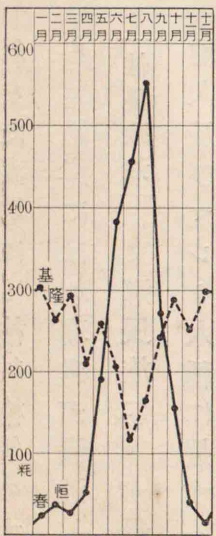
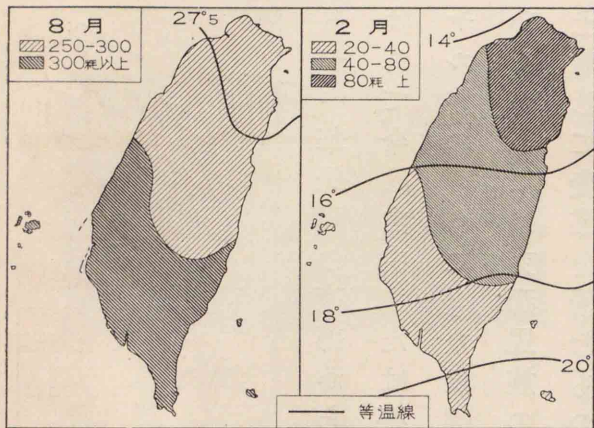
間に細長い低地を挟む。島の北端にある大屯火山脈は霧島火山脈に屬する。地形上、河川の大きなものは西部に多く、平野に出ると俄に分れて數脈となり、且つ廣い積を造るものが少くない。濁水溪はその

基隆附近には年雨量七千耗以上に達する處がある。冬は東北風が吹いて北部に雨が多く、夏は西南風が吹いて南部に雨が

多い

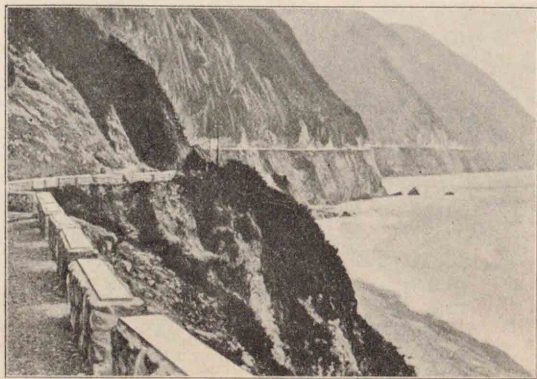
臺灣の氣象圖

雨量比較圖



樟は本島と稱せら

氣候 北回歸線が島のほぼ中央を横ぎり、南部は熱帯に入つてゐるから一般に氣温が高い。雨量も多く、殊に北部に著しい。また近海から襲つて來る颱風の災害を蒙ることが少くない。低地には榕樹・檳榔等が林を造り、ヘゴは林投樹と共に叢生し、密林には籐が纏つてゐる。



良港に乏しい。

バナナの移出額は年九百五十萬圓に上り、砂糖・米に次いで重要なものである

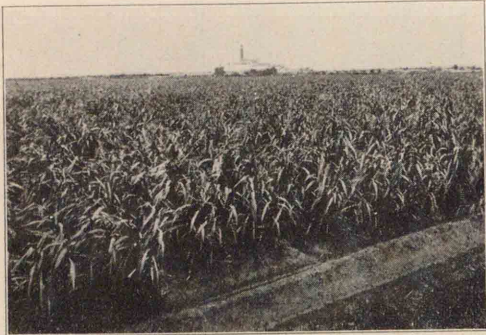
甘蔗の産地とその気温

甘蔗畑

本島産の粗製糖は概ね精製糖の原料として内地へ送られる

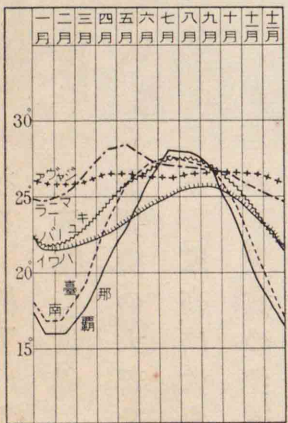
米は一年二回の收穫があり、その蓬萊米は盛に内地へ移出される

製糖工場分布圖



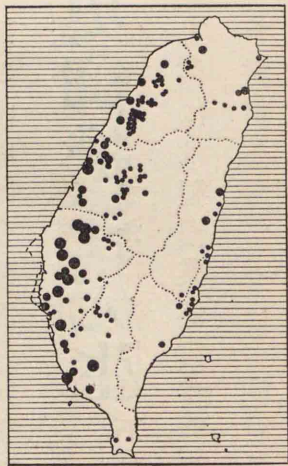
し、阿里山の大森林は殊に有名で

部の山地には檜紅檜等の木材を産



甘蔗糖産額比較 (日本全國約105万担)

臺灣	92 (万担)	88%	沖繩		其他
----	---------	-----	----	--	----



産業

一 農業は本島の重要な産業で、米は西部の平野に産し、茶は多く北部の丘陵地に作られて、烏龍茶包種茶に製せられる。甘蔗は中部以南の平野に産し、製糖業が著しく發達して、砂糖は實に本島

第一の産物となつてゐる。この他甘蔗

花生等の農産物がある。またバナナ、文旦、パイナップル、龍眼肉等の果物に富み、殊にバナナは多く内地に移出

される。中

蕃族の分布圖

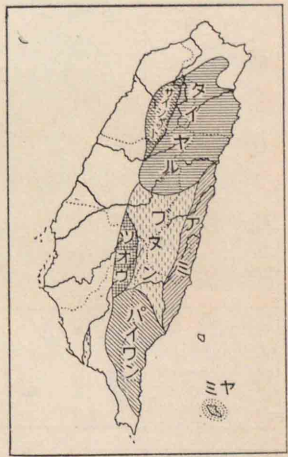
内地人 二七萬
支那民族 四六七萬
マレー人種 二一萬
外國人 六萬
計 五二一萬

蕃族

内地人には熊本・鹿兒島・福岡の諸縣人が多い

五州・三廳

臺北州 新竹州
臺中州 臺南州
高雄州 臺東廳
花蓮港廳 澎湖廳



るが、中華民國の南部から來た支那民族に逐はれて、今は山中または臺東地方に住み、タイヤル族のやうに今なほ性質の兇暴なものもあるが、中には支那民族の感化を受け、山麓に土着して農業を営むものもある。本島には臺灣總督府を置き、總督が政務を統べてゐる。總督府の下には更に五州・三廳がある。また本島警備のために守備隊が置かれてゐる。

れ、また高地には檜紅檜等の大森林がある。沿岸には珊瑚礁が發達してゐる。住民政治 支那民族(本島)が最も多く、内地人及びマレー人種に屬する蕃族がこれに次ぐ。蕃族は本島の原住民族であ



嘉義の製材工場

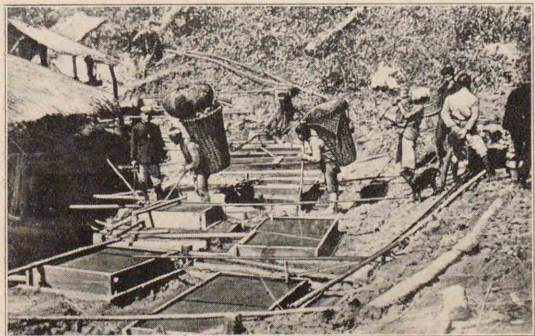
基隆港に於けるバナナの積込

樟腦製造所

山地から得た樟樹の木片をこまに運び甌に詰め輸出した後冷却凝縮せしめて樟腦を作る



ある。樟腦は本島の主要な産物で、世界の天然樟腦需要額の大部分を供給する。家畜には水牛・豚等があり、家禽の飼養も盛である。[二] 鑛産に北



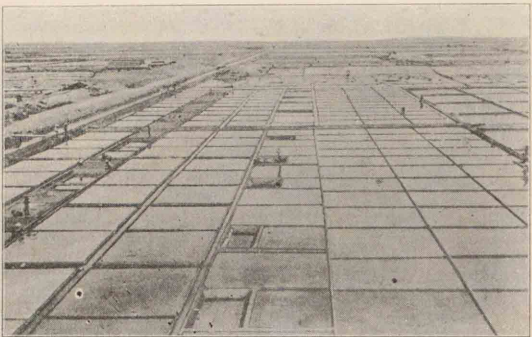
部の山中に金・銅・石炭・硫黄等がある。殊に金の産が多く、本島は我が國主要産金地の一となつてゐる。また中部には石油の産がある。[三] 手工業には製帽業が行はれ、紙麻及び林投樹の葉を材料としてパナマ帽を作る。[四] 水産業は近

西海岸の鹽田

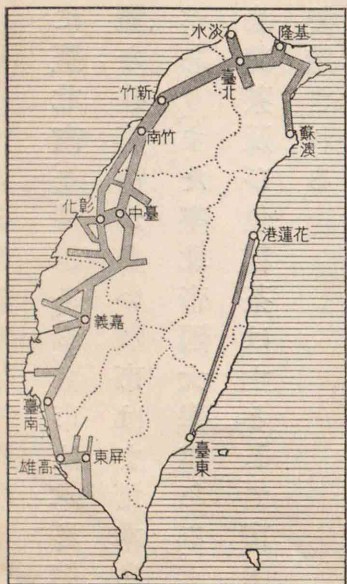
臺灣の貿易總額は内地との分を合せて約六億一千萬圓に及ぶ

臺灣の鐵道圖

無線電信局は基隆・臺北・淡水・鳳山・鶯鷺鼻等にあり



る。汽船は内地及び中華民國・マレー諸島との間に定期航路を開いてゐる。海底電線は九州に通じ、また對岸の中華民國南部とも連絡する。



年著しく發達し、北方の海には鯷・鯛・鱈・旗魚等の産が多く、鯷節の製造も盛である。また南方の海には捕鯨が行はれ、西南の海岸には天日製の食鹽を産する。[五] 外國貿易及び内地との移出入は基隆・高雄の二港で盛に行はれる。
交通 道路はよくないが、西部では鐵道が平野を南北に貫き、また多くの私設輕便線を蔗園地方に分つてゐる。東部は開發が後れ、交通がな

臺北に高等學校・
高等商業學校・醫
學專門學校等
がある

臺北市街
中央の建物は
臺灣總督府で
ある



處 誌

北部 淡水河の流域盆地の中央に**臺北市**(三七四)がある。市は本島第一の都市で、諸施設がよく整ひ、壯麗な建築物が多い。市はまた本島政治の中心地で、總督府高等法院があり、また臺北帝國大學がある。商工業が盛に行はれ、本島特産の烏龍茶及び包種茶は主として市内の工場で製造される。

淡水河の口にある**淡水**(三五)は開港場で、中華民國との間に通商が行はれ、臺北の東北方にある**基隆市**(八七)は自然の良港に繋船岸壁その他の設備を整へた開港場で、本島の北門に當り、内地との交通が頻繁で、また縦貫鐵道の起點である。烏龍茶・包種茶・石炭・樟腦等の輸出米・砂糖・バナナ等の移出が盛に行はれる。石炭は附近の丘陵に産し、東方には**瑞芳**・**金瓜石**

特別開港場は支那
型商船のため特に
開かれた貿易港で
ある
日月潭の水による
發電所は十三萬馬
力の電力を發生す
る

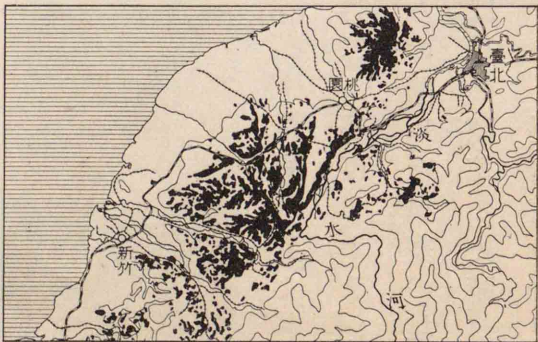
日 月 潭

桃園附近の茶
畑分布



等の金坑がある。東岸には**宜蘭**(三六)の附近に小平野があつて黄麻を産する。**蘇澳**は漁港で、近海に鰹の産が多い。臺北の西南方にある**桃園**(三五)は茶の栽培の大中心である。**新竹市**(五二)は樟腦を集散し、附近に蜜柑の栽培が盛である。

中部 この地方の平野には米・甘蔗・バナナの産が多く、**臺中市**(七〇)・**彰化市**(五五)等の都市がある。海岸には鹿港(四〇)その他の特別開港場があつて、中華民國との貿易が行はれる。**大甲**(三三)には大甲筵・夏帽を産する。山林地方からは多く樟腦を出し、**苗栗**(三三)・**斗六**(三七)等で集散される。山間の**日月潭**は海拔七百米の高地にあり、風景絶佳で、その水を



嘉義附近の製糖工場

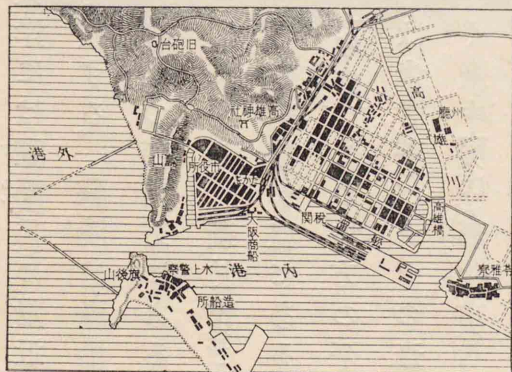
落花生からは油を取る
パイナップルは美味な果實を産し、その葉から布を製する

臺南に高等工業學校がある

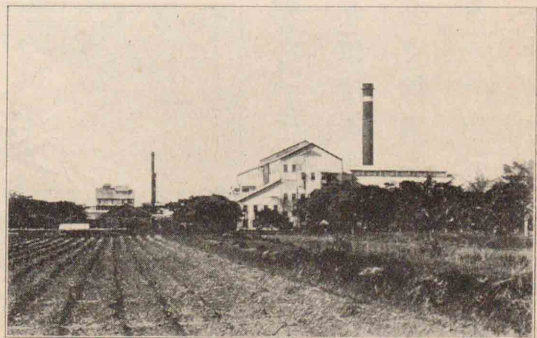
臺南の赤崁樓

約二百六十年前オランダ人が造營したものでその礎石は全部煉瓦を用ひ牡蠣灰で固めてある、オランダ人占據の舊址である

高雄市街



利用する壯大な發電所が設けられてゐる。
南部 大部分熱帯に入り、平野には甘蔗を作り、製糖業が盛大に行はれる。また落花生、パイナップル等を産し、海岸には天日製鹽が行はれる。
嘉義市七三には阿里山の木材を處理する壯大



がある。**臺南市**二二は本島第二の都市で、オランダ人の築いた城塞の址、鄭成功の廟等の史蹟が多く、また製糖業の大中

所材製な

屏東には東洋第一の製糖工場があり、また陸軍の飛行場がある

花蓮港附近に於ける内地人の開墾地

東部平野には内地人の移民が農村を開いてゐる

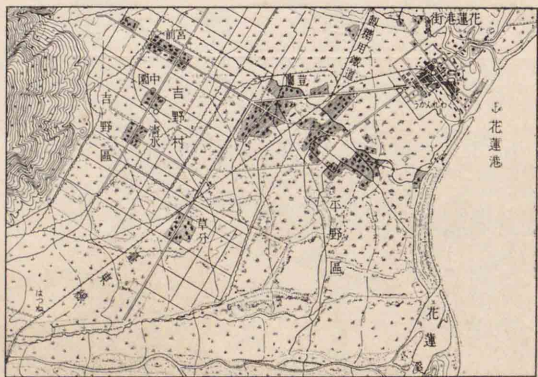
澎湖諸島には海拔五十米を超える處がない

心地をなす。その港を**安平**といふ。南方の**高雄市**八五は開港場で、盛に砂糖米を移出する。その東方の**鳳山**附近には多くパイナップルを産する。**屏東市**四三は製糖業の中心である。**恒春**は本島の南端に近い都邑で、年平均氣温が二十四度に上る。

東部 この地域は未だ開拓がおくれてゐる。主邑**臺東**南半はその北方の**花蓮港**と共に主要な錨地であるが、船舶の寄航に不便である。

澎湖諸島

多數の低平な火山島の集合で、沿岸には珊瑚礁が多い。**馬公** (三五)は自然の良港で、海軍の要港且つ特別開港場である。

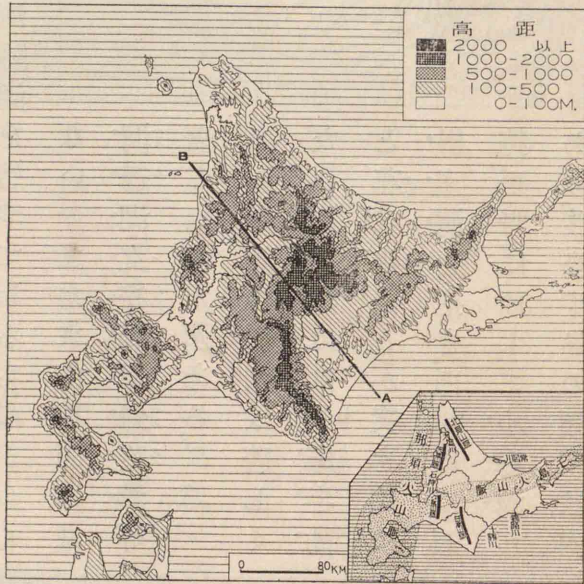


第十節 北海道地方

位置

北海道は北海道本島及び千島列島の二部から成る。本島は、

北海道の断面
圖と地形圖



放射して各斜面を下り、沿岸に廣い平野を造つてゐる。

河流の最大なのは、石狩川で、源を石狩嶽に發し、島の中央にある上川盆地を流れ、神居古潭の峽流を造つて夕張山脈を貫き、石狩平野に出て日本海に入る。天鹽

羽山脈の延長で、那須火山脈は島の西南部に恵山駒嶽を起し、羊蹄山(リマツカ)の秀峯を造つてゐる。

かく主な山脈と火山脈とがほぼ十字形に交るから、軀幹部は四斜面に分れ、河流は中央から

北海道の面積は四國・九州・臺灣を合せたものに近い

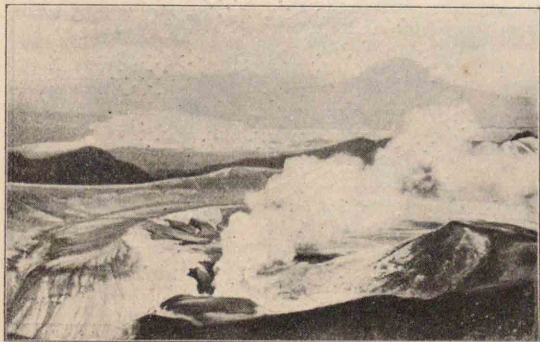
雄阿寒嶽の噴煙

火山地方には温泉が多い

南は津輕海峽、北は宗谷海峽を隔てて、本州島及び樺太島に隣り、千島列島の北端はソヴィエト聯邦領のカムチャツカ半島の南端に對する。これら諸島の内側には、日本海及びオホーツク海があり、外側には太平洋があつて、直ちに日本海溝に臨んでゐる。

地形 本島の軀幹はほぼ斜方形をなし、渡島半島は大魚の尾のやうに、その西南部に連つてゐる。本島の主軸をなす山脈は、南方襟裳岬から北方宗谷岬に至り、南部は日高山脈とその西に並ぶ夕張山脈とから成り、北部は北見山脈とその西に横たはる天鹽山脈とから成る。

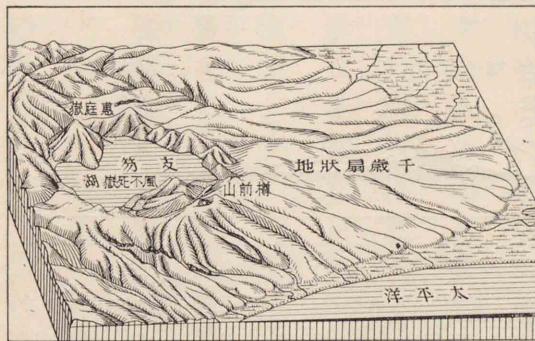
千島火山脈は本島を横斷して東部に雄阿寒嶽、雌阿寒嶽等の火山を起し、中央部の主軸山脈と會する處には本島の最高峯旭嶽を始め、十勝嶽その他の火山が聳えてゐる。渡島半島は奥



石狩川河道の
屈曲
舊河道が三ヶ
月湖となつて
残つてゐる

神居古潭の峽
谷

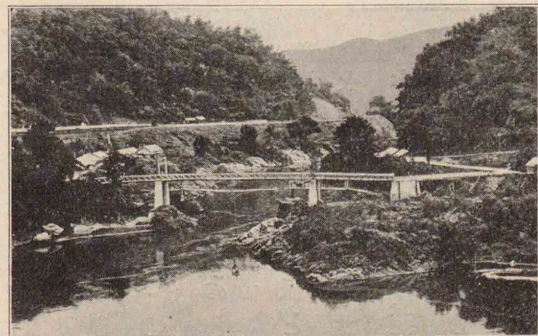
石狩川が上流
盆地から西流
して夕張山脈
の北端を横ぎ
り石狩平野に
出ようとする
附近である、
溪流に沿つて
走る鐵道は函
館線である
支笏湖附近の
模型圖



川は北見天鹽兩山脈の間を流れてま
た日本海に注ぐ。太平洋斜面には十
勝川・釧路川等がある。これらの河流
の平野を流れてゐる部分は屈曲が甚
しく、沿岸には河跡湖を造つてゐるもの

が少くない。また火山地方には
洞爺湖・支笏湖・屈斜路湖等
著名な湖水がある。

海岸線の出入は著しく
ない。東岸には知床半島
と花咲半島とが突き出て、
根室灣を抱き、西岸には石
狩平野に面して小樽灣が
あり、渡島半島の頸部は内浦灣を擁してゐる。



内浦灣は沿岸に火
山が多いから噴火
灣ともいふ

北海道の氣象
圖

明治四十一年には
土川盆地で攝氏零
下四十一度を示し
たことがある

根室附近の流
水

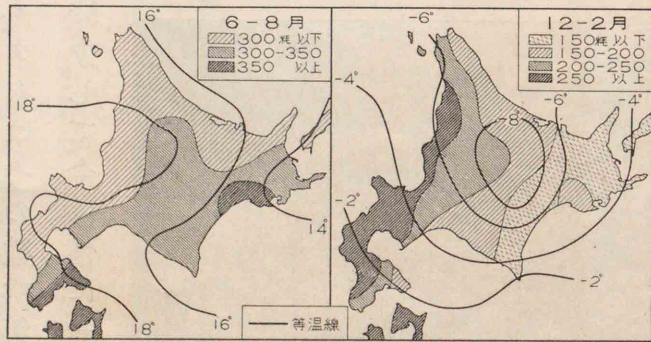


平滑な海岸には砂嘴が長く延びて、猿澗湖等の
如き大瀉湖を造り、また海岸段丘が處々によく
發達してゐる。

氣候 冬季は稍寒冷であるが、春が来れば溫度
が俄に上り、夏季は割合に高温になる。上川盆

地の如く冬季寒氣の厳し
い處は殊に夏季の氣溫が
高い。夏季の海霧と、冬春
の交の流水とは東南及び
東海岸の特色で、共に航海
者の恐れるものである。

住民 明治初年以來内地人の移住を奨励して
開墾に力めたから、土地が漸く開け、戸口が著し
く増加した。



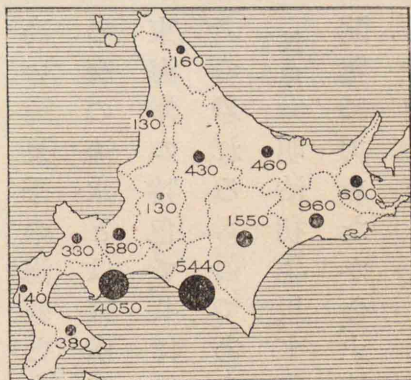
アイヌ人は體格が偉大で男子は毛が深く女子は口の周圍に入墨を施す習慣があつた

アイヌ人の分布

人口約三十萬、人口一萬以上の市町が四十二ある
人口密度はその最大の渡島半島でもなほ本州中最小な岩手縣に及ばない

十四支廳

渡島 上川 後志 留萌 檜山 宗谷 膽振 十勝 石狩 空知 根室 日高 網走 釧路國 鯨の漁獲



千餘に過ぎず、その多くは南部の平野に住んでゐる。

しかし、人口の密度はなほ内地平均の五分の一に及ばない。原住民のアイヌ人はその數次第に減少して、今は僅に一

本島は北海道廳の管轄に屬し、七市十四支廳に分れてゐる。
産業 [一] 近海は寒暖二種の海流が流れてゐるので魚族に富み、世界三大漁場の一になつてゐる。それ故、水産業は本道の主要な産業で、殊に



鯨は搾粕・身缺鯨等として本州その他に送られる

水産物の主産地

鮭・石狩・根室 鱈・千島・本島 各處 烏賊・渡島半島 鱈・本島南海岸 鱈・本島近海各處

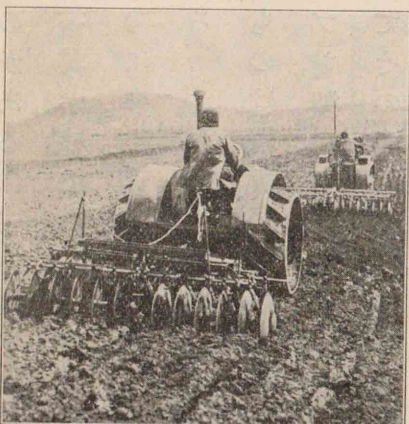
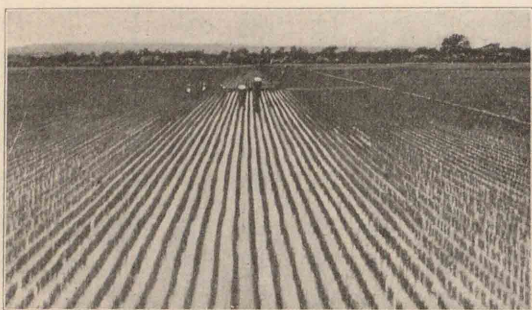
昆布、南海岸の寒流地方 馬鈴薯からは澱粉を造り、玉蜀黍からはアルコールを採る

甜菜は砂糖の原料で低温地に栽培される

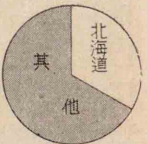
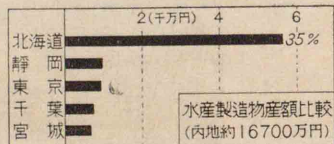
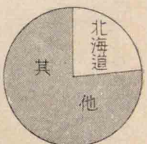
旭川附近の水田

耕地の整理がよく行き届き、區劃が特に大きい

洋式の耕耘



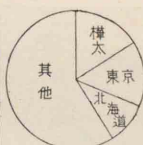
鯨の産額が最も多く、食料並に肥料として移出する。日本海岸はその主産地である。烏賊・鱈・昆布・鱈・鮭等はこれに次ぎ、多くは乾製または鹽藏として各地に送られる。[二] 農業の最も開けてゐるのは石狩平野で、洋式の農法により、多く機械家畜を使用し、耕地の規模も壯大で、米・燕麥・稗麥・小麥・大豆・菜豆等の



産出が多い。近年工業の發達に伴つて、菜種・馬鈴薯・玉蜀黍・亞麻・甜菜・薄荷・除蟲菊の産もまた増加して來た。野菜には甘藍・玉葱・果物には苹果

現今農業の行はれてゐる處は全道可耕地の九分の一に過ぎない
新冠牧場は宮内省の所有に屬する

苦小牧の製紙工場
王子製紙會社の工場で前方に堆高く積まれた木材は皆製紙原料の蝦夷松・樺松である、こゝは新聞用紙の大量生産を目的としてゐる

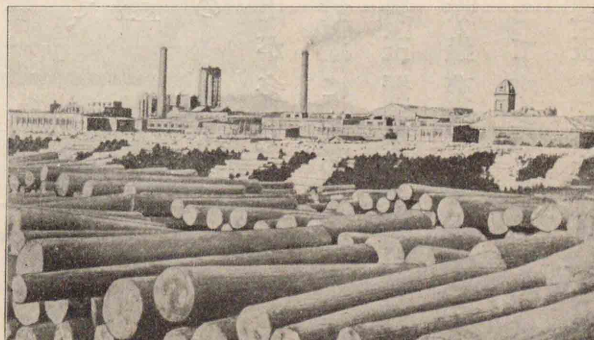


洋紙産額比較 (全國約16,500萬圓)

産地	産額 (千円)	割合 (%)
樺太	2,640	16%
東京	1,650	10%
北海道	1,100	6.7%
四国	880	5.4%
大阪	880	5.4%

櫻桃等の美味なものがある。〔三〕原野が廣く牧草も豊かなので牧畜業が盛である。殊に馬を主とし、東南部の地方に多く産し、新冠牧場はその名が知られてゐる。また乳牛・羊の數も多い。〔四〕林産の最も主なもののは蝦夷松・樺松等で、多くは洋紙原料のパルプを製する。〔五〕鑛産は石炭を主としてその産額九州に次ぎ、夕張山脈の西麓に豊富な炭田がある。硫黄は渡島半島に最も多い。〔六〕家内工業は振はないが、大工業は盛大で、製紙・製麻・製鋼・製糖並に麥酒・アルコールの醸造、澱粉・麥粉・セメントの製造等が行はれる。

交通 函館線は函館から起り、石狩平野を貫いて上川盆地の旭川に至り、宗谷線はこれに連つて本島北端の稚内に通

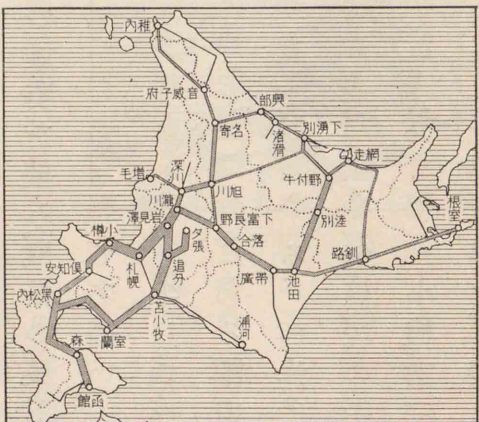


北海道の鐵道

狩勝峠
根室線が石狩・十勝の境上を通過する附近にある勝地である

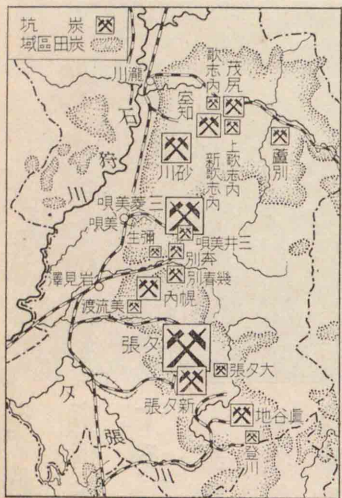
オホーツク海上は十一月から翌春四月頃まで流水のため航通が杜絶する

じて南北交通の幹線となり、稚内よりは連絡船によつて樺太に通ずる。函館線から分岐する室蘭線は内浦灣頭の室蘭に至り、根室線は十勝・釧路の兩平野を過ぎて根室に達する。根室線は更に網走線・釧路線を分つて、東北海岸の網走に通ずる。これ等から分岐する支線も數條ある。道路も開拓の初期からよく開かれてゐる。汽船の往來は西部の海岸には頻繁であるが、東方には盛でない。殊に千島列島は約半歳の間航行が絶える。

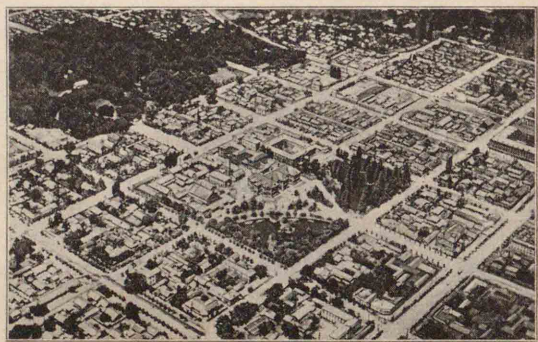


處誌

石狩炭田



石狩炭田は、石狩川に沿って上れば、神居古潭の勝地を過ぎ、上川盆地に入



札幌に控訴院がある、また附近に札幌神社及び定山溪の温泉がある

札幌市街

易も、内地との取引と共に盛である。小樽から東に進めば、石狩平野に入る。石狩川の支流豊平川に沿うて道廳の所在地札幌市(一九七)がある。市は、市街が碁盤の目のやうによく整ひ、北海道帝國大學が置かれ、また麥酒製麻等の大工場がある。その東方の江別(三)には製紙業が行はれる。

岩見澤(三)は平野の中央に位し、鐵道の交叉點に發達した市街である。その東方の夕張(四)美唄(三)等の

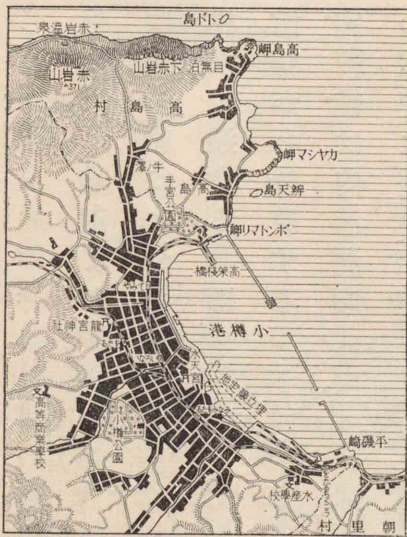
豊富な炭田があり、夕張(四)美唄(三)等の名高い炭坑都市がある。

函館は青森を距ること約百軒、連絡船は約四時間を要する

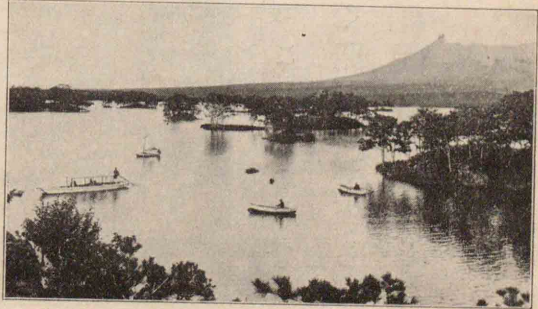
函館市街

大沼公園

小樽市街



北海道本島 渡島半島南岸の函館市(三)は本島の門戸に當る良港で、古くから開港場として、商業が盛に行はれ、水産物を中華民國に輸出する。函館の北方には大沼公園があり、北に駒嶽の雄姿を望み、風景の美しいので名高い。



半島の西南端にある福山は本島最古の都邑である。西岸には江差(三)の港市及び鯨漁場の一中心である岩内(三)がある。小樽市(二)は本島の主要な開港場で、港灣の設備がよく整ひ、外國貿

旭川に第七師團司令部がある、またその東南には石狩川の上流に層雲峡の勝地がある。苦小牧の工業動力は支笏湖の水力電氣による。

旭川市街

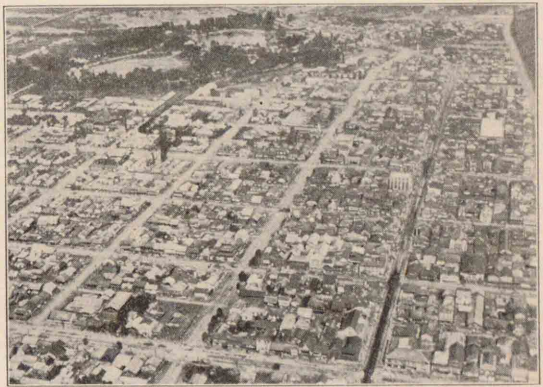
室蘭の西北にある紋籠には亞麻を産する。

平取のアイヌ部落

特長ある段々葺の屋根は茅で葺き上げたものである。

室蘭の製鋼所

石炭の輸出が最も多く、また壯大な製鋼所がある。日高山脈の西南麓にはアイヌ人の多い平取の部落がある。また有名な新冠牧場があつ



る。旭川市(九)は盆地の中心に興つた都市で、市街がよく整ひ、製材業が盛で、また米を集散する。西岸の留萌(八)は石炭木材を積出す。室蘭線によつて南海岸に出ると苦小牧(三)の名邑があつて、洋紙の大工場がある。内浦灣の口には室蘭市(六五)がある。開港場で、



移住民の開墾

花咲半島の南方落石岬に無線電信局がある。

西別川の畔には壯大な織詰工場がある。

厚岸海岸に於ける昆布の乾燥

千島はその面積は四國と大差ないが、人口は僅に二萬一千に過ぎない。



て良馬を産する。

東斜面には十勝平野の中心に帯廣市(三六)があり、製糖業が行はれる。釧路川の河口に跨る釧路市(五五)は開港場で、また漁港である。市の内外に製材・製紙の工場がある。厚岸灣岸には厚岸港があり、附近からは昆布・牡蠣を産する。花咲半島には、根室線の終點に開港場根室(二〇)がある。千島に渡る要津で、また漁港である。根室灣に注ぐ西別川には鮭・鱒の産が多い。網走(三三)はオホーツク海岸第一の港で、北端の稚内(二二)は樺太渡航の要點を占め、連絡船が大泊との間を往來する。

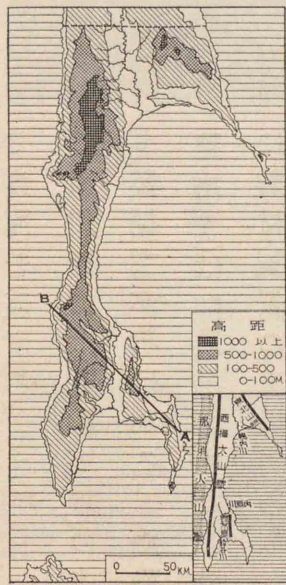
千島

根室灣から東北方に到る三十餘の火山島で、



千島にはまた硫黄を産する

樺太の断面圖と地形圖



位置 樺太島は北海道本島の北に位して、その間に宗谷海峡を挟み、東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峡を隔ててソヴェト聯邦の極東部に對する。我が國の領土は島の南部、北緯五十度以南の地である。

地形 島は細長くて、南北に延び、その南端は能登呂中知床の二半島に分れて亞庭灣を包み、東岸には北知床半島が突き出て多來加灣を抱く。

擇捉國後の二大島は本島に近く、占守島は東北端にある。擇捉島の紗那は列島の主邑である。列島の主業は漁業で、鱈、鱈等の産が多い。

第十一節 樺太地方

幌内川流域のツンドラには苔類が密生し、矮小な落葉松が疎生し、地下には泥炭を藏する

樺太の氣象圖

馴鹿 橋

海豹島に上陸する 照牒獸は年々二萬數千頭に上る

西樺太山脈は島の主軸になつて南北に延び、これとほぼ並行して、北に東北山脈、南に鈴谷山脈が連り、西樺太山脈との間に低地を挟んでゐる。北部の低地には幌内川がソヴェト聯邦領から流れて來て、多來加灣に注ぐ。南部の低地には鈴谷川が南に流れ、内淵川が北に流れ、その流域は本島の最も重要な處である。

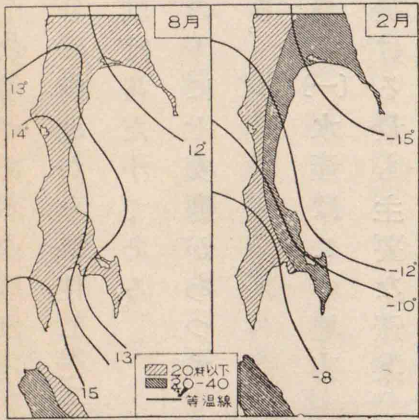
氣候生物

大陸の影響と寒流とのために、氣温は北海道本島より稍低く、東岸には海霧や流水が多い。蝦夷松、落葉松

等の森林があつて、狐、貂、麝香鹿等が棲み、馴鹿と犬とは重要な家畜となつてゐる。多來加灣の海豹島は照牒獸の蕃殖地として名高い。

住民

本島古來の住民



海豹島の鬮
群

人口は約三十三
萬、内土人は二千、
人口一萬以上の町
は十に過ぎない

七支廳

豊原 大泊 本斗
眞岡 泊居 元泊
敷香

農産物には燕麥・
裸麥・馬鈴薯・牧草
等がある

蟹の漁獲

樺太の水産分
布圖

近年養蠶業が行は
れるやうになつた



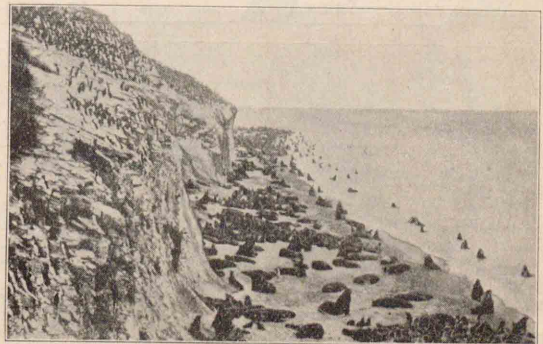
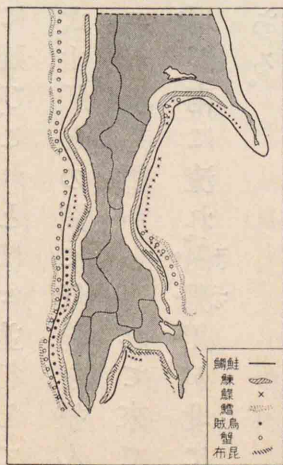
は、アイヌ・オロチン・ギリヤク等であるが、今はその数が少く、住民の大部分は内地から移住したものである。人口の密度は甚だ小である。この地方には樺太廳の下に七支廳があつて行政のことを掌つてゐる。

産業

〔一〕水産はこの地方

に於ける最も主要な産業で、鯨の産が極めて多く、亞庭灣がその主産地である。

鱒・鮭は東海岸に多く、亞庭灣がこれに次ぐ。この他鱈蟹^{かに}・昆布等の産がある。〔二〕林業は近年著し

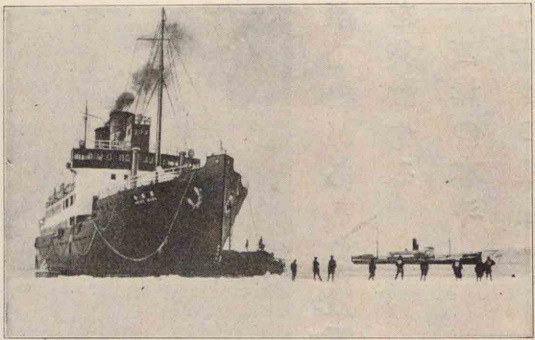


く發達し、パルプ及び製紙工業が盛である。〔三〕農業は僅に南部の低地に限られる。〔四〕近時内淵川流域には石炭の採掘が行はれる。

交通

陸上の交通はなほ不便で、鐵道は僅に南部の低地を貫くものの外、西海岸に短小なものがあるのみであつたが、近年東西兩岸を連絡する線路が開通し、また東海岸に沿うて走るものは敷香に達せんとしてゐる。冬季は橇^その利用が盛で、山地に於ける木材の搬出等は夏よりも却つて便利となる。海上は沿岸の諸港及び内地との間に汽船の便があるが、冬季は海水の凍結する處が多いから不便である。

處誌



凍結した海面と連絡船

大泊^{おほどまり}〔三〕は亞庭灣に臨む開港場で、本島の門戸となつてゐる。パルプ工業が盛に行はれ、また漁業の一中心になつてゐる。その港面は

豊原に樺太神社がある

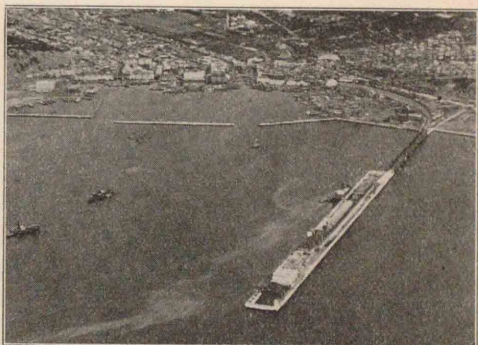
大泊港

豊原市街

街路は井然としてゐる

敷香に於ける一月の平均気温は零下十八度である

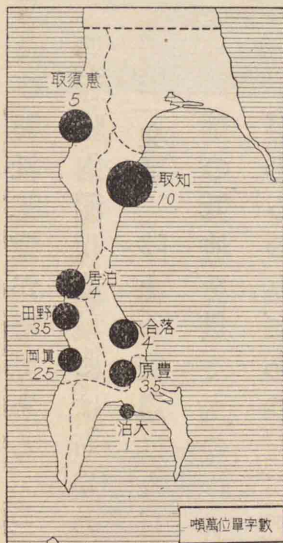
樺太のバルプ工場分布



紙工場がある。を集散する。

西岸の本斗は鐵道の起點に當り、その北方の開港場眞

敷香(二九)は幌内河口に臨み、毛皮



冬季凍結するけれども、碎氷機さいひやうきの装置ある汽船は出入することが出来る。鐵道はこゝから北進して豊原落合を過ぎ、榮濱に至る。豊原(三五)は鈴谷川に沿ふ豊沃な平野の中央に位し、樺太廳が置かれ、製紙業が盛である。その北方に川上炭坑がある。落合にはバルプ製紙工場があり、また

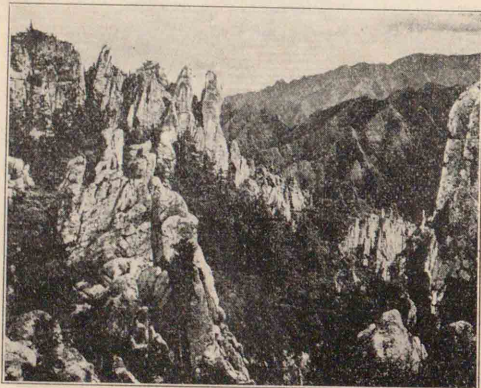
岡は本斗と共に不凍港で、漁業の一中心をなし、漁期には北海道その他から出稼人の入り込むものが多く、市況はために繁盛を極める。泊居とよりぞる及び惠須取えすとと(三七)にはバルプ製紙工場がある。

第二章 朝鮮

第一節 地文

位置 朝鮮はアジヤ大陸の東部に突出する半島で、東は日本海に面し、西は黄海に臨み、南は朝鮮海峡を隔てて九州に對する。北は鴨綠江・長白山脈・豆滿江によつて滿洲國に境し、東北隅はソヴェト聯邦の極東地方に接する。その面積は本州より稍、小さい。

地形 長白山脈が北境に沿うて横たはり、中に白頭山が高く聳えてゐる。その南は蓋馬



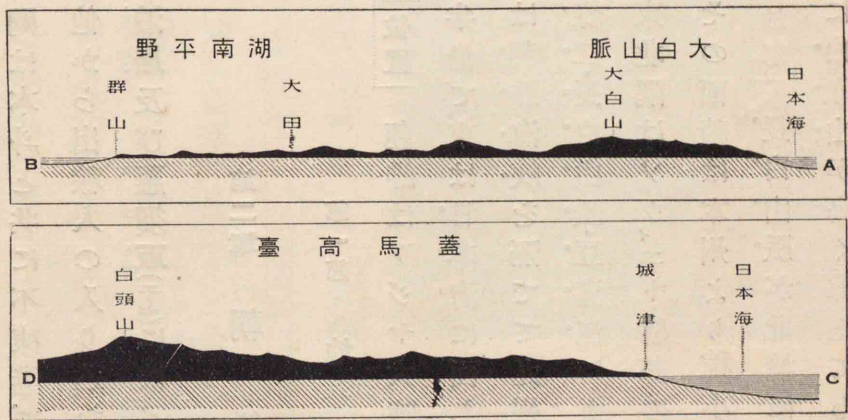
金剛山

外金剛の奥萬物相の景である

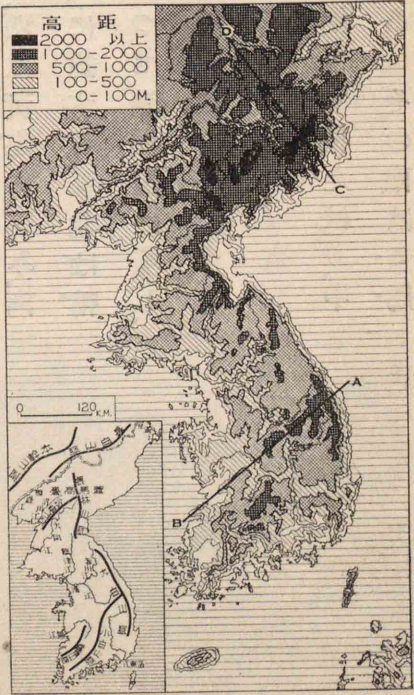
長白山脈の高峯を白頭山といひ、その頂上に火口湖の龍潭(天池)がある

金剛山を大別して内金剛・外金剛・海金剛の三とする、中にも海金剛は火山岩の柱状をなしたものが海波に洗はれて絶景を呈してゐる

南北朝鮮の断面圖と地形圖



高臺で、南方に向つて急斜してゐる。南部には大白山脈が東海岸に偏つて連り、東側は急斜するが、西側は緩斜して丘陵が起伏し、その間に平野がある。この山脈中金剛山の勝地は東岸にある。河流の著名なものは、日本海斜面には北部の豆満江のみであるが、黄海斜面には鴨



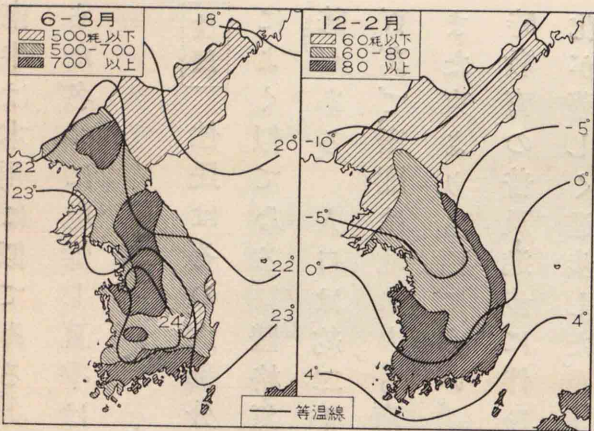
西部の海底は遠淺であるが、東部は陸地の急斜が海底にも及んで、日本海の深部は朝鮮北部の沖に近く横たはつてゐる

鴨綠江は本流の長さが七九〇軒に及び我が國の最長流である

多島海の一部

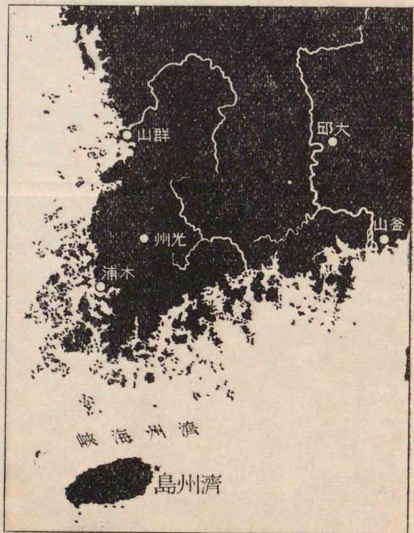
日本海斜面を裏朝鮮といひ、朝鮮海峡及び黄海斜面を表朝鮮といふ

朝鮮の氣象圖 家屋は冬季は概ね床下の温突によつて暖をとる 半島の西南沿海は七八月頃海霧が深い



綠江・大同江・漢江・錦江等の大河があつて、朝鮮海峡に注ぐ洛東江と共に舟運の便が大きく、それらの沿岸には平野が開けてゐる。

海岸の地形は、半島の東西



によつて大いに異なり、日本海岸は出入が極めて少く、これに反して、黄海と朝鮮海峡とに面する處は港灣半島が甚だ多く、濟州島を始め大小無數の島々が散在する。

氣候 北半は大陸の氣候の影響を受けて寒氣が強く、河海も凍結するが、南半は温暖である。要するに氣候は北半は滿洲國に、

半島在住の内地人はその數約五十萬に及ぶ
近年朝鮮人の内地に出稼するものが大いに増加した

婦人の碇打

朝鮮總督府

景福宮内に出來て新廳舎で地下とも五階造りの宏壯なものである

道廳所在地

慶尙南道 釜山
慶尙北道 大邱
全羅南道 光州
全羅北道 全州
忠清南道 大田

南半は本州に似てゐる。雨量は一般に少く、北半は特に寡雨である。また冬季に乾燥し、夏季は雨期に屬して、東部・南部に殊に多い。

第二節 人文

住民

住民はその大部分が朝鮮民族で、容貌言語(系)が共に大和民族によく似てゐる。體格氣質は南北によつて幾分異なり、北男南女の諺がある。人口は約二千三百萬で、密度は北よりも南に、また東よりも西に多い。近時教育の普及・進歩に伴ひ、文化が著しく進歩した。

政治

朝鮮はもと獨立の君主國であつたが、明治四十三年我が國はこれを併合し、京城に朝鮮總督府を置いてそ

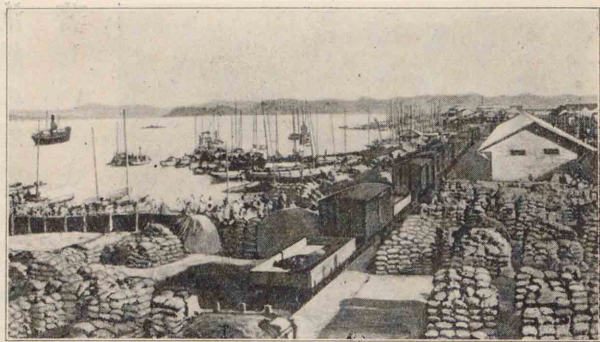


の政務を統轄してゐる。

地方は行政上十三道に分たれ、道は更に府と郡とに分たれる。道には知事、府には府尹、郡に郡守があつてその行政を掌る。

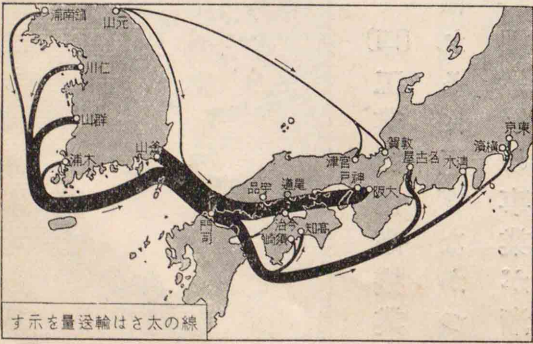
産業

〔一〕農業は主な産業で、米は南部に多く、麥、大豆、煙草、棉は各地に産し、



また人蔘の特産がある。

北部の鴨綠江流域には寒帯性の針葉樹林がよく繁茂し、多量の木材を出す。牧牛も行はれ、牛皮



示を量送輸はさ太の線

人蔘は専ら中華民

人蔘の乾燥

朝鮮米の内地への輸送量

群山港の米の積出

忠清北道 清州
京畿道 京城
黄海道 海州
江原道 春川
咸鏡南道 咸興
咸鏡北道 羅南
平安南道 平壤
平安北道 新義州

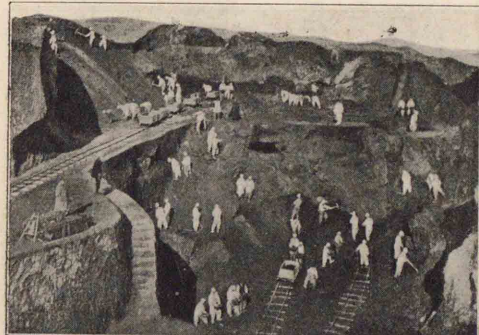
金の産地
雲山 遂安 昌城
大楡洞
石炭の産地
寺洞 价川 平壤
鐵の産地
載寧 殷栗 下聖

朝鮮の鑛山分布圖

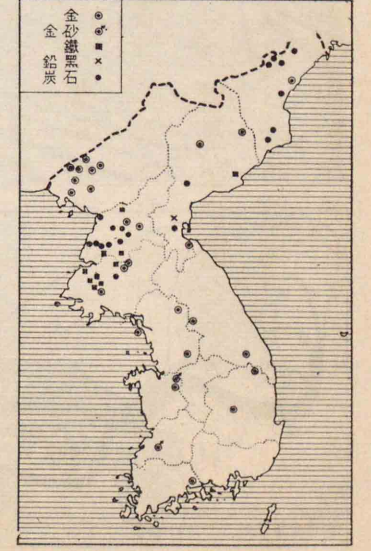
一般に常設の店舗が少く、定期市を開いて賣買する風が盛に行はれる

朝鮮の貿易總額は内地との取引額を合せて約十二億圓に達する

殷栗 鐵山の露天掘



の産が多い。〔二〕鑛産には金・銅・鐵・石炭・鉛等があり、中にも金と石炭とは産出額が最も多い。〔三〕近海は水産に富み、日本海の明太魚・鱈・鯨、朝鮮海峡の鱈・鯖・鯛、黄海の石首魚は殊に著しい。また西海岸の廣梁灣には



天日製鹽が行はれてゐる。〔四〕工業は從來機業窯業等の手工業が多少行はれるに過ぎなかつたが、近年製鐵・製鍊・製紙・肥料製造等の事業が漸く興つて來た。〔五〕貿易は米・豆類・水産物・棉金等を内地に送り、米人蔘等を中華民國に輸出し、綿織物等の加工品及び栗・鐵石・炭石・油・砂糖等を内地または中華民國から仰ぐ。

交通 陸上交通は古來轎や馬によつてゐたが、

鐵道は四呎八吋半の標準軌道である

朝鮮の鐵道圖

航空路によれば東京を朝出發すると夕方京城に到着することが出来る

釜山・下ノ關間の連絡船は八時間、釜山・京城間は急行列車で約十時間を要する

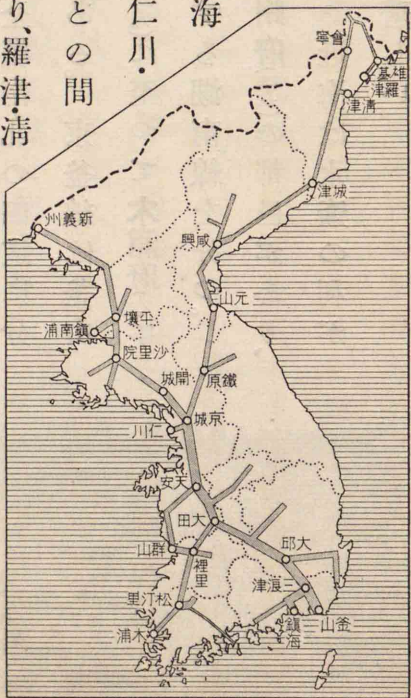
釜山には内地人の在住者が四萬以上に及ぶ

今は京・釜・京・義の鐵道幹線が半島を縦走し、これから京・元・線・湖・南・線等を分岐して大いに便利となつた。海運には關釜連絡航路の外、仁川・釜山・元山等と内地の諸港との間に汽船の往來が頻繁になり、羅津・清津・雄基は滿洲國の門戸として重大な意義を有するやうになつた。

第三節 處 誌

朝鮮を分けて、南部・中部及び北部の三地方とする。

南部地方 南部は最もよく開けた地方で、人口が稠密である。その東半は慶尙南・北二道の地で、洛東江口の東に釜山府（ハミ）がある。ここは内地との交通の門戸に當り、半島第一の開港場で、米の移出が極めて盛である。その附近に東萊及び海雲臺の溫泉がある。また西



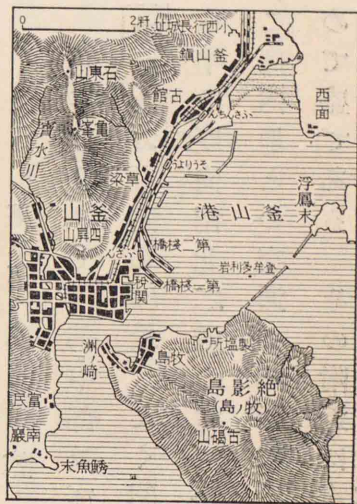
馬山は昔の朝鮮街道の起點で、ここから京城に通ずる道路に沿って都市が発達してゐた

釜山附近

大邱の東方にある蔚山灣は捕鯨船の根據地であり、蔚山は定期航空機の發着場である

大邱の大市

公州の北方には明治二十七八年戦役の戦場である成歡がある



方に要地馬山府(三三)がある。これに隣る鎮海(三〇)は海軍の要港で、巨濟島を前に控へる自然の良港である。洛東江流域の中央にある大邱府(二〇七)の東にある慶州

(三三)は新羅の舊都で、附近には史蹟が多い。南部の西半は忠清南北、全羅南北の四道に分れ平野が廣く、農業が盛である。京釜線は釜山に起り、大邱を過ぎ、大田府(三九)に至つて木浦府(六二)群山府(四三)の二開港場に通ずる湖南線を分つ。平野の中には公州及び全州府(四三)の都邑があり、公州附近には棉を産する。近海は水産の利が多く、濟州島の近海が殊に著しい。



龍山は京釜・京義・京元三線の集中する處で、またここには第二十師團司令部がある

京城市街

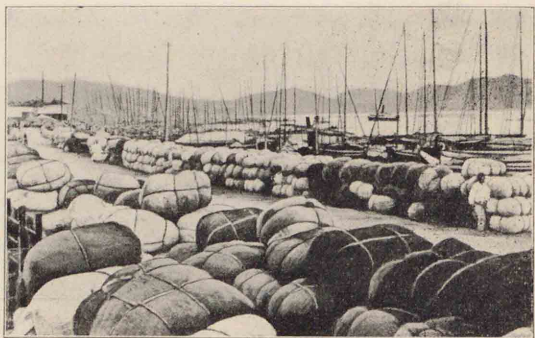
京城の南方に當る水原に高等農林學校がある

仁川港

仁川では潮汐干満の差が十米に及ぶ

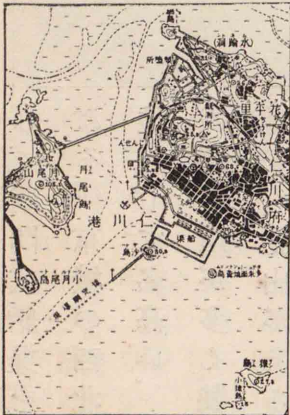
木浦港の棉花積出

京城に高等法院・醫學專門學校・法學專門學校・高等工業學校・高等商業學校があり、また朝鮮神宮がある



中部地方 中部は京畿・黃海・江原三道の地で、漢江がその間を流れてゐる。江に沿ひ、北・漢山と南山との間の小盆地を占めて朝鮮の首都京城府(四四)がある。市街は規模が壯大で、總督府李王家の宮殿等があり、西南部の龍山は交通上の要地で、朝鮮軍司令部が置かれてゐる。また府には京城帝國大學がある。京城から鐵道によつて西に向へば海岸に仁川府(八三)

がある。朝鮮第二の開港場で、港は潮汐干満の差が著しい



載寧及び殷栗の鐵鑛は九州の八幡製鐵所に送られる

仁川港

前頁の地圖と對照せよ

平壤は文祿の役及び日清戰役の戰場で史蹟が多い



ので、閘門式船渠を設けて、汽船の碇泊を便にしてゐる。京城の西北にある開城府(五六)は人蔘の栽培地として名高い。その西北にある載寧の附近は鐵鑛の産が多く、製鐵業が興つてゐる。北方には遂安の金山がある。

京畿道の東に隣る江原道には大白山脈が横たはつてゐるので、都邑が少い。山中の金剛山は風景の壯麗朝鮮第一と稱せられ、夏季と秋季とは探勝するものが甚だ多い。

北部地方

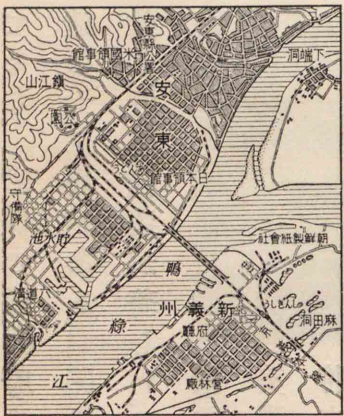
西半の平安南北二道は黄海斜面に位置し、大同江がその南部を潤す。江の西岸に平壤府(ハミ)の舊都がある。水陸交通の要點に當り、開市場で物資集散の大中心である。その附近には石炭を産し、兵器・煙草・砂糖・セメント等の工場がある。大同江を下れば平壤の外港鎮南浦

鎮南浦は盛に米を集散する

雲山の金坑はアメリカ人が經營してゐる

兼二浦の製鐵所

新義州

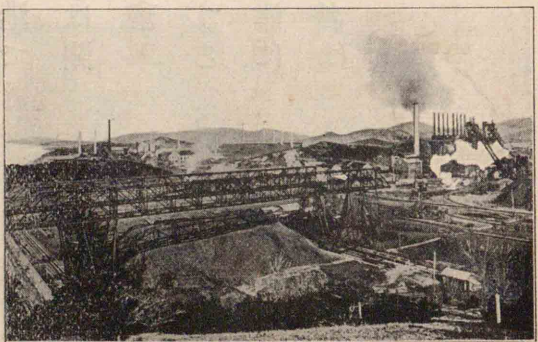


府(五)の開港場があり、その東の兼二浦には製鐵所がある。その西の廣梁灣には天日製鹽が行はれる。平壤の北方には産金地が多く、雲山は我が國第一の金山である。

鴨綠江に臨む新義州府(五八)は滿洲國の安東に對する國境の開港場で、木材を集散し、また製材・パルプの工場がある。京義線は、鴨綠江の鐵橋によつて、滿洲國の安奉線に連絡する。

北部の東半にある

咸鏡南北の二道は日本海に臨み、山がちで、海岸地方のみが稍、開けてゐる。その南端に元山府(六〇)の開港場があつて、永興灣に臨み、牛と明太魚とを集散する。京城との間に京元線を通じ、咸鏡線はこゝから北進し



羅南に第十九師團司令部がある

興南の肥料製造工場

羅津港

會寧には陸軍の飛行場がある

豆満江岸には石炭の埋藏が多い



てゐる。沿線の咸興府(五七)は名邑、興南(四〇)には肥料製造の大工場がある。開港場清津府(五八)はその東北に位し、近年發達が著しい。その西南方に軍事都市羅南(三五)がある。東北の羅津(三三)は築港中で、滿洲國の門戸として將來を囑望されてゐる良港である。その東北の雄基(二七)は開港場である。豆満江岸の會寧(三三)は滿洲國の間島省に通ずる要地である。咸鏡線は清津に於て北鮮鐵道に連絡し、後者は滿洲國の京圖線に連る。



第三章 關東州(租借地)

面積 約三四六〇方軒

海岸は概ね遠淺で干潟が廣く、且つ空氣は乾燥して蒸發力に富んでゐるから天日製鹽に適する

降水量は年六〇〇耗に過ぎない

倉庫内の豆粕

關東軍司令官を置いて關東州の防備を掌らせる

位置地形

關東州は滿洲國の南端に位し、東南は黃海に、西北は渤海灣に臨み、南は直隸海峽を隔てて、中華民國の山東半島に對してゐる。その面積は我が伊豆半島のほゞ二倍に當る。一般に丘陵性で、海岸は出入が多く、大連灣は南から、金州灣は西北から彎入して、金州地峽を作つてゐる。南端に旅順の良港がある。また東方の海上には長山列島が横たはる。

氣候

夏の暑さ冬の寒さ共に厳しく、冬季には海水の凍結する處がある。雨量は夏季の雨期の外は極めて少い。

政治産業

我が國はこの地方を租借し、關東州廳を置き、關東州廳長官をして行政を統べしめてゐる。人口は約百十餘萬、その大部分は支那民族で、我が内地人は十五萬に過ぎない。陸には玉蜀黍、高粱、大豆を産し、豆粕、豆油の製造が行

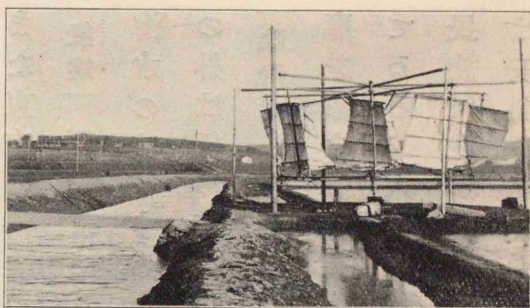


鹽田の風車
海水を汲み上げ、自然力利用に對する支那人の巧妙な創意が現れてゐる

大連市

街路は放射状をなし、その焦點に中央廣場がある、港灣の設備も整ひ新興の近代都市としてその發展が目覺ましい

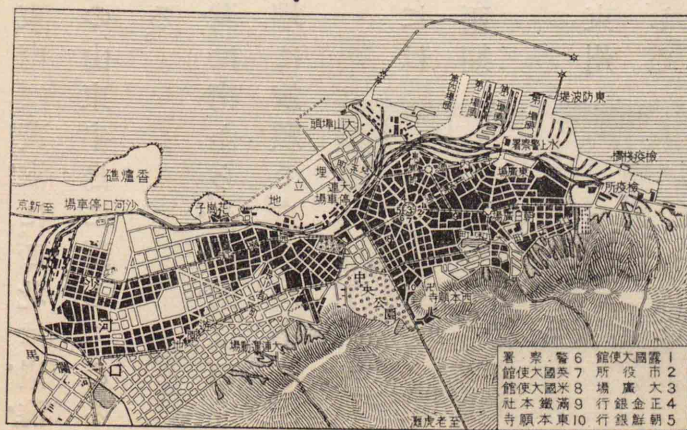
大連港の埠頭は東洋第一といはれ、船岸壁延長四三百米、繫船區數三十七區で三千噸級の船が一時に三十隻入られるやうになつてゐる



はれ、沿海には天日製鹽及び漁業の利がある。
交通 南滿洲鐵道は大連から起り、東北に進んで滿洲國の南部を貫き、支線を旅順に通ずる。また金州から東北方に向つて金福線が出てゐる。汽船は大連を起點として内地、朝鮮及び中華民國の諸港との間を往來する。

都市

大連市 (三三) は大連灣岸の開港場で、滿洲國の門戸に當つてゐる。市街は道路が廣くてよく整ひ、壯大な建築が多い。港内には大埠頭があり、大船の繫留に便利である。内地との移出入が盛に行はれ、内地



面積
約二一五〇方料

産の綿織物小麥粉機械等はこの港を経て滿洲國に供給され、滿洲國産の豆類・豆粕・石炭・銑鐵等はこの港から内地へ積み出される。南滿洲鐵道會社はこゝに本社を置き、滿洲國に於ける鐵道・鑛山その他各種の經營に力め、その事業の發展が著しい。

金州は大連の北方にある純支那風の市街である。**旅順市** (三三) は丘陵に包まれた天然の要害で、海軍要港をなし、關東州廳・高等法院・工科大学等がある。この地は明治の二大戦役に激戦の行はれた處で、二百三高地・東鷄冠山等は戰蹟としてその名が高い。

第四章 南洋諸島

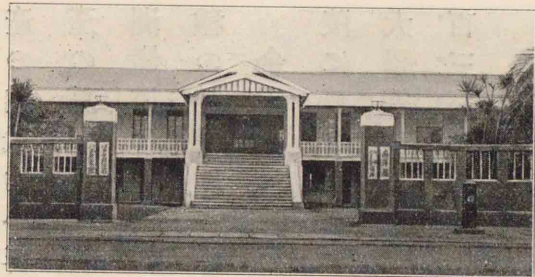
總説

南洋諸島は太平洋の西北部に位し、東西約四千五百料、南北約二千四百料の間に點々散在してゐる。カロリン諸島はその中央部に位し、北にマリヤナ、東にマーシャルの諸島がある。その全面積は東京府とほぼ等しい。

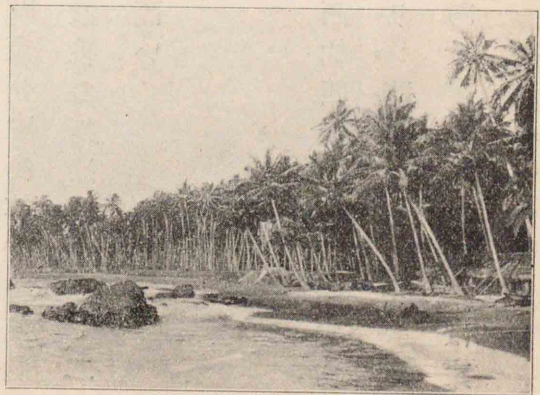
海岸に密生したココ椰子

南洋 廳

チャモロ人は主にマリヤナ諸島に住み、カナカ人はその他の島に多い



諸島は珊瑚島または火山島から成り、全部熱帯に位して気温が高く、年平均二十七度に及ぶ。しかし、海風が常に吹き降雨が多いから、暑気が緩和される。ココ椰子は到る處に栽培され、コブラは重要な産物となつてゐる。また甘蔗の栽培が近年著しく盛になつた。その他燐礦、鉬原料の蝶貝高瀬貝等の産がある。



住民はチャモロ人とカナカ人とが主なもので、カナカ人は特に文化の程度が低い。人口は約十萬で、内地人は四萬に上つてゐる。

これらの諸島はもとドイツ領であつたが、世界大戦の際我が海軍が軍事的に占領し、戦後は我が國がその統治

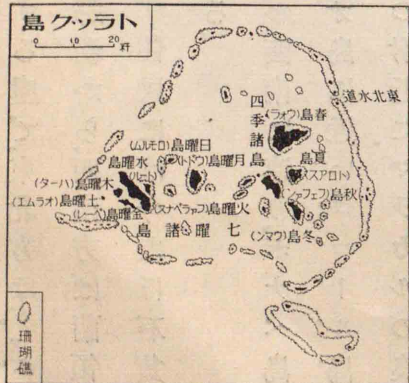
を行ふことになり、コロール島に南洋廳を置き、南洋長官がその行政を統べてゐる。我が國は土人の文化開發と産業の發達とに力め、その成績は大いに見るべきものがある。

マリヤナ諸島

小笠原諸島の南方に連り、僅に弧狀を畫く火山列島で、南部の諸島には隆起珊瑚礁がよく發達してゐる。そのサイパン島及びテニアン島には、統治後初めて甘蔗と棉との栽培が行はれ、砂糖は今や南洋諸島第一の産物となつてゐる。サイパン島にあるガラパンはマリヤナ諸島の主邑である。

カロリン諸島

火山島と珊瑚礁とから成り、ポナペ島が最も大きく、グサイエ島がこれに次ぐ。ポナペ島では年降水量が三千九百耗以上に達する。トラック島は南洋諸島の中央に位し、珊瑚礁に圍まれた廣い礁湖の中に火山島が散在し、中に良錨地がある。西部のヤッ



最南島のグワム島はアメリカ合衆國の領地で、その太平洋に於ける貯炭所としてまた北太平洋横斷海底電線の中繼所として重要である

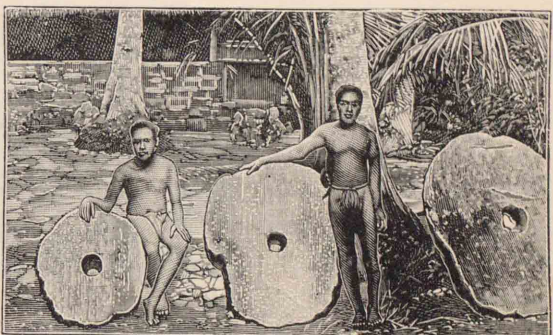
グム島南方の海
淵は深さ約九八一
四米に及ぶ

石 貨

石貨の大きな
ものは直径一
米以上に及ぶ

燐礦は海鳥糞が珊
瑚石灰岩に作用し
て出来たもので、
この島では厚さ六
米に及び總量約三
百萬噸と稱せられ
る

ジャボールはドイ
ツ領時代南洋貿易
の中心となつてゐ
た處である



瀬貝の産が多い。

マール諸島

東南より西北に並走するラリック・ラタックの二列の珊瑚礁脈から成り、そのヤルト島にはジャボールの良港がある。諸島にはコプラの産が多く、南洋諸島中の主産地である。

プ島は海底電線が集中する處で、東北方はグム島から、西北方は沖繩の那覇から、西南方は蘭領東インド諸島から来る。住民には今なほ石貨貝貨を用ひる奇風がある。

パラオ島はトラック島の西南に連り、ボナペ島に次いで大きい。パラオ島に近いコロル島には南洋廳が置かれ、その附近にマラカルの良港がある。南端のアンガウル島は燐礦の産出が夥しく、重要な富源である。近海には蝶貝・高

兩山系の相會する
處の地幅は約二百
四十軒に及ぶ

中部地方では山嶽
が高峻を極め、海
抜三千米以上に及
ぶものが少くない

第二篇 括論

第一章 地文

第一節 地形

山系

日本列島を造る山系の主なものは南彎・北彎の二つである。

北彎は樺太から南に延びて、北海道本島を貫き、本州の奥羽・關東を過ぎ、中部地方に至る。南彎は二列から成り、一は臺灣から琉球列島を經、九州・四國近畿の南部を過ぎて、中部地方に至り、一は九州の北部から中國を経て、近畿の北部を過ぎ、中部地方に至る。朝鮮半島では、その北部は高臺になつてゐて、南部には大白山脈が縦走してゐる。

南北兩彎の山系に沿うては、火山が處々に噴出して火山脈を造つてゐる。即ち那須・火山脈は北彎山系の中軸を走り、更に東北には千島・火山脈があつて、千島列島から延びて、北海道本島に及び、霧島・阿蘇

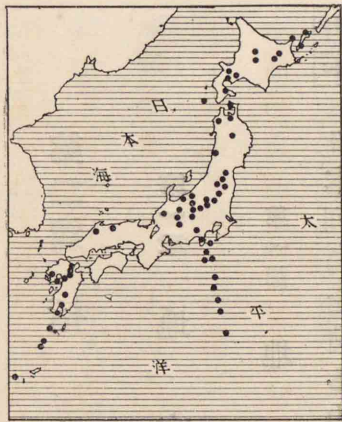
新高山	三九三〇
次高山	三九三〇
富士山	三七七六
白峯山	三三九〇
鈴ヶ嶽	三三〇〇
赤石嶽	三三〇〇
穂高嶽	三〇六三
御高嶽	三〇六三
乘鞍嶽	三〇六三
立馬嶽	二九二二
白馬嶽	二九二二
藥師嶽	二九二二
五郎嶽	二九二二
鷲羽嶽	二九二四

我が國の山系及び火山脈

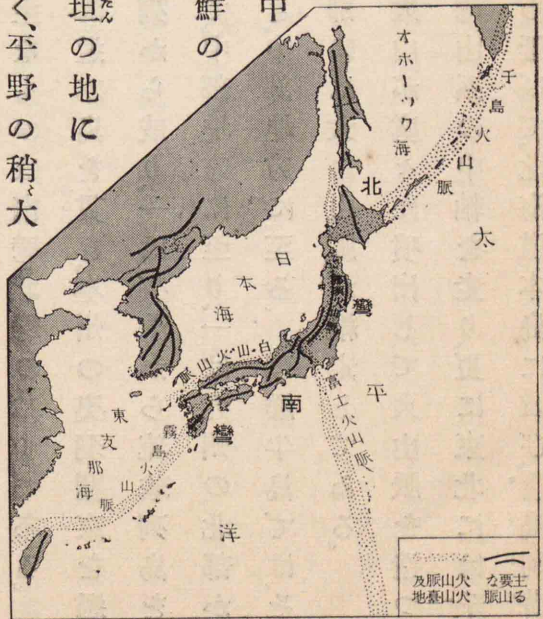
富士火山脈以北を北日本と稱し、以南を南日本と稱する

我が國の火山分布圖

我が國は世界で有名な地震國である



の二火山脈は南彎山系に沿うて走る。しかし富士火山脈のみは、これらと全くその趣を異にし、南彎北彎兩山系の間を走り、遠く南方太平洋中のマリヤナ諸島に連る。朝鮮の北境には白頭火山がある。我が國は到る處山がちで、平坦の地に乏しく、平野の稍大



きなもの、は僅に海岸地方と大河の沿岸とに見るのみである。本州の關東・濃尾・大阪・越後等の平野、九州の筑紫平野、臺灣西部の平野、北海道の石狩平野並に朝鮮の湖南平野等はその主なものである。

鴨綠江	七〇〇
洛東江	五〇〇
豆満江	五〇〇
漢江	五〇〇
大同江	四〇〇
錦江	四〇〇
石狩川	三〇〇
信濃川	三〇〇
利根川	三〇〇
臨江	三〇〇
北上川	三〇〇
木曾川	三〇〇
最上川	三〇〇
十勝川	三〇〇
阿賀川	三〇〇
淀川	三〇〇

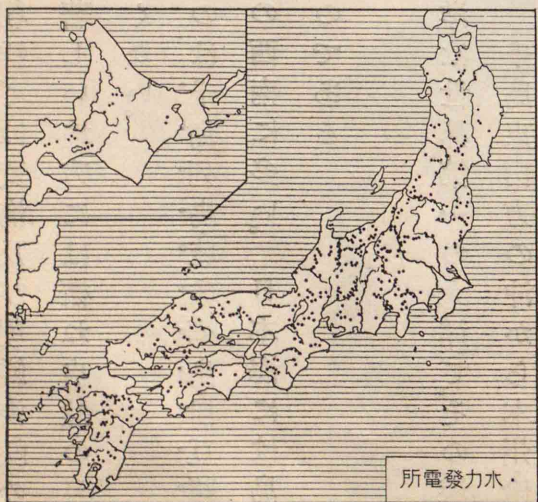
本州の太平洋斜面を表日本と稱し、日本海斜面を裏日本と稱する

内地の水力發電所分布

水系 日本列島では、主な山脈はほぼその中央を長く走つてゐるから、水系はその左右の兩斜面に分れ、河川は一方は太平洋に、一方はオホーツク海・日本海・東支那海・臺灣海峡に流れる。南日本にはこの他に瀬戸内海に入る水系がある。朝鮮半島では日本海・朝鮮海峡・黄海の三斜面に分れる。

我が國の河川は地形の關係上、長大なものが少く、また多くは急流になつてゐるから、舟運の利が少い。しかし、水量が豊かで、灌漑の便は少くない。また水力の利用も盛になり、發電所が到る處に設けられてゐる。

海岸線 我が國の諸島は概ね海岸線の出入に富んでゐる。九州はその第一に位し、本州・四國・北海道・本島・樺太が



我が國の島の數は
四千三百餘に及ぶ

最近の測量により
日本海溝の六千米
より深い溝が著し
く狭くなつたのを
發見した

日本海溝の最も深
い所は九四三五米
に達する
タスカロラ海淵の
深さは富士山の高
さの二倍以上であ
る

これに次ぎ、臺灣が最も劣つてゐる。朝鮮では黄海及び朝鮮海峡の沿岸に出入が多い。海岸線の出入の著しい地方には概ね自然の良港が多く、人文の進歩を促すことが少くない。

島嶼 島の中で列島になつてゐるものは千島列島・琉球列島・伊豆諸島等で、群島は瀬戸内海、九州の西、朝鮮の西南に多い。日本海には島が少く、佐渡・隱岐・對馬等はその主なものである。

第二節 海 洋

沿海 日本列島の東に横たはる太平洋は世界第一の大洋で、その深さは我が國の近海に於て殊に著しい。千島東南方の沖から本州・伊豆諸島の沖にかけて、有名な日本海溝があつて、その最深部は、伊豆諸島の東方に於て九千米以上に及ぶ細長い溝を造り、また千島の東南方には深さ八千五百十四米のタスカロラ海淵があることは夙に知られてゐる。南洋諸島の間にはまた九千米以上に及ぶマリヤナ海溝が横たはつてゐる。

我が國近海の
深淺圖

瀬戸内海の海面が
もし四十米内外も
下れば、本州・四
國・九州は全く連
絡して一大島とな
るであらう

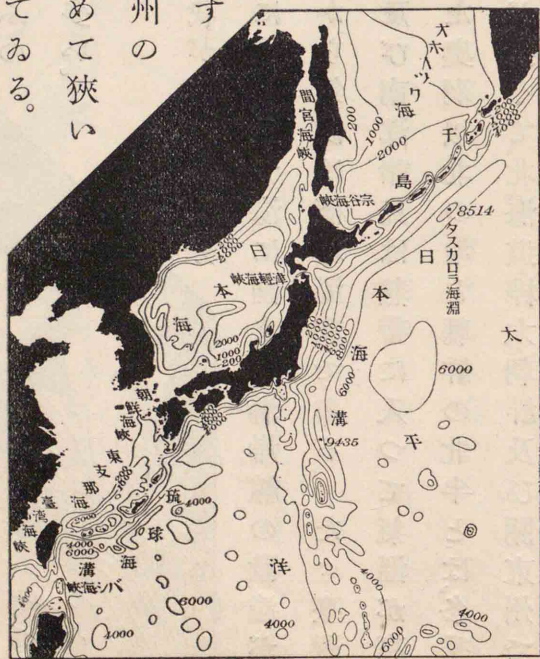
海流の水溫(夏)

日本海流 二七度

千島海流 一六度

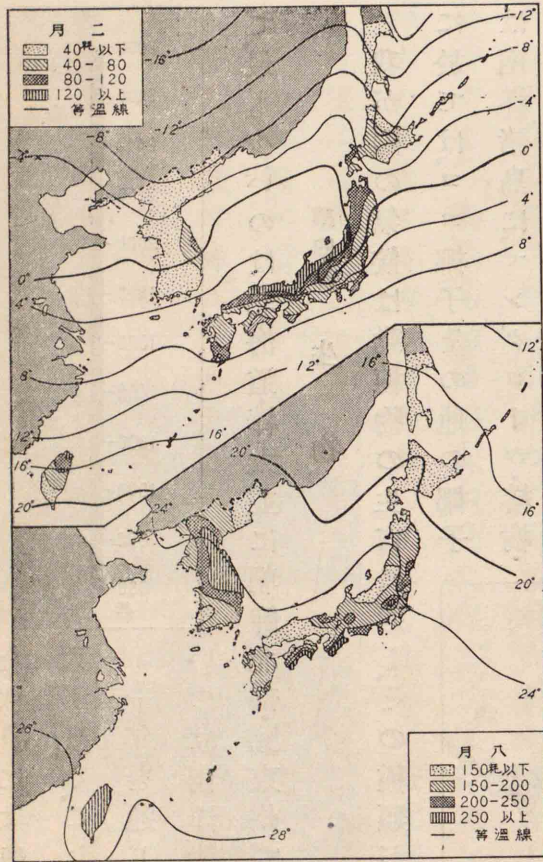
北海道の近海は寒
暖兩海流が相觸れ
る處で、その影響
によつて海霧が多
く、海岸地方に於
ける農作物の生育
を妨げる

列島と大陸との間に横たはるオホーツク海・日本海・東支那海は、間宮海峡・宗谷海峡・朝鮮海峡等によつて順次に相連り、日本海はまた別に津輕海峡によつて太平洋に通ずる。瀬戸内海は本州・四國・九州の三大島に挟まれた淺海で、極めて狭い瀬戸(海峡)によつて外海に連つてゐる。



海流 海流の主なものには日本海流及び千島海流である。日本海流は赤道近海から來る暖流で、臺灣・琉球に沿ひ、九州・四國・本州の南を流れ、東北の洋中に轉ずる。その海水が濃い藍色を呈してゐるので、黒潮ともいふ。黒潮の一派は對馬海峡から日本海に入り、本州及び北海道本島の海岸に沿うて流れる。これを對馬海流といふ。

我が國の雨量
等温線圖



季節を定めて規則正しく吹いて来る風を季節風といふ

は海水の凍結する處がある。
風 夏は東南季節風が卓越し、冬は西北季節風が卓越する。また八、九月頃には西南から颱風や豪雨が襲つて來て、農作物を害し、洪水を起すことが少くない。

雨雪 降水量は風向との關係が深い。夏季東南季節風の送つて來る濕氣は、九州・四國・本州の南海岸に多量の雨を降らし、冬季西北季節風の送つて來る日本海の濕氣は、本州の日本海岸地方に多量の雪を降らす。ま

千島海流は海水が淡綠色を呈してゐる

我が國近海の
海流圖

各地の氣温

北に向ふほど較差の大きいことに注意せよ

氣温の高極

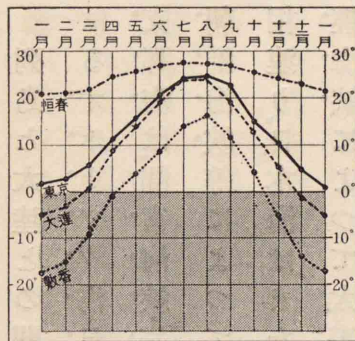
元山 元・六度

新潟 元・二度

氣温の低極

落合 零下四・六度

中江 零下四・六度

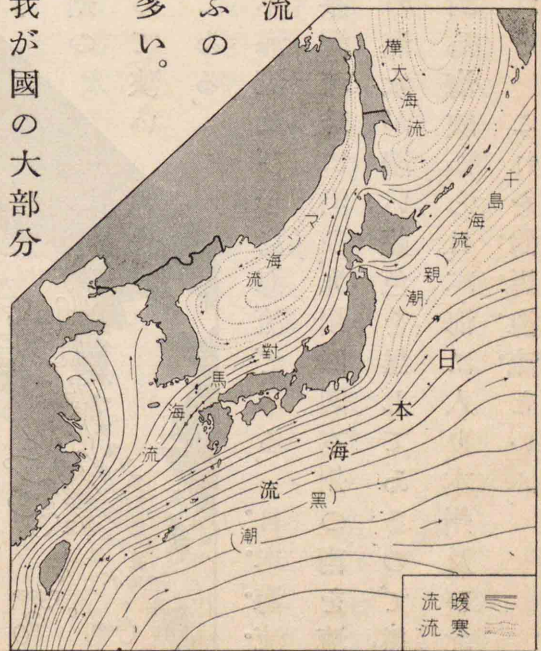


第三節 氣候

氣温 我が國の大部分

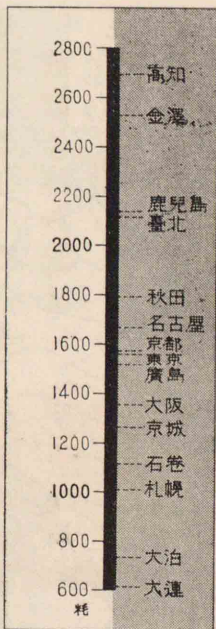
は温帯に位し、且つ海に圍まれ海岸線の發達が著しいから、氣候は概ね温和である。たゞ臺灣の南半及び南洋諸島は熱帯に入つて、氣温が高い。また奥羽以北の地と朝鮮の北半とは、冬季の寒さが強くて、北海道・樺太・朝鮮及び關東州で

千島海流は北方カムチャツカの近海から千島に沿うて流れる寒流で、親潮ともいひ、北海道本島の南岸から奥羽の東岸を洗ふ。この寒暖二流はそれ／＼特有の魚類を伴ふので、我が近海には水産の利が多い。



各地の雨量

梅雨は田植を助けるので稲作にとつては大切な天恵である



で、最も少いのは北海道・樺太並に朝鮮北部・關東州である。

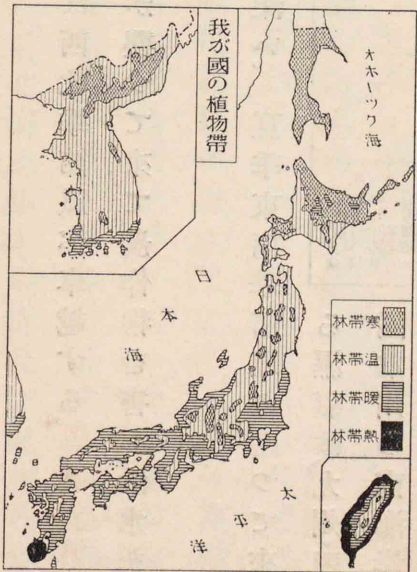
た六月には奥羽以南の地に雨天が多く、これを梅雨と稱する。一年を通じて雨量の最も多いのは南洋諸島・臺灣・琉球諸島

第四節 生物

氣温と生物及び雨量と生物との關係は密接で高温多雨地には一般に動植物が多い

我が國の植物帯

我が國の氣候は動植物の生育に適し、その種類が甚だ多い。南部に於ては、ココ椰子その他の椰子は南洋諸島に、マンダローヴ・榕樹へゴ・檳榔・蒲葵等は南洋諸島から臺灣・琉球に多い。またこれらの地方には甘蔗・バナナ・パイナップル等を産する。特有の動物には、臺灣に穿山甲・コブラ、琉球にハブ等



植物は高さによつても變化し臺灣の高山では麓から頂上に行くに従ひ熱帯から寒帯までの植物が見られる

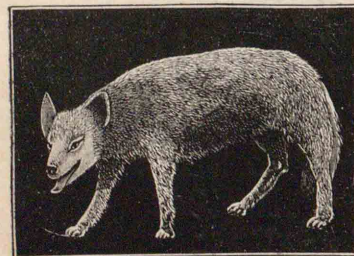
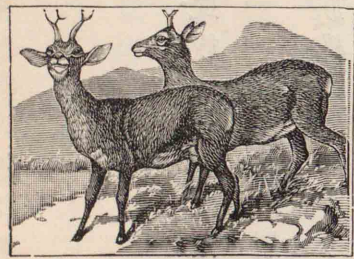
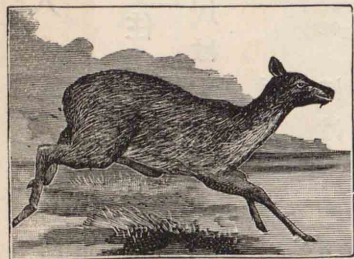
がある。またその近海及び南洋諸島には珊瑚礁が多い。

九州・四國・本州には赤松・黒松・檜・杉等の森林がよく發達し、中部の山地から奥羽の平地にかけてはブナが多く、また高山には偃松がある。動物の種類も多く、中には世界に珍しいハンザキ等がある。

津輕海峽は動植物の分布上著しい境界をなし、その北には蝦夷松・落葉松等の森林を見、本州の高山にある偃松は樺太・千島では低地に繁茂する。動物も猿は海峽以南に限られ、熊は以北の特産である。

樺太の動物には大陸産のものが多く、山猫・麝香鹿・馴鹿等をり、近海には獵虎・臘肭獸・海豹等の海獸が棲み、

昆布が繁茂する。朝鮮には内地に見ない虎・狷・獐・ヌクテ等を産する。

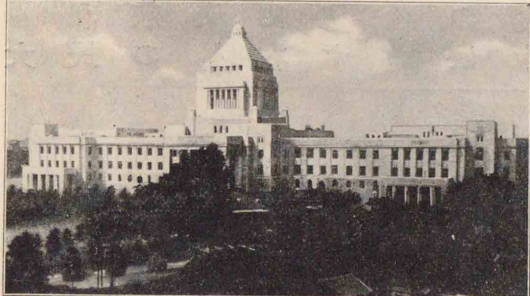


麝香鹿(上) 獐(中) ヌクテ(下)

獐は鹿の類である

國會議事堂
近世式の建築
様式で地下階
共四層から成
り中央塔の高
さは六十五米
に及び東京で
の最高の建物
である

府縣の下には更に
市・町・村の自治團
體を置き、北海道
には市・廳を、樺太
には支廳を、臺灣
には州・廳を、朝鮮
には道・府・郡を置
く



第二節 政治

國體政體 我が國は上に萬世一系の天皇を戴く立憲君主國で、國體の美は世界にその比を見ない。

政治の機關は立法行政司法の三部に分れてゐる。

〔立法部〕帝國議會は貴族院・衆議院の二部から成り、主に法律案、歳入の豫算案等を議する。

〔行政部〕中央政府は内閣を主腦とし、別に外務内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・遞信・鐵道・拓務の十二省がある。内閣總理大臣はこれら各省の長官たる大臣と共に内閣を組織して政務を統轄する。地方行政は全領域を三府・四十三縣・北海道・樺太・臺灣・朝鮮・關東州・南洋諸島とし、府縣に知事、北海道樺太關東州南洋諸島に長官、臺灣・朝鮮には總督を置いて各、その地方を治めてゐる。

控訴院所在地
東京・大阪・名古屋・長崎・仙臺・札幌

我が國の軍備

我が海軍は戰艦及び巡洋艦約四十隻を始として數多の驅逐艦・潜水艦・航空母艦等を有する

列國の海軍力比較

近年兵器の進歩が著しく、飛行機・航空船・潜水艦等の施設が益々盛である

〔司法部〕裁判所は訴訟登記等のことを掌り、區裁判所・地方裁判所及び控訴院を各地方に分置し、最上級の大審院を東京に置く。臺灣・朝鮮・關東州・南洋諸島にはまたこれに類する特別の裁判所がある。

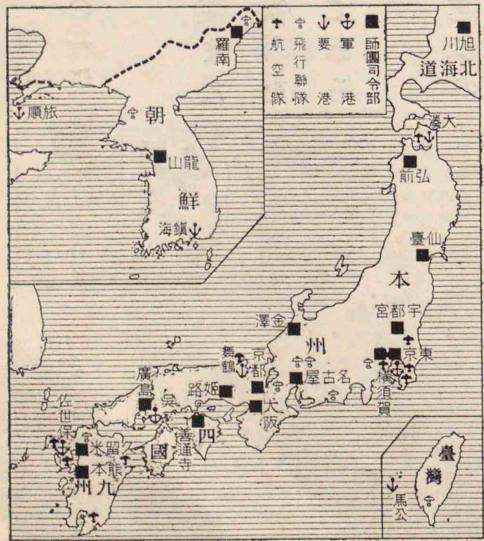
〔兵制〕陸軍には參謀本部があつて、國防用兵のことを掌り、内地に十四箇師團を配置し、帝都には別に近衛師團を置き、また朝鮮に二箇師團、臺灣・滿洲國・中華民國の要地には守備兵を置いてゐる。

海軍には軍令部があつて、國防用兵のことを掌り、

兵のことを掌り、横須賀・吳・佐世保の三軍港があり、また大湊・舞鶴・鎮海・馬公・旅順の五要港がある。

我が陸海軍の

國名	噸數			噸數			
	1	2	3	4	6	8	10
日本	1	2	3	4	6	8	10
アメリカ合衆國	1	2	3	4	6	8	10
イギリス	1	2	3	4	6	8	10



大使派遣國	イギリス
フランス	イタリヤ
ベルギー	ドイツ
ソヴィエト聯邦	トルコ
アメリカ合衆國	ブラジル
滿洲國	中華民國
我が國の學校分布圖	
校數 生徒數	
高女	九〇 三七一
師範	一〇〇 三三三
中學	五〇〇 三三七
實業	一〇〇 三三六

神社には神宮の外に、官幣社・國幣社・府縣社等の社格がある

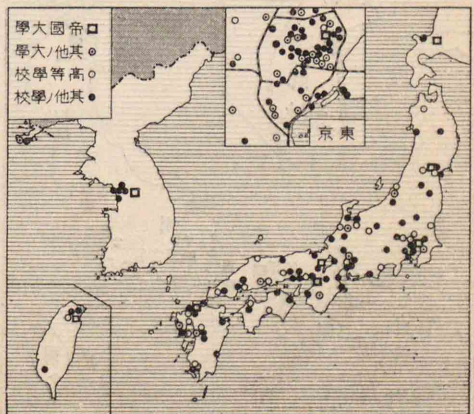
精銳なことは明治以來數回の大戦役で世界に知られ我が國は現に世界三大強國の一に列してゐる。

外交 我が修交國は四十餘國で、大使または公使を派遣して外交を修め、また領事を遣はし、主に通商のことを掌らしめてゐる。

第三節 教育神社宗教

教育 教育制度がよく整つて國運進歩の基をなしてゐる。普通教育には、全國に約二萬六千の小學校があつて、約一千萬の兒童を教養し、高等女學校及び師範學校・中學校が到る處に設けられてゐる。また臺灣・朝鮮・關東州には特殊の學校があつて、文化の向上に力めてゐる。

神社宗教 我が國民には皇祖・皇宗を始め、忠賢偉人を神として祭る風がある。神社は近畿地方に殊に多い。國民の多數は佛教を奉じ、



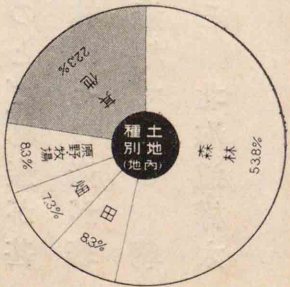
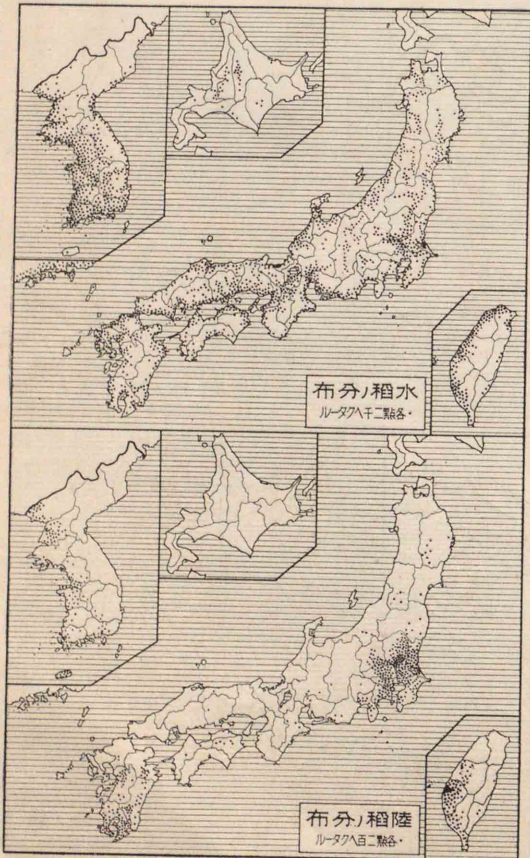
内地では近來人口の増加と生活程度の向上とのために米の消費額が増大し、年々朝鮮・臺灣及び外國から多量の移輸入を仰いでゐる

神道基督教を信ずるものがこれに次ぐ。

第四節 産業

農業 國民の多數は農を業とし、米は樺太を除き、これを産しない地方はない。米に次いで小麦類が多く、關東平野は殊に多量に産出する。南日本の温暖な地方には甘蔗

を作り、臺灣・沖繩等は最も盛である。茶は静岡・京都・三重及び臺灣等に産し、重要な輸出品である。養蠶は本州・四國・九州に行はれ、



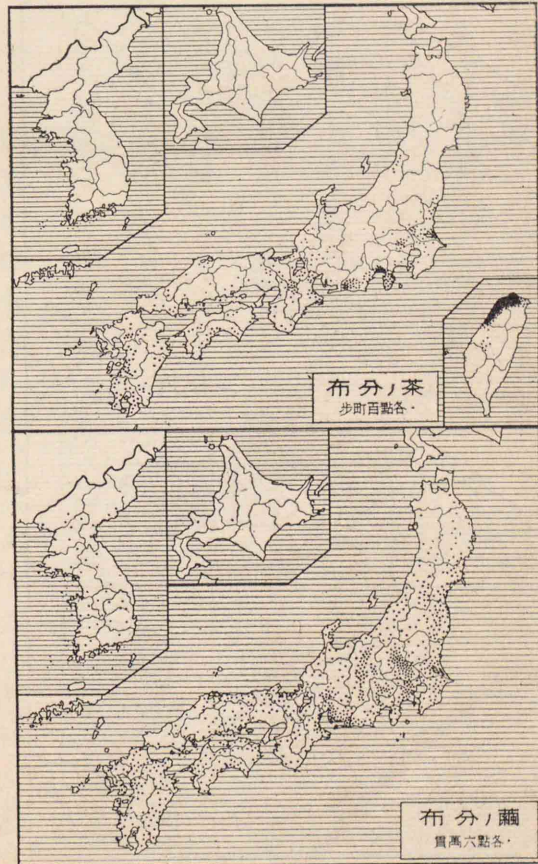
生絲は世界總産額の約六割を産出す

森林面積
内地 一、〇〇〇
朝鮮 一、六〇〇
樺太 一七〇
臺灣 一九〇

中部・關東は殊に盛である。牧畜は未だ盛ではないが、奥羽・九州・北海道には馬を牧し、中國・九州・朝鮮には多く牛を産する。

林業 日本列島

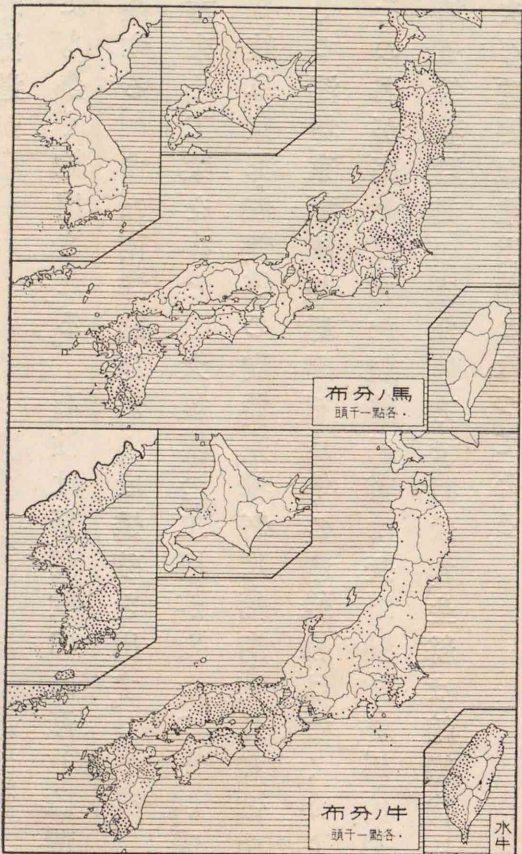
は山嶽の多いのと風土が植物の生育に適してゐるのとで、林産が甚だ多い。杉と檜とは主な木材で、秋田・木曾・吉野の森林はその産が著れてゐる。臺灣は樟に富み、世界に於ける樟腦の主産地である。朝鮮の鴨綠江・豆滿江の流域には針葉樹の大森林がある。北海道・樺太は林産が殊に多く、製紙の原料を供給する。



漁業者數 七八萬人
本業 七三萬人
副業 七三萬人
漁船數 三三・四萬
小型船 二・一
動力船 二・一
漁獲高 一一、〇〇〇萬圓
水産物の輸出額 二、〇七〇萬圓

水産 我が近海

は水産に富み、殊に北海道・樺太の近海には鯨の大群をなして來る處がある。またその河川には鮭・鱒の漁獲が多い。日本海流及びその



の分流に沿ふ處には鱈・鯉・鯛の産が多い。これらの水産物は食用肥料に供し、また多く中華民國に輸出する。瀬戸内海沿岸及び臺灣・朝鮮には製鹽業がよく行はれる。

鑛産

我が國は鑛産の種類に富むが、その産額は多くない。銅は金屬鑛産の首位を占め、足尾・別子・日立・小坂等は最も有名な銅山である。

鐵鐵の産は多くない
ので、鐵材その他製鐵原料は多く輸入を仰いでゐる

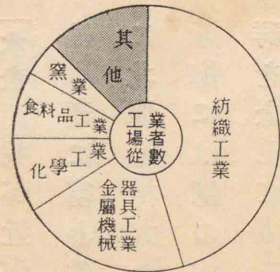
我が國の鐵・石油の需給關係

近時飛行機・自動車等の發達に伴ひ石油の需要が急激に増加した

石油も國內消費を充たすに足らず、米國・蘭領東インド等から輸入する

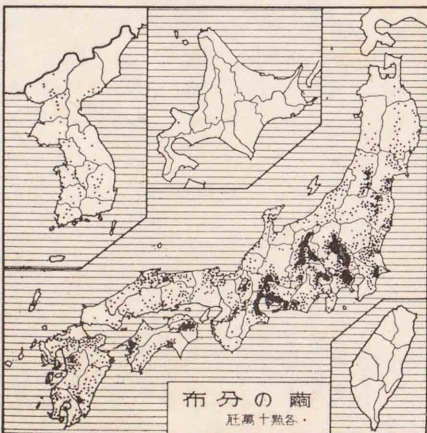
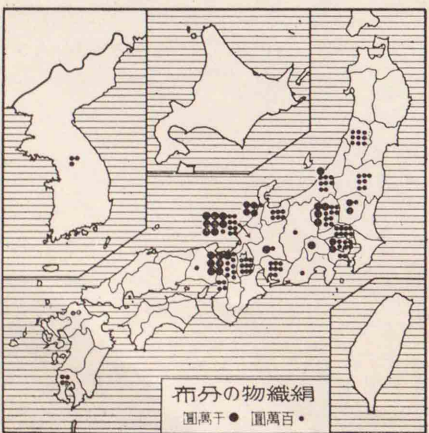
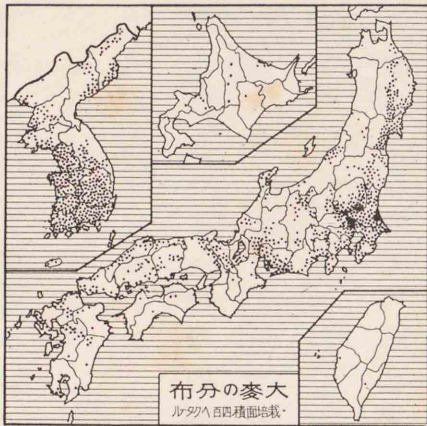
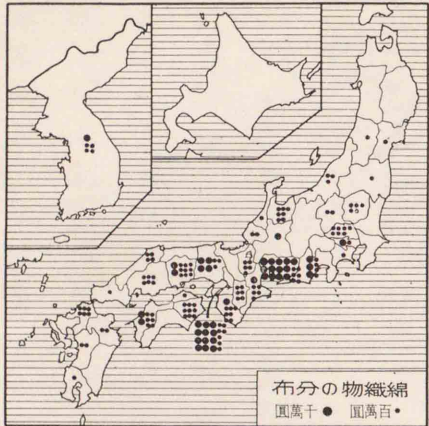
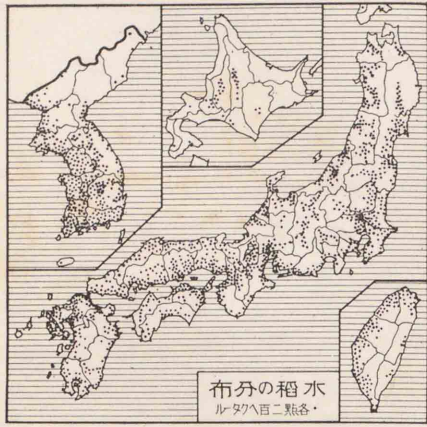
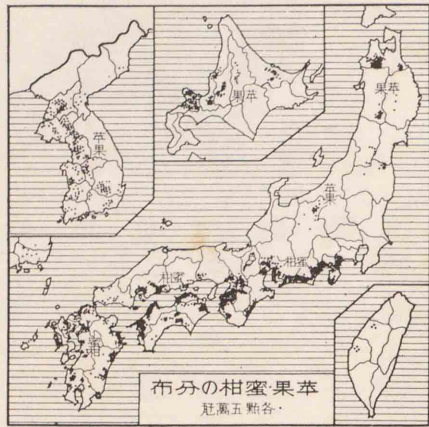
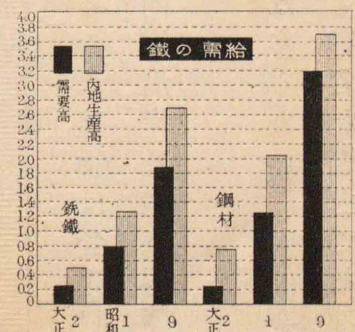
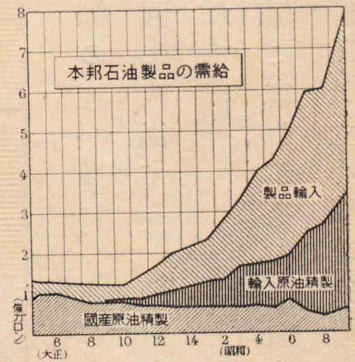
京都は美術工藝の中心として古來その名が高い

我が國の工場従業者數



また金鑛は朝鮮・臺灣・鹿兒島等に多く、鐵鑛は岩手・北海道・朝鮮等に産する。石炭は我が國鑛産の首位を占め、九州の北部は全産額の約五割を出し、北海道がこれに次ぎ、海外にも多く輸出される。石油は新潟・秋田に産し、硫黄は各地の火山に産する。また南洋諸島からは燐礦を出す。

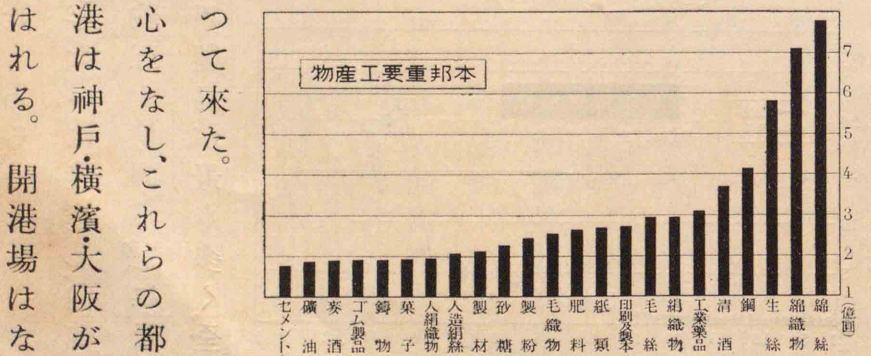
工業 我が國は古來小工業を事とし、大規模の工場がなかつたが、愛知・岐阜・京都・佐賀等の陶器、京都・石川・福島・愛知・和歌山等の漆器、京都・福井・群馬・石川等の絹織物は古くからその名が高い。また製絲工業は長野・愛知・群馬・山梨・埼玉等養蠶業の盛な地方で行はれ、生絲は綿織物に次ぐ重要な輸出品となつてゐる。



朝鮮では平壤を中心とする工業地帯が出来た

東京には我が國金融の中央機關たる日本銀行がある。また朝鮮には朝鮮銀行、臺灣には臺灣銀行があつて、各々その地方金融の中央機關になつてゐる。

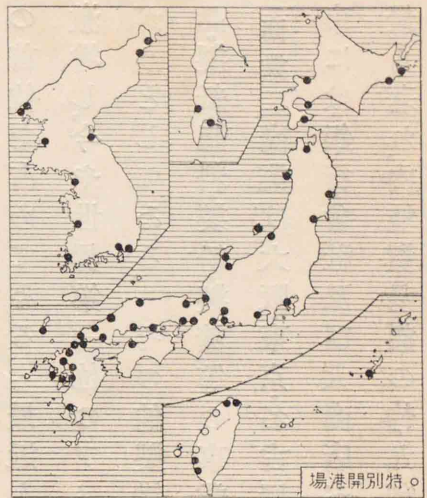
大工業の興つたのは明治の中頃以後であるが、石炭が豊富で、水力電氣に富み、優良低廉な勞力に恵まれて、今は世界の主要工業國となり、大阪灣沿岸、京濱地方、北九州、名古屋附近等に繁盛な工業地帯が勃興した。大工業の中で最も著しいのは綿絲、綿布の工業で、その製品は世界の隅々までも輸出され、今や綿織物は我が國輸出品の首位を占めてゐる。最近人造絹絲の産額が激増し、今や世界第一位のアメリカ合衆國を凌がうとしてゐる。その他製鐵、釀造、印刷、化學藥品、製紙、肥料、製粉、製糖等の事業も次第に盛になつて來た。



市には銀行、會社及び大商店が甚だ多い。貿易港は神戸、横濱、大阪が最も著れ、内地貿易額の約九割はこの三港で行はれる。開港場はな

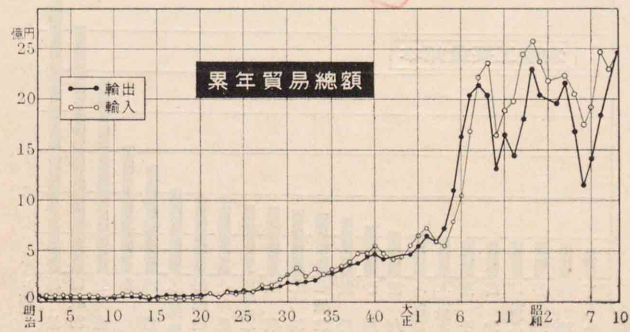
昭和十年の内地貿易總額は四十九億七千萬圓で我が國の最高記録を示し、而も二百七百萬圓の出超を示した。

開港場の分布



我が國貿易額累年比較

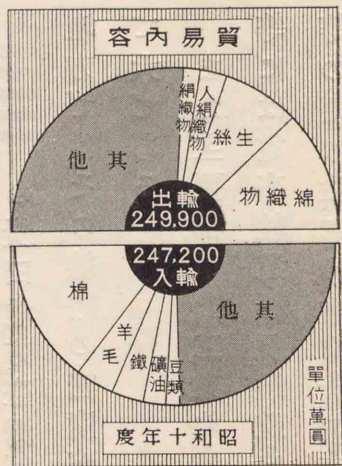
占め、インド・南洋・滿洲國・アフリカ等へ、生絲はアメリカ合衆國・フランス等へ、絹及び人絹織物はインド・オーストラリア・南洋・アメリカ合衆國等へ輸出される。機械・メリヤス製品・毛織物・砂糖・水産物は多く滿洲國・中華民國・南洋等に送られ、陶磁器はアメリカ合衆國に輸出される。さればアメリカ合衆國及び滿洲國・インド・南洋・中華



列島にある鐵道は軌道が狭いので運搬力が乏しく速度も大でない。

諸車數累年比較

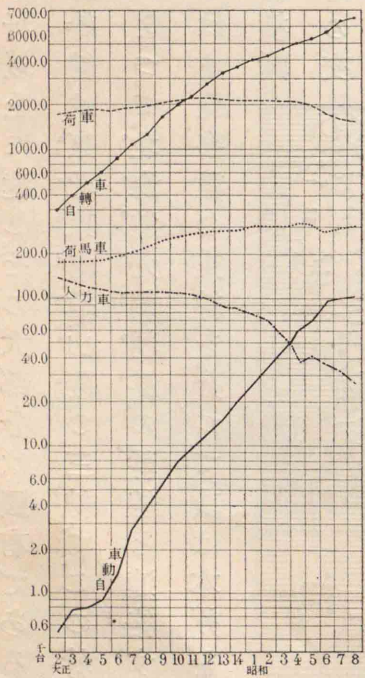
我が國の貿易内容



毛はオーストラリア・アフリカから、機械はアメリカ合衆國・ドイツから送られ、礦油はアメリカ合衆國・滿洲國から、ゴムは南洋から輸入する。

第五節 交通

陸運 鐵道は明治五年、東京横濱間に二十餘軒開通したのに始まり、今は全線

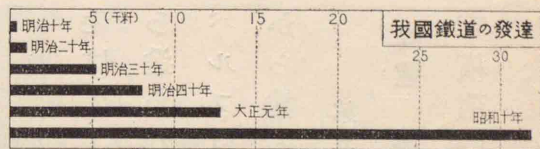


我が國鐵道の發達

近年東京附近の鐵道は大部分電化され、電氣機關車が用ひられてゐる

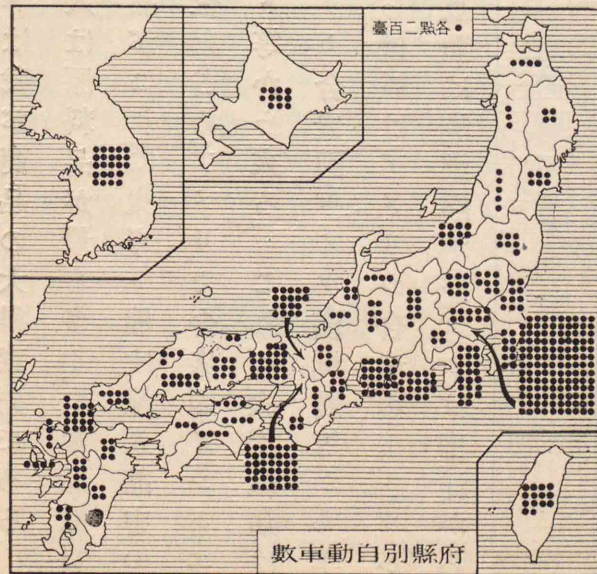
自動車の分布

内地の道路には國道・府縣道、市町村道の別がある



地方では、その線路の密度が極めて大である。

また主要都市や工業地遊覽地等には電車軌道輕便鐵道自動車等の便が益、開け、東京・大阪・福岡・京



數車動自別縣府

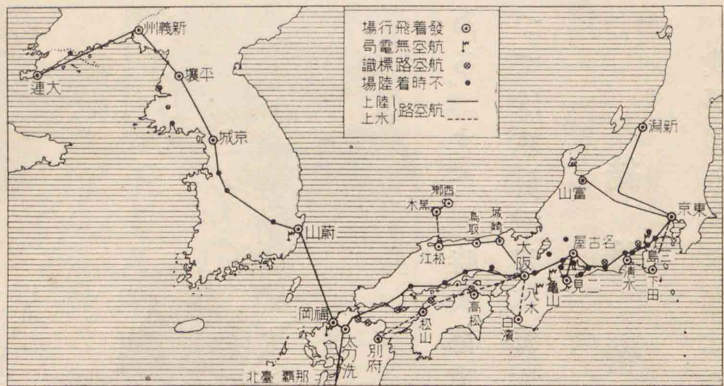
我が國の航空路

航空路によれば東京から大阪へ二時間半、京城へ二時間、大連へは十二時間で達することが出来る、しかし京城でとまつてしまふから大連へは翌日に着くことになる

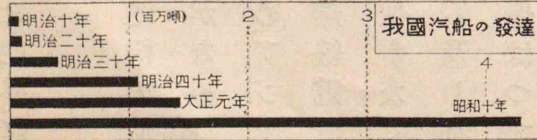
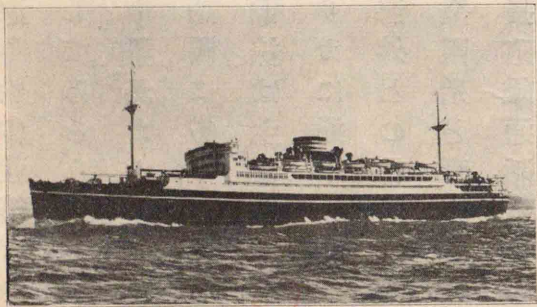
秩父丸

我が國汽船の發達

我が國の汽船(二十噸以上)はその數約三千五百隻、噸數は四百三十萬噸である

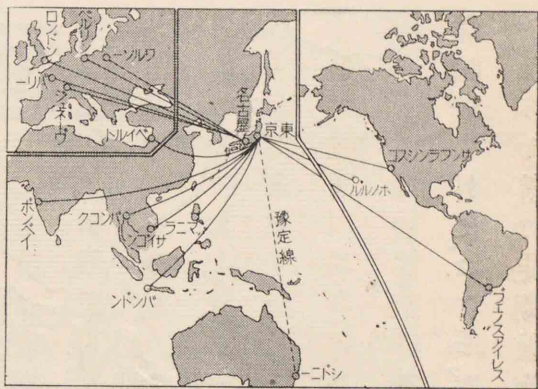


洋諸港の外に、ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア等に定期航海を営んでゐる。



城・大連・奉天・新京間、福岡・臺北間、東京・新潟間等には旅客輸送の定期航空が開かれてゐる。
水運 我が國の河川は水量少く、急流が多いから、内陸水路として利用されるものが極めて少い。また海上の交通は近年産業の振興と共に著しく發達して來た。日本郵船・大阪商船の兩會社は世界有數の大汽船會社で、その汽船は我が國その他東

局 對外無線電信



日清汽船會社、近海郵船會社等もまた内外諸方面に航路を有してゐる。

通信 郵便電信事業がよく整つて通信の便利なことは、歐米諸國に劣るところがない。また多數の海底電線は主な島を始め、アジア大陸及び北アメリカに通じ、近時大無線電信局の設備も出來、海外との音信に不便がなくなつた。電話も全國殆ど到る處に普及し、都市相互の間には長距離通話の便も備はつてゐる。また近時大都市にはラヂオ放送局が設けられ、更に最近に至つては寫眞電報が實施されるやうになつた。

結論 帝國國勢の發展と國運の進歩

我が國は世界無比の國體をなし、國民の大部分は忠勇な大和民族

から成り、教育は早くから普及し、アジアの諸國に先だつて文明の實を擧げ、立憲の制を採り、今や國勢が海外に發展して、領域が次第に膨脹し、世界の三大強國の一となつた。

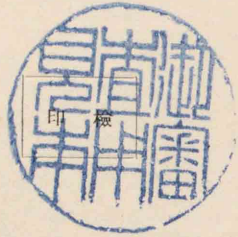
殊に地勢が自然の好位置を占め、種々の産業は各地の風土と相應じてよく發達し、國家富強の源泉となつてゐる。農業は我が國古來の主産業で、生絲は最も重要な輸出品となり、水産・鑛産も年を逐うてその産額を増して來た。工業は國民の長所である手藝の技巧によるものの外、近時種々の大工業が興り、我が國は今や世界主要の工業國となり、その生産物は重要な輸出品となつてゐる。従つて外國貿易は近年著しく發達した。

かく國運の進歩があらゆる方面に現れてゐるのは、要するに地の利と人の和とが常に宜しきを得た結果に外ならない。この國土に國民たるものは實に幸福である。されど、我が國はなほ世界の先進國で、その文明も、富力も、未だ他の

列強に及ばない處がある。しかも東洋の地は夙に列強の着目する所で、外交に商業に現にその烈しい競争場になつてゐる。我が國はこの間に處して、その優越の地位を利用し、よく東洋の平和を維持し、貿易の振興に努め、國家富強の途を講じなければならぬ。國民の責任は實に重いのである。

〔終〕

新制
女子本地理



大正十三年一月一日印

昭和九年十二月廿一日訂正十二版印刷

昭和十二年九月廿一日修正十三版印刷

刷 大正十三年一月四日發

行 昭和九年十二月廿五日訂正十二版發行

昭和十一年九月廿五日修正十三版發行

著作者

山崎直方

補訂者

飯本信之

發行者

東京市小石川區小日向水道町八十四番地
株式會社 東京開成館

印刷者

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
寺井藤左エ門

發行所

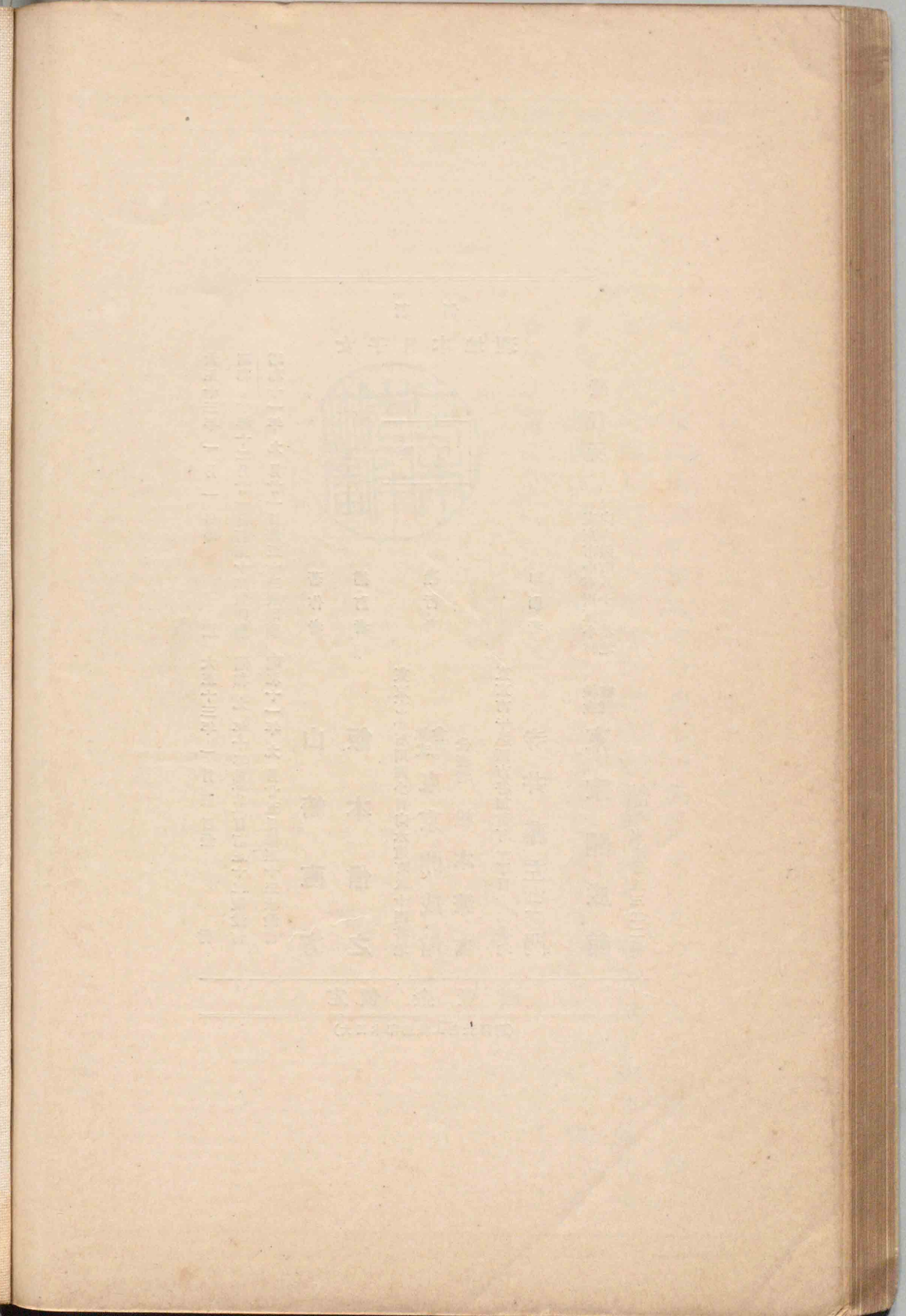
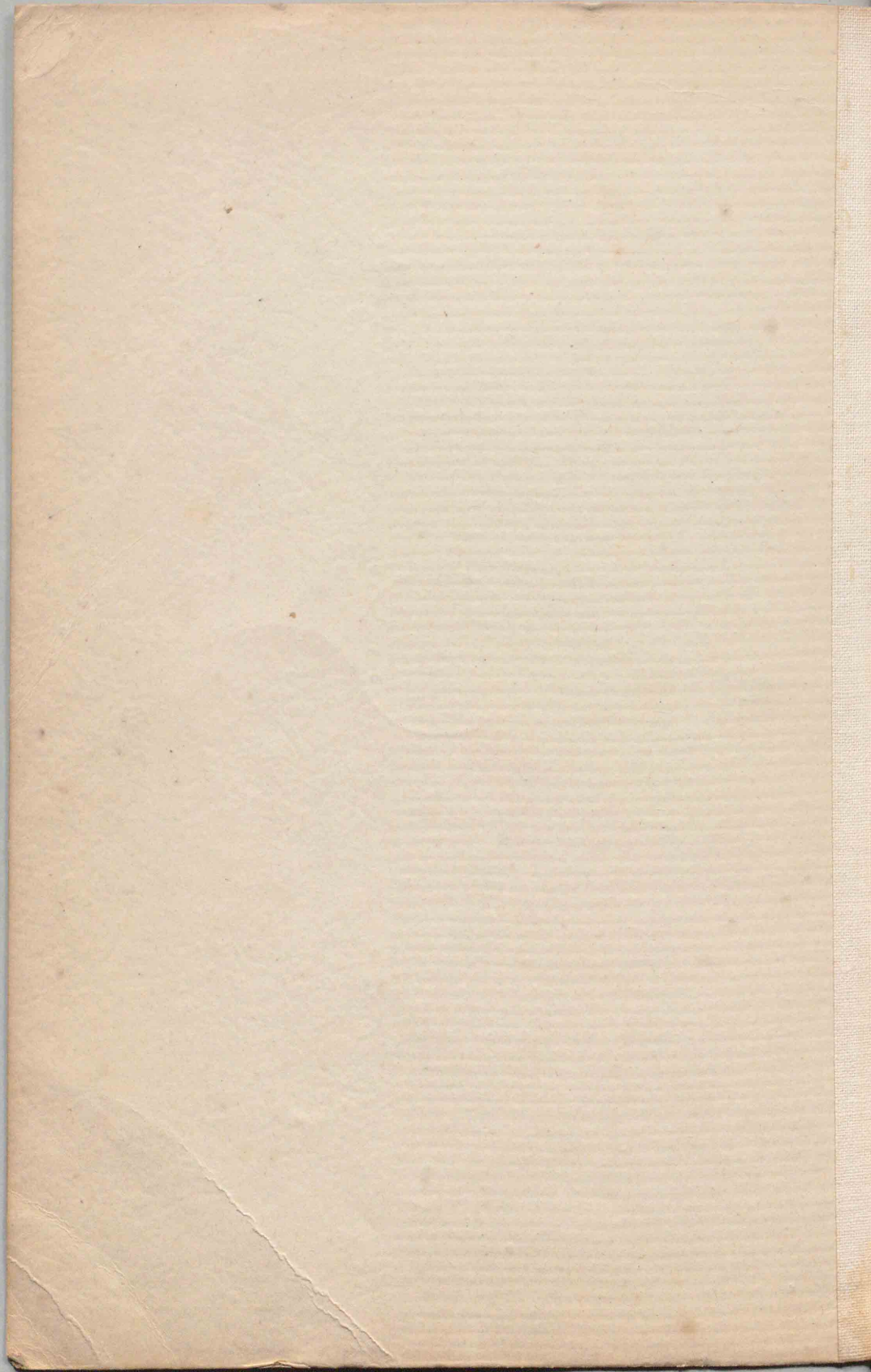
東京市小石川區小日向水道町八十四番地

株式會社 東京開成館

振替貯金口座 東京第五三三二番

定價 金壹圓

(大日本印刷株式會社印刷)





庫

86

74

広島大学図書

2000080474

